

目 次

I 座間市の概要

沿革	1～4
位置・地勢	5
市章・シンボル(花木、マーク、鳥、カラー)・国際姉妹都市・友好交流都市	6
人口・世帯・児童生徒数の推移・学校別児童生徒数の推移	7

II 座間市教育大綱

8～13

III 教育委員会

教育委員	14
歴代教育委員	15～18
沿革	19～22
教育委員会事務局機構と事務分掌	23～26
教育費	27～28

IV 学校教育

豊かな心を育むひまわりプラン	29～34
地域連携による学校づくり	34
児童生徒に適した指導・支援	34
情報化・国際化教育の推進	35
学校教育の目標	35
指導係主要事業計画	36～43
市立学校一覧	44～45
学校施設	46～50
市立小・中学校の沿革	51～84
中学校卒業者の進路状況	85
特別支援教育	86～89
国際教室	89～91
学校保健	
児童・生徒の発育状況	92～93
学校給食	
沿革・目標・運営・内容	94～97

V 教育研究所事業概要

設置目的・運営方針・機構・事業内容	98～102
-------------------	--------

VI 生涯学習

生涯学習施設・設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 103～107

VII 平成30年度 事業計画

平成29年度生涯学習関係主要施策・・・・・・・・・・・・・・・・ 108～111

生涯学習プランと各課事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・ 112～113

生涯学習事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114～115

文化事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116

市史・文化財事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117

座間市公民館事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118～119

北地区文化センター事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120～121

東地区文化センター事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122～123

青少年健全育成事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 124～125

スポーツ・レクリエーション事業計画・・・・・・・・・・・・・・ 126～127

図書館事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 128～130

VIII 平成29年度 事業実績

生涯学習課

社会教育委員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 131～133

成人・家庭教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 134～147

小学校学習施設開放事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 147

ざま生涯学習宅配便（出前講座）事業・・・・・・・・・・・・・・ 148

人権教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 148

学習情報提供刊行物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 149

座間市民活動サポートセンターとの連携・・・・・・・・・・・・・・ 149

文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 150～158

文化財保護委員会・文化財調査員の活動状況・・・・・・・・・・・・ 159

文化財保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 159～167

市史編さん・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 168

座間市立公民館運営審議会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・ 169

座間市公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 170～187

北地区文化センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 188～207

東地区文化センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 208～230

青少年課

青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 231～241

青少年センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 242～249

青少年相談室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 250～258

スポーツ課

社会体育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 259～262

社会体育関係団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 263

社会体育施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 263

市立スポーツ施設開放・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 264～266

学校体育施設開放	267
図書館	
図書館事業	268～274
視聴覚ライブラリー	274

IX 参考資料

生涯学習関係委員名簿	275～279
------------	---------

I 座間市の概要

1. 沿革

奈良時代	続日本書紀宝亀2年の頃に旧東海道の「相模国夷参駅」として記載。
平安時代	倭名抄高座郡郷名の中に伊参郷として記載。星谷観音堂を創建。
鎌倉時代	渋谷庄座間郷と称せられ渋谷内膳重国が所領。星谷寺梵鐘佐々木信綱より寄進。
室町時代	応永3年足利氏満寄進状に「座間郷」として記載。 上杉定正座間郷が所領。
戦国時代	天文年間北条高家が所領。
安土・桃山時代	北条氏照星谷寺観音堂造作料を寄進。天正年間徳川領。
江戸時代	幕府の天領（旗本支配地）。元和3年家康の柩を日光に移す行列が宗仲寺に休息。 万治年間座間村が座間宿村と座間入谷村に分離。 宝永4年富士山が大噴火。寛延2年星谷寺観音堂が現在地に移転。 天保12年頃勝田帯刀、大久保教文（座間宿村）、酒井弥間（入谷村）、太田資統、山田立長、増田寿春（栗原村）、岡部長玄（新田宿村）、戸田靱負、森川鎌三郎、高木富太郎（四ツ谷村）がそれぞれ所領。芝原の開拓開始。
	戸数 座間宿村 175 座間入谷村 159 栗原村 170 新田宿村 73 四ツ谷村 40 計 617
	文久2年栗原に郷学校「誠志館」が大矢弥市、大矢弥七兄弟によって設立される。
明治6年	高座郡が第20大区に管轄。学制発布により、入谷村竜源院に風牛学舎、栗原村に協同学舎が発足。
明治10年	人口3,786人（1月1日現在）
明治22年	町村制実施により、新戸村（現相模原市）の飛地と五か村を合併して「座間村」が発足。
明治28年	日新、真誠、湘川の三学校を統合して尋常高等座間小学校を開設（6月）。
明治33年	鈴木利貞が「幼年会」組織。
明治34年	新田宿が大火。
大正12年	関東大震災が発生。（市域のほとんどの家屋が損傷、道路、庭等の地割れ甚だし）（9月）
大正15年	神中線（現相模鉄道）、相模鉄道（現JR相模線）が一部開通。
昭和2年	小田急小田原線が全線開通（4月）。
昭和6年	相模鉄道（現JR相模線）が全線開通。
昭和12年	陸軍士官学校市ヶ谷より移設（9月）。座間村が座間町に町制施行（12月）。
昭和16年	座間・上溝の二町、相原・麻溝・新磯・大沢・大野・田名の六ヶ村が合併して相模原町として町制施行。
昭和20年	終戦により陸軍士官学校が閉鎖され、引き続き駐留軍が使用し、現在、在日米陸軍司令部が設置（9月）。
昭和22年	新制座間中学校が開校（5月）。
昭和23年	相模原町から分町し、座間町が発足。人口12,032人（9月）。
昭和25年	座間第二小学校（現栗原小学校）が開校（5月）。
昭和27年	市章を一般公募し、町議会全員協議会で決定（8月）。

昭和 29 年 座間町公民館が開館（11月）。

昭和 30 年 町営水道給水を開始（1月）。

昭和 37 年 座間第三小学校（現相模野小学校）が開校（4月）。立野台プールが開設（8月）。

昭和 39 年 座間公園プールが開設（7月）。

昭和 41 年 座間町青少年問題協議会が発足（4月）。

昭和 42 年 西中学校が開校（4月）。広野プールが開設（7月）。

昭和 43 年 座間町文化福祉会館が開館。

昭和 44 年 町の花「ひまわり」と決定（1月）。町の人口5万人を突破（9月）。東原プールが開設（8月）。

昭和 45 年 「梨の木坂古墳」を発掘（1月）。相武台東小学校が開校（4月）。

昭和 46 年 ひばりが丘小学校が開校（4月）。市制を施行し座間市誕生（11月）人口62,740人。

昭和 47 年 東中学校が開校（4月）。県立座間高校が開校（4月）。

昭和 48 年 公共下水道事業を開始（3月）。東原小学校が開校（4月）。

昭和 49 年 県道相武台入谷バイパスが全線開通・市民福祉憲章を制定（9月）。

昭和 50 年 県立座間青少年会館が開館（1月）。鳩川プールが開設（8月）。

昭和 51 年 相模が丘小学校が開校（4月）。歴史民族資料館が開館（5月）。相武台プール・ひばりが丘プールが開設（8月）。座間警察署が開署（11月）。

昭和 52 年 富士山公園に子どもの森が開設（3月）。立野台小学校・栗原中学校が開校（4月）。北地区文化センターが開館（4月）。

昭和 53 年 入谷小学校が開校（4月）。市立図書館が開館（6月）。

昭和 54 年 総合通園センターサンホープが開園（1月）。相模中学校が開校（4月）。栗原プールが開設（7月）。国際児童年記念タイムカプセル埋設（11月）。

昭和 55 年 旭小学校が開校（4月）。市の木モクセイと決定・新田宿グラウンドが開設（4月）。国勢調査実施（人口93,503人）（10月）。市民球場が相模が丘に開設（11月）。

昭和 56 年 東地区文化センターが開館（4月）。県立栗原高校が開校（4月）。市民憲章を制定・市制施行10周年記念式典を実施（10月）。

昭和 57 年 相模が丘プールが開設（7月）。

昭和 58 年 心身障害者訓練施設「もくせい園」が開設（4月）。図書館新館が開館（4月）。入谷プールが開設（4月）。

昭和 59 年 中原小学校が開校（4月）。第1回座間市民健康マラソンを開催（11月）。

昭和 60 年 旭プールが開設（3月）。相模川グラウンドが開設（4月）。国勢調査実施（人口100,000人）（10月）。

昭和 61 年 南中学校が開校（4月）。かになが沢公園開園（4月）。市制15周年（11月）。第1回市民ふるさとまつりを開催（11月）。

昭和 62 年 核づくり事業がスタート（1月）。市内初ドーム付全天候型プールとして中原プールが開設（4月）。県立ひばりが丘高校が開校（4月）。特別養護老人ホーム「栗原ホーム」が開所（5月）。

昭和 63 年 東原さくら公園が開園（4月）。中学校にパソコン教室を設置（6月）。市民球場に夜間照明を設置（8月）。

	原水爆禁止協議会が平和祈念のモニュメントを設置（9月）。
平成元年	「生きがいセンター」がオープン（4月）。芹沢公園が開園（4月）。栗原中学校校庭に夜間照明を設置（11月）。
平成2年	立野台コミュニティセンターが開館（4月）。東中学校校庭に夜間照明を設置（10月）。
平成3年	第三次座間市総合計画がスタート（4月）。清川自然の村がオープン（8月）。アメリカ合衆国テネシー州スマーナ市と姉妹都市を提携（11月）。
平成4年	小松原コミュニティセンターが開館（4月）。小学校で生涯学習施設として教室を開放（4月）。学校週五日制月1回スタート（9月）。
平成5年	東原コミュニティセンターが開館（9月）。
平成6年	学校週五日制月2回実施を開始（4月）。市民体育館が竣工（10月）。
平成7年	学習検査から学習状況調査の改変実施（3月）。市庁舎・市民文化会館竣工（8月）。
平成8年	市民健康センターが竣工（8月）。相模が丘コミュニティセンター開館（11月）。
平成9年	青少年センターが開館（県立座間青少年会館が県より市に移譲）（4月）。相武台コミュニティセンターが開館（10月）。
平成10年	第53回国民体育大会かながわゆめ国体秋期大会（バレーボール青年男女2部9人制）開催（10月）。
平成11年	座間中学校新体育館が竣工（3月）。特別養護老人ホーム「ベルホーム」が開所（5月）。県道藤沢・座間・厚木線「栗原巡礼大橋」が開通（8月）。
平成12年	「座間市情報公開条例」、「座間市個人情報保護条例」が施行（2月）。
平成13年	戸籍事務にコンピュータ導入（2月）。市制施行30周年記念事業「春巡業大相撲座間場所」を開催（4月）。総合福祉センター（サニープレイス座間）がオープン（4月）。市制施行30周年記念事業「ざま子ども市議会21」を開催（8月）。市制施行30周年記念式典を開催、市民の歌「WE LOVE ZAMA!」が誕生（10月）。ISO14001（環境マネジメントシステム）の認証取得（11月）。
平成14年	座間市総合防災情報システムを導入（1月）。座間市行政評価システムを導入（4月）。「住民基本台帳ネットワークシステム」がスタート（8月）。ファミリーサポート事業を開始（10月）。「ざま生涯学習宅配便」がスタート（11月）。
平成15年	座間市地下水保全基本計画を策定（4月）。県道藤沢・座間・厚木線座間跨線橋が開通（6月）。谷戸山公園パークセンターが開設（6月）。図書館蔵書検索システム導入（7月）。ひばりが丘コミュニティセンターが開館（11月）。
平成16年	リサイクルプラザ（東原）がオープン（6月）。ISO14001（環境マネジメントシステム）認証を更新、公的機関にも拡大摘要（11月）。市水道事業50周年記念式典を実施（11月）。コミュニティバス運行を開始（11月）。
平成17年	生涯学習活動サポートセンターがオープン（10月）。座間市子ども読書活動推進計画を策定（11月）。
平成18年	土曜開庁実施（4月）。「ざま生涯学習宅配便」新メニュー集を刊行（7月）。
平成19年	座間市協働まちづくり条例を制定（3月）。全国学力・学習状況調査を実施（4月）。座間市障害福祉計画を策定（4月）。座間市緊急情報メール配信サービス

- を開始（9月）。座間市民オペラ「けやき姫」を上演（11月）。座間市観光協会を設立（11月）。
- 平成20年 後期高齢者医療制度スタート（4月）。座間市景観条例を制定（4月）。市民生活サポートセンターを開設（9月）。
- 平成21年 栗原コミュニティセンターが開館（12月）。
- 平成22年 座間中学校新1号棟改築工事完了（3月）。子育て情報誌「ざまっぷ」発行（8月）。神奈川県・座間市合同総合防災訓練実施（8月）。
- 平成23年 第四次座間市総合計画がスタート（4月）。住民票の写し・印鑑登録証明書のコンビニ交付サービス開始（3月）。市制施行40周年記念式典を開催（11月）。座間市マスコットキャラクター「ざまりん」誕生（11月）。
- 平成24年 市こころの相談支援センター「noued(ヌー)」を新設（4月）。こころの体温計（メンタルヘルスチェックシステム）のサービス開始（6月）。座間市原水爆禁止協議会設立55周年・座間市核兵器廃絶平和都市宣言30周年記念事業を開催（8月）。市民健康センター休日急患センターにて庵政三胸像除幕式実施（8月）。市総合防災訓練における在日米陸軍との連携訓練の実施（9月）。市消防と陸上自衛隊が合同野営施設訓練を実施（11月）。
- 平成25年 座間市いっせい防災行動訓練「ShakeOut 2013 in ZAMA」実施（1月）。福島県須賀川市と友好交流都市協定を締結（11月）。
- 平成26年 本市初の市民栄誉賞をボクシングWBC世界ライトフライ級王座、井上尚弥氏に授与（5月）。座間総合病院着工（11月）。市消防団第3分団が第24回全国消防操法大会準優勝（11月）。
- 平成27年 秋田県大仙市と友好交流都市協定締結（3月）。ご当地ナンバープレート交付開始（4月）。「チャレンジデーZAMA2015」開催（5月）。子育て支援センター「ざまりんのおうち かがやき」開所（6月）。第20回国勢調査を実施（10月）。
- 平成28年 座間総合病院開院（4月）。中原児童ホーム開設（4月）。
- 平成30年 座間市新消防庁舎落成（2月）

2. 位置・地勢

座間市は、東京から南西へ約40キロメートル、横浜から西へ約20キロメートルで、神奈川県のおぼ中央に位置しています。

市の面積は17.57平方キロメートルで、東西に約5.3キロメートル、南北に約4.0キロメートルの広がりを持ち、中央部を南北に縦断する座間丘陵を境として東部が相模野台地、西部が相模川沖積低地と大きく地形が分かれ、中央部を目久尻川、西部を相模川が流れており、起伏に富んだ地形を構成しており、このため坂や段丘が多く、地域ごとに特色のある街なみが広がっています。

【面積および広がり】

面積 (K m ²)	広がり (km)		海 抜 (m)		
	東 西	南 北	市役所	最 高	最 低
17.57	5.3	4.0	78.5	88.74	24.29



【位 置】

地 名	東 経	北 緯
市役所 (緑ヶ丘一丁目1番1号)	139° 24' 38"	35° 29' 07"

3. 市章・シンボル・国際姉妹都市・友好交流都市



市章（制定 昭和27年8月13日）

座間市の「ザマ」を図案化したもので、円形は市の融和と団結を表し、翼は市政の飛躍、発展を象徴したものです。



市の花 ひまわり（制定 昭和44年1月16日）

ひまわりの枝葉の深緑は、たくましく発展を続ける市を、また大輪の花は、市民みんなが手を結び合い、明るく健康なまちづくりを目指す姿を象徴しています。



市の木 もくせい（制定 昭和55年4月1日）

みんなで樹木を守り育て、緑があふれた街づくりをさらに進めようと、市民のみなさんが選んだ木です。



市のシンボルマーク（制定 平成3年4月1日）

座間の頭文字「Z」をモチーフに中央に市内を流れる三つの川（相模川・鳩川・目久尻川）を太陽と豊かな自然を楕円で表し、21世紀に向けたまちづくりのシンボルとして制定したものです。



市の鳥 シジュウカラ（制定 平成3年4月1日）

みんなで自然を大切に、鳥獣保護思想の普及・啓発に、自然保護のシンボルとして市民のみなさんが選んだものです。

市のカラー みどり（ビビットグリーン）

（制定 平成3年4月1日）

生き生きとした緑は、心にやすらぎと希望を与えてくれることから、郷土座間市を象徴する色として、市民のみなさんが選んだものです。

姉妹都市

アメリカ合衆国テネシー州スマーナ市

（平成3年11月1日提携調印）

友好交流都市

福島県須賀川市

（平成25年11月10日締結）

秋田県大仙市

（平成27年3月21日締結）

4. 人口、世帯、児童生徒数の推移

(各年5月1日現在)

年次	人口	世帯数	児童数	生徒数	合計
11	124,462	48,241	7,244	3,268	10,512
12	125,892	49,306	7,294	3,270	10,564
13	125,586	49,707	7,270	3,268	10,538
14	126,784	51,105	7,322	3,331	10,653
15	128,427	52,435	7,375	3,317	10,692
16	129,245	53,316	7,471	3,316	10,787
17	129,025	53,662	7,378	3,301	10,679
18	127,886	51,934	7,298	3,371	10,669
19	127,617	52,138	7,218	3,386	10,604
20	127,704	52,576	7,016	3,437	10,453
21	128,550	53,346	6,890	3,384	10,274
22	129,208	54,070	6,716	3,413	10,129
23	129,219	54,315	6,577	3,365	9,942
24	129,483	54,841	6,440	3,409	9,849
25	129,844	54,444	6,373	3,335	9,708
26	129,066	55,515	6,376	3,207	9,583
27	128,892	55,910	6,386	3,099	9,485
28	128,781	56,311	6,330	3,057	9,387
29	129,354	57,134	6,365	3,072	9,437
30	129,430	57,770	6,323	3,040	9,363

学校別児童生徒数の推移

(各年5月1日現在)

校名	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
座間小	829	782	770	757	742	734	725	726	720	754	758
栗原小	579	567	556	528	521	551	564	594	603	635	654
相野小	798	777	768	752	737	704	660	657	634	618	578
相東小	736	701	694	665	648	652	634	643	635	619	602
ひばり小	627	631	613	604	574	538	498	462	423	405	374
東原小	612	617	598	589	577	597	595	593	605	606	613
相丘小	647	627	584	568	548	523	567	564	557	560	569
立台小	563	600	602	630	618	620	665	682	702	718	750
入谷小	474	482	473	479	470	489	500	492	496	505	501
旭小	601	581	558	526	539	528	519	520	514	517	486
中原小	550	525	500	479	466	437	449	453	441	428	438
小計	7,016	6,890	6,716	6,577	6,440	6,373	6,376	6,386	6,330	6,365	6,323
座間中	484	462	472	480	513	518	484	461	456	468	502
西中	567	583	599	615	598	568	529	537	549	579	570
東中	737	692	709	674	693	686	697	666	656	625	611
栗原中	608	609	575	556	540	514	482	467	453	469	447
相模中	647	667	677	658	673	668	634	602	583	589	568
南中	394	371	381	382	392	381	381	366	360	342	342
小計	3,437	3,384	3,413	3,365	3,409	3,335	3,207	3,099	3,057	3,072	3,040
合計	10,453	10,274	10,129	9,942	9,849	9,708	9,583	9,485	9,387	9,437	9,363

Ⅱ 座間市教育大綱

1. はじめに

人口減少・少子高齢化の進行、グローバル化や情報化の発展、さらには各世代のライフスタイルの変化や地域コミュニティの希薄化など、子どもから高齢者までの各ライフステージにおいて、取り巻く環境が刻々と変化していく中、新たな視点、柔軟な発想、変化への対応力をもったまちづくりが求められています。

このような時代にあって、本市は「第四次座間市総合計画（以下「総合計画」という。）」の実現に、5年間、取り組んできました。この構想で掲げる将来のまちの姿、「ともに織りなす 活力と個性 きらめくまち」を目指し、学校、家庭、地域、行政が一体となって連携・協働を図りながら、新しい時代に対応した教育施策の推進に努めています。

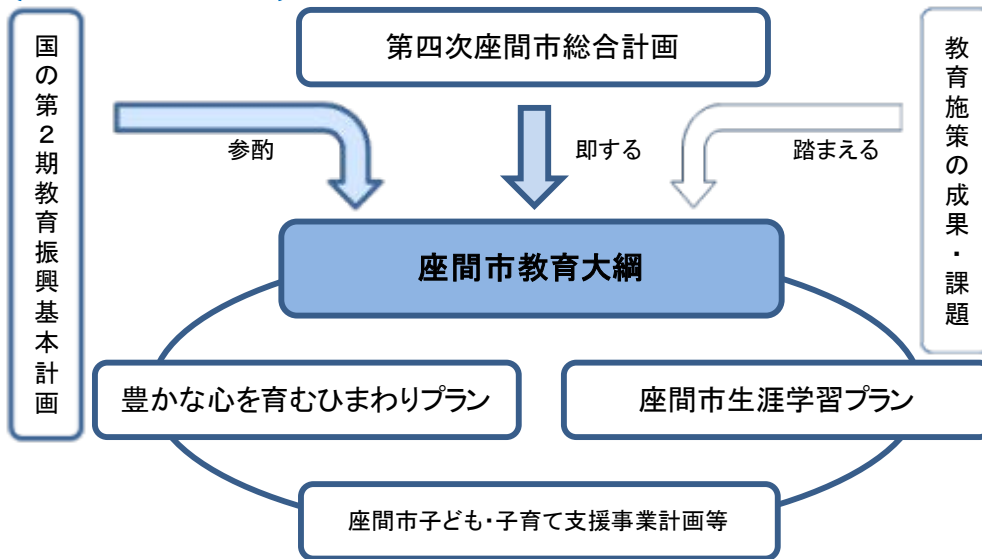
このたび、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正（平成27年4月1日施行）により、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることになりました。

「座間市教育大綱（以下「大綱」という。）」は、より一層、民意を反映した教育行政に取り組むため、市長が中心となり、「座間市総合教育会議」において協議、調整した上で策定するものです。

2. 大綱の位置付け

この大綱は、本市の教育行政を推進するための基本指針となるもので、本市の最上位計画である総合計画の基本構想に定める将来目標の達成に向け、教育分野の基本理念、基本目標及び今後取り組むべき施策の方向を示すものです。

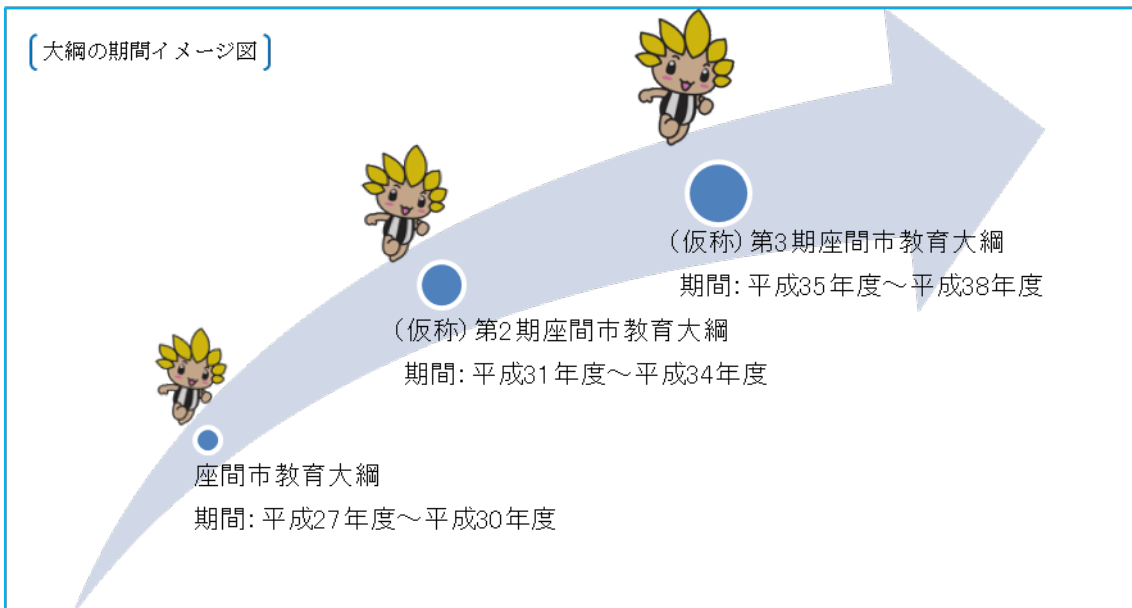
〔大綱の位置付けイメージ図〕



3. 大綱の期間

期間は、平成27（2015）年度から平成30（2018）年度までの4年間とします。ただし、今後の社会情勢等の変化を踏まえて、必要に応じて見直しを行います。

〔大綱の期間イメージ図〕



4. 基本理念

座間市で育ち座間市を愛する人づくり

○ 本市では、安全で安心できる居住環境の中で市民が集い、憩うことのできるまちづくりを進めています。

その「まちづくり」には「人づくり」が欠かせないことから、学校・家庭・地域での生涯にわたる教育が果たす役割は極めて大きいものがあります。

○ 本市は、東部に相模原台地、西部に相模川の沖積低地が広がり、さらに、中央に目久尻川が流れ、坂や段丘が多く、地域ごとに特色のある景観や長年にわたって培われてきた伝統文化があります。

また、地域社会が協力し合って子育て支援を行う風土が醸成されてきています。

○ このような特性を活かし、学校教育や生涯学習において「生きる力」を育み、少子高齢化の進行、グローバル化の進展、雇用形態の多様化など大きく変化する社会に対応できる「人づくり」を、地域社会全体で連携して進めていくことが必要です。

○ 座間市で学び育つ子どもが、「ふるさと」座間に愛と誇りをもち、心身ともに自立した大人に成長し、国や社会の発展に尽くすことができる「人づくり」を目指していきます。

また、市民（住民、地域活動団体、市民活動団体、企業等）と行政の連携の下、様々な災害等に対応可能な危機管理能力を高め、生涯にわたって座間市に住み続けたいと思うまちづくりを目指していきます。

5. 基本目標

基本理念を実現するため、二つの基本目標を掲げて教育・文化の振興を図ります。

(1) 未来を拓く座間っ子づくり

- 学校・家庭・地域・行政等、社会全体が連携して、豊かな心、確かな学力、健やかな体を育み、子どもたち一人ひとりが個性を活かして自己実現を達成できるような「人づくり」に努めます。
- 学校における安全・防災教育の充実を図り、生涯にわたって危機管理及び緊急時の対応力を高めます。

(2) 生涯にわたり健やかで活気あふれる人づくり

- 市民一人ひとりが、生涯にわたって健康で豊かな生活が送れるよう、学習、スポーツ及び芸術鑑賞の機会と場を提供し、同時に、その経験を活かした文化を創造・発信する環境を整えます。
- 子育て家庭のニーズに応じた幼児期の教育・保育環境の充実を図るとともに、放課後児童対策の充実などにより、子ども・子育てを社会全体で支える取組を進めます。

6. 施策の方向

基本目標を達成するため、幼児教育から小・中・高等学校を経て大学までの教育及び学術、さらには社会生活のライフステージに応じた「縦の糸」と、学校・家庭・地域や行政等、座間市全体で教育に取り組む「横の糸」との連携に留意しつつ、特に八つの施策を推進します。

(1) 思いやりと規範意識を育む豊かな心の育成

- 家庭や地域と連携した道徳教育、読書活動、郷土学習等を通して、発達段階に応じたルールや正義を尊ぶ心、郷土を愛し国や社会に尽くそうとする心を育みます。
- 相手を思いやる心、平和を愛する心、人の役に立つ奉仕の心など、豊かな心を育成します。
- いじめや不登校などの教育課題の改善に努めます。

(2) 書く力の向上を中心とする確かな学力の育成

- 指導方法の工夫や内容の改善に取り組み、わかる授業の充実を推進し、同時に主体的に学ぶ態度を育てて、基礎・基本を定着させます。
- 知識を活用して課題解決するために必要な柔軟性のある思考力、的確な判断力、豊かな表現力を育てます。
- 特に、論理的に正しく、明解で、説得力のある文章を書く力の向上に努めます。

(3) 健やかな体の育成

安全教育や健康教育、食育の推進、中学校部活動の奨励、生涯にわたってスポーツに親しむ習慣や態度の向上を図り、健やかな体の育成に努めます。

(4) 体験を通して生き方を学ぶ教育の推進

- 小・中学校を通して、生き方教育、進路指導の推進を図ります。
- 保護者や企業等と連携し、発達段階に応じた体験学習に取り組み、変化の激しい社会で生きる力を培うキャリア教育の推進に努めます。

(5) 地域とともに取り組む教育活動の推進

安全で安心な地域環境の確保、知恵や体験の伝承、地域社会活動への子ども参加、開かれた学校づくりなど、地域とともに取り組む教育活動の推進に努めます。

(6) 安全・安心のための危機管理力の充実

学校運営の安全・安心を確保するため、迅速かつ適切な対応が取れるよう危機管理力を向上させ、日頃から情報提供等による家庭や地域との連携に努めます。

(7) 生活を彩る生涯学習・スポーツ・文化の振興

- 子どもから高齢者までの自主的・自発的な生涯学習活動を支援するため、学習、スポーツ、芸術等の活動に参加できる機会と場の確保を図ります。
- 独創性のある新たな文化の創造・発信に努め、地域のコミュニティ形成やまちづくり活動に生かす取組を促進します。

(8) すべての人が楽しく子育てできる環境の整備

幼稚園や保育園等の環境整備、相談体制の充実、地域による子育て支援、放課後児童対策、少子化対策等を一体的に行い、地域の輪の中ですべての人が安心して子育てのできる環境を整備します。

Ⅲ 教育委員会

1. 教育委員

(平成30年7月現在)

職名	氏名	住所
委員長	小井田由美子	厚木市下荻野
委員長職務代理	鈴木義範	座間市座間2丁目
委員	天野久美	座間市小松原1丁目
委員	馬場悠男	座間市入谷5丁目
教育長	金子楨之輔	座間市立野台3丁目

2. 歴代教育委員

昭和	委員長	副委員長	委員	委員	委員	教育長
27/11	平野 諒栄	中田 邦三	中戸川 操	本多 愛男	小泉 繁	小泉 豊治
28/3	平野 諒栄	中田 邦三	石井 昌国	本多 愛男	小泉 繁	小泉 豊治
28/4	平野 諒栄	中田 邦三	石井 昌国	本多 愛男	小泉 繁	大矢喜三郎
28/11	中田 邦三	小泉 繁	平野 諒栄	石井 昌国	石井 昌国	大矢喜三郎
29/11	小泉 繁	本多 愛男	平野 諒栄	石井 昌国	中田 邦三	大矢喜三郎
30/4	平野 諒栄	本多 愛男	石井 昌国	中田 邦三	小泉 繁	大矢喜三郎

* 昭和31年6月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行により、委員1名減となる。

昭和	委員長	委員長職務代理	委員	委員	委員	教育長
31/10	稲垣 光晴	本多 愛男	山本 亀三	波多野 修		大矢 雄次
32/10	稲垣 光晴	山本 亀三	斉藤 隆寿	波多野 修		大矢 雄次
33/10	稲垣 光晴	山本 亀三	斉藤 隆寿	本多 愛男		大矢 雄次
33/11	山本 亀三	稲垣 光晴	斉藤 隆寿	本多 愛男		大矢 雄次
35/9	斉藤 隆寿	稲垣 光晴	山本 亀三	本多 愛男		大矢 雄次
35/10	斉藤 隆寿	本多 愛男	鈴木 英夫	大矢 雄次		
35/11	斉藤 隆寿	本多 愛男	鈴木 英夫	大矢 雄次		小泉 豊治
36/9	本多 愛男	大矢 雄次	鈴木 英夫	斉藤 隆寿		小泉 豊治
36/10	本多 愛男	大矢 雄次	鈴木 英夫	平野 仁司		小泉 豊治
37/10	大矢 雄次	本多 愛男	鈴木 英夫	平野 仁司		小泉 豊治
38/10	鈴木 英夫	本多 愛男	平野 仁司	大矢 雄次		小泉 豊治
39/8	鈴木 英夫	平野 仁司	長谷川泰雄	大矢 雄次		小泉 豊治
40/10	鈴木 英夫	大矢 雄次	平野 仁司	長谷川泰雄		小泉 豊治
42/3	鈴木 英夫	長谷川泰雄	平野 仁司			小泉 豊治
42/5	鈴木 英夫	長谷川泰雄	平野 仁司	大木 進		小泉 豊治
43/10		長谷川泰雄	平野 仁司	大木 進		小泉 豊治
43/11		大木 進	青木 久二	平野 仁司	馬場 菊江	長谷川泰雄
43/11	大木 進	平野 仁司	青木 久二	馬場 菊江		長谷川泰雄
44/11	大木 進	若林 則	青木 久二	馬場 菊江		長谷川泰雄
46/10	若林 則	大木 進	青木 久二	馬場 菊江		長谷川泰雄

昭 和	委 員 長	委員長職務代理	委 員	委 員	委 員	教 育 長
47/8	若林 則		青木 久二	馬場 菊江		長谷川泰雄
47/10	若林 則		青木 久二	馬場 菊江	大澤 清	長谷川泰雄
47/11	若林 則		山本 次郎	馬場 菊江	大澤 清	長谷川泰雄
47/11	若林 則	大澤 清	山本 次郎	遠藤 仙三		長谷川泰雄
49/11	若林 則	大澤 清	山本 次郎	遠藤 仙三	加藤 武勇	
49/12	若林 則	大澤 清	山本 次郎	遠藤 仙三		加藤 武勇
50/10	若林 則	遠藤 仙三	山本 次郎	大澤 清		加藤 武勇
51/7	若林 則	遠藤 仙三	山本 次郎	大澤 清		
51/10	若林 則	遠藤 仙三	山本 次郎	大澤 清		曾根 幸雄
51/11	若林 則	遠藤 仙三	井上 治夫	大澤 清		曾根 幸雄
53/11	大澤 清	遠藤 仙三	井上 治夫	若林 則		曾根 幸雄
54/11	遠藤 仙三	井上 治夫	若林 則	大澤 清		曾根 幸雄
54/12	遠藤 仙三	井上 治夫	若林 則	大矢 妙子		曾根 幸雄
55/7	遠藤 仙三	井上 治夫	若林 則	大矢 妙子		
55/8	遠藤 仙三	井上 治夫	若林 則	大矢 妙子		野島 正
55/11	若林 則	大矢 妙子	井上 治夫	遠藤 仙三		野島 正
55/11	若林 則	大矢 妙子	井上 治夫	武田 幸造		野島 正
56/7	若林 則	大矢 妙子	井上 治夫	草薙 雄一		野島 正
56/11	井上 治夫	草薙 雄一	矢作 庄次郎	大矢 妙子		野島 正
58/7	井上 治夫	草薙 雄一	矢作 庄次郎			野島 正
59/4	井上 治夫	草薙 雄一	矢作 庄次郎	石川 重利		野島 正
59/8	井上 治夫	草薙 雄一	矢作 庄次郎	石川 重利		
59/9	井上 治夫	草薙 雄一	矢作 庄次郎	石川 重利		井上 忍
59/11	草薙 雄一	矢作 庄次郎	金子 恵子	石川 重利		井上 忍
61/11	石川 重利	矢作 庄次郎	金子 恵子	草薙 雄一		井上 忍
61/12	石川 重利	矢作 庄次郎	金子 恵子	草薙 雄一		小坂 昭三
63/4	矢作 庄次郎	金子 恵子	草薙 雄一	石川 重利		小坂 昭三
63/11	矢作 庄次郎	金子 恵子	大川 英夫	石川 重利		小坂 昭三
元/11		金子 恵子	矢作 庄次郎	大川 英夫	石川 重利	小坂 昭三
元/12	石川 重利	金子 恵子	矢作 庄次郎	大川 英夫		小坂 昭三
2/12	金子 恵子	矢作 庄次郎	大川 英夫	石川 重利		佐野 淳一
4/4	金子 恵子	矢作 庄次郎	大川 英夫	菊田 哲夫		佐野 淳一

平成	委員長	委員長職務代理	委員	委員	委員	教育長
4/11	矢作 庄次郎	大川 英夫	金子 恵子	菊田 哲夫		佐野 淳一
5/11	大川 英夫	菊田 哲夫	金子 恵子	村川 俊彦		佐野 淳一
6/11	菊田 哲夫	金子 恵子	村川 俊彦	大川 英夫		佐野 淳一
7/11	金子 恵子	村川 俊彦	大川 英夫	菊田 哲夫		佐野 淳一
8/8	金子 恵子	村川 俊彦	菊田 哲夫			佐野 淳一
8/11	菊田 哲夫	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子		佐野 淳一
9/4	菊田 哲夫	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子		金子 功雄
9/11	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子	菊田 哲夫		金子 功雄
10/11	酒井 繁	佐藤 節子	村川 俊彦	菊田 哲夫		金子 功雄
11/11	佐藤 節子	菊田 哲夫	酒井 繁	村川 俊彦		金子 功雄
12/4	佐藤 節子	村川 俊彦	酒井 繁	大塚 知子		金子 功雄
12/11	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子	大塚 知子		金子 功雄
13/11	酒井 繁	大塚 知子	片野 一二	佐藤 節子		金子 功雄
14/11	大塚 知子	佐藤 節子	酒井 繁	片野 一二		金子 功雄
15/11	佐藤 節子	片野 一二	酒井 繁	大塚 知子		金子 功雄
16/11	片野 一二	大塚 知子	馬場 悠男	伊藤 恵		金子 功雄
17/11	大塚 知子	片野 一二	馬場 悠男	伊藤 恵		金子 功雄
18/11	片野 一二	伊藤 恵	大塚 知子	馬場 悠男		金子 功雄
18/12	片野 一二	伊藤 恵	大塚 知子	馬場 悠男		金子楨之輔
19/11	伊藤 恵	片野 一二	大塚 知子	馬場 悠男		金子楨之輔
20/4	伊藤 恵	片野 一二	馬場 悠男	小野田順子		金子楨之輔
20/11	片野 一二	馬場 悠男	伊藤 恵	小野田順子		金子楨之輔
21/11	馬場 悠男	小野田順子	片野 一二	伊藤 恵		金子楨之輔
22/11	小野田 順子	伊藤 恵	馬場 悠男	片野 一二		金子楨之輔
23/11	伊藤 恵	片野 一二	馬場 悠男	小野田順子		金子楨之輔
23/12	伊藤 恵		馬場 悠男	小野田順子		金子楨之輔
23/1	伊藤 恵	馬場 悠男	小野田順子			金子楨之輔
24/4	伊藤 恵	馬場 悠男	小野田順子	滝 久美子		金子楨之輔
24/11	馬場 悠男	小野田順子	滝 久美子	鈴木 義範		金子楨之輔
25/11	小野田 順子	鈴木 義範	馬場 悠男	滝 久美子		金子楨之輔
26/11	鈴木 義範	滝 久美子	馬場 悠男	小野田 順子		金子楨之輔
27/11	滝 久美子	馬場 悠男	小野田順子	鈴木 義範		金子楨之輔

平成	委員長	委員長職務代理	委員	委員	委員	教育長
28/4	滝久美子	馬場悠男	鈴木義範	小井田由美子		金子楨之輔
29/4	馬場悠男	小井田由美子	滝久美子	鈴木義範		金子楨之輔
29/11	小井田由美子	鈴木義範	天野久美	馬場悠男		金子楨之輔

3. 沿革

昭和27年	11月	座間町教育委員会発足
29年	11月	児童文化展発足 座間町公民館開館
32年	4月	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」施行 (教育委員会の公選制を廃止し、任命制になる)
37年	4月	座間第三小学校(現相模野小学校)開校
	4月	町営グラウンド竣工
	8月	立野台プール竣工
38年	4月	教科書無償制度発足(学年進行による)
	8月	「少年少女球技大会」加わる(少年野球大会発足 27年8月)
39年	7月	座間公園プール竣工
41年	6月	移動図書館ひまわり号巡回
42年	4月	西中学校開校
	7月	広野プール竣工
44年	8月	東原プール竣工
45年	4月	相武台東小学校開校
46年	4月	ひばりが丘小学校開校
	11月	市制施行 座間市教育委員会と改称
47年	4月	東中学校開校
	4月	県立座間高等学校開校
48年	4月	東原小学校開校
	4月	座間第1, 第2, 第3小学校名変更
	4月	重度心身障がいひまわり園開園
49年	4月	社会科副読本「私たちの座間」初版発刊
50年	1月	県立座間青少年会館開館
	8月	鳩川プール竣工
51年	4月	相模が丘小学校開校
	4月	言語障害児「ことばの教室」開設
	5月	歴史民族資料館開館
	7月	ひばりが丘プール竣工
	8月	相武台プール竣工
52年	4月	立野台小学校開校
	4月	栗原中学校開校
	4月	北地区文化センター開館

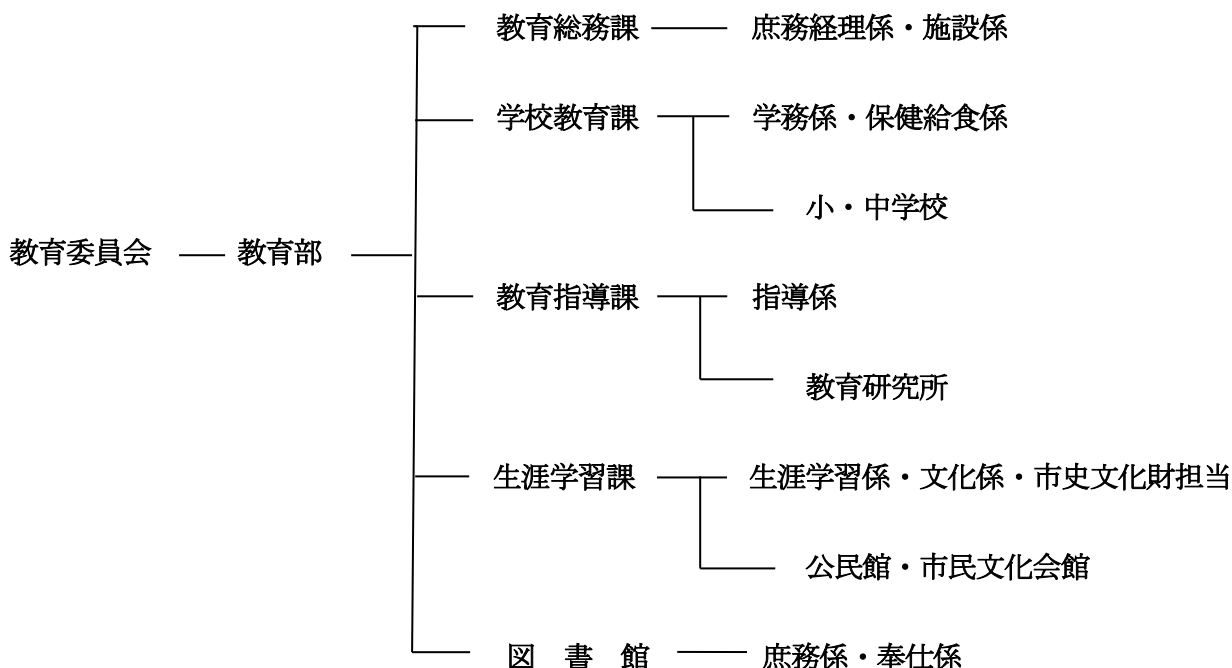
昭和52年	4月	市図書館開館（公民館内に開設）
53年	4月	青少年相談室開設
	4月	入谷小学校開校
54年	4月	相模中学校開校
	4月	教育課程推進校制度発足
	4月	養護学校設置義務化
	4月	座間養護学校開校
	7月	栗原プール竣工
	11月	国際児童年式典
55年	4月	旭小学校開校
	4月	新田宿グラウンド開設
	11月	市民球場開設
	11月	青少年芸術祭発足
56年	4月	体育課、教育研究所開設。教育相談員制度発足
	4月	県立栗原高等学校開校
	4月	東地区文化センター開館
	7月	中学生の主張コンクール発足
57年	4月	相模が丘プール竣工
58年	4月	入谷プール竣工
	4月	市図書館新築移転
	4月	学校災害見舞金制度発足
59年	4月	中原小学校開校
	9月	会計検査院定数監査
60年	1月	郷土カルタ発刊
	3月	旭プール竣工
	4月	相模川グラウンド開設
	4月	青少年課開設
61年	4月	南中学校開校
	4月	小学校40人学級発足（学年進行による）
62年	4月	県立ひばりが丘高等学校開校
	4月	中原プール竣工
63年	8月	市民球場に夜間照明設置
平成元年	4月	中学校40人学級発足（学年進行による）
	11月	栗原中学校校庭に夜間照明設置

平成	2年10月	東中学校校庭に夜間照明設置
	3年 8月	清川自然の村オープン
	4年 4月	小学校学習施設（教室）開放
	4月	障害児介助員制度発足
	9月	学校週五日制月1回スタート
	10月	相模中学校校庭に夜間照明設置
6年	4月	学校週五日制月2回実施の開始
	10月	市民体育館オープン
7年	4月	座間中学校「みのり学級」開設
	8月	市教育委員会事務局新庁舎に移転 市民文化会館オープン
8年	3月	学習状況調査開始（学習検査を改める）
9年	4月	市青少年センター開館
	4月	教育研究所が青少年センターに移転
	4月	適応指導教室「つばさ」が教育研究所内に開設
	9月	西、東、栗原中学校に教育用コンピュータ導入（1校21台）
10年	9月	座間、相模、南中学校に教育用コンピュータ導入（1校21台）
11年	3月	座間中学校新体育館竣工
13年	4月	小・中学校の教科書採択が座間市独自で実施
	11月	市内小学校全校に教育用コンピュータ導入（1校22台）
14年	4月	市立小・中学校で学校週5日制を完全実施
15年	5月	学校評議員制度実施
	10月	中学校教育用コンピュータ導入更新（1校55台）
16年	4月	言語通級指導教室「入谷小学校ことばの教室」開設
17年	5月	立野台小学校に「児童ホーム」開所
	10月	生涯学習活動サポートセンター開設
18年	4月	特別支援教育補助員制度発足
	7月	特別支援教育基本計画策定
	12月	小学校教育用コンピュータ導入更新（1校43台）
19年	4月	栗原小学校に「国際教室」を開設
	5月	小・中学校で「レッツトライひまわり環境ISO」認定
	6月	市内全中学校と図書館にAED（自動体外式除細動器）を配備
20年	4月	東原小学校に「国際教室」を開設
	11月	中学校教育用コンピュータ導入更新（1校41台）
21年	4月	立野台小学校通級指導教室開設

平成22年	3月	国庫補助金による小・中学校情報通信技術環境整備事業を実施
23年	3月	座間中学校新1号棟改築工事完成
		豊かな心を育むひまわりプラン策定
		座間市生涯学習プラン策定
	4月	旭小学校通級指導教室開設
	5月	小学校全校に学校図書館司書配置
24年	4月	旭小学校、ひばりが丘小学校に「国際教室」を開設
	5月	中学校全校に学校図書館司書配置
	11月	「椿」(ヤブツバキ)を座間市重要文化財に指定
25年	4月	座間小学校肢体不自由学級(つばめ)、通級指導教室設置
	4月	相武台東小学校弱視級「なのはな」級開設
	8月	小学校3校(座間小学校、相武台東小学校、ひばりが丘小学校)及び中学校3校(西中学校、相模中学校、南中学校)にエアコンを賃貸借にて設置
26年	4月	中原小学校、東中学校に「国際教室」を開設
	7月	副読本「郷土の先人に学ぶ」発行
	8月	小学校6校(東原小学校、相模が丘小学校、立野台小学校、入谷小学校、旭小学校、中原小学校)及び中学校3校(座間中学校、東中学校、栗原中学校)にエアコンを賃貸借にて設置
27年	6月	座間市総合教育会議設置
	9月	中学校給食(選択式)試行実施(東中学校、栗原中学校)
	12月	座間市いじめ防止基本方針策定
28年	1月	座間市教育大綱策定

4. 教育委員会事務局機構と事務分掌

平成30年4月1日現在



教育部

教育総務課

庶務経理係

- (1) 公印の管理に関する事。
- (2) 規則、規程等の制定及び改廃に関する事。
- (3) 市費負担職員の人事等に関する事。
- (4) 学校その他教育機関の設置、変更及び廃止の届出に関する事。
- (5) 教育委員会の会議及び総合教育会議の連絡調整に関する事。
- (6) 人権教育行政の連絡調整に関する事。
- (7) 学校関係予算の執行管理（学校給食関係は除く。）に関する事。
- (8) 学校教育統計に関する事。
- (9) 教育行政に関する相談に関する事。
- (10) 学校教材その他校具の整備に関する事。
- (11) 奨学金に関する事。
- (12) 座間市教育施設整備基金に関する事。
- (13) 座間市奨学金基金に関する事。
- (14) 課内の予算調整及び執行管理（学校給食関係は除く。）に関する事。
- (15) 部内及び課内の庶務並びに課内の他の係に属さない事。

施設係

- (1) 学校施設（学校給食施設関係は除く。）の管理及び目的外使用に関する事。
- (2) 学校施設に係る国庫補助（学校給食施設関係は除く。）申請等に関する事。

- (3) 学校施設の建設計画並びに施設台帳の整備及び調査に関すること。
- (4) 学校施設のエコ化の推進に関すること。

学校教育課

学務係

- (1) 県費負担教職員の任免、服務その他人事に関すること。
- (2) 学校の組織及び学級編成に関すること。
- (3) 学齢簿の編成及び整理保管に関すること。
- (4) 児童生徒の就学に関すること。
- (5) 通学区域の設定及び変更に関すること。
- (6) 教職員互助会に関すること。
- (7) 就学援助費（特別支援教育就学奨励費を含む）に関すること。
- (8) 課内の予算調整及び執行管理に関すること。
- (9) 課内庶務及び課内の他の係に属さないこと。

保健給食係

- (1) 学校の環境衛生に関すること。
- (2) 児童生徒及び教職員の保健安全に関すること。
- (3) 学校医、歯科医、薬剤師及び学校保健団体に関すること。
- (4) 学校給食施設の整備計画及び管理に関すること。
- (5) 学校給食の運営指導助言に関すること。
- (6) 学校給食関係予算の執行管理に関すること。
- (7) 通学路に関すること。
- (8) 学校災害見舞金に関すること。
- (9) 学校給食施設に係る国庫補助申請等に関すること。

教育指導課

指導係

- (1) 教科用図書の採択の事務に関すること。
- (2) 準教科書の採択に関すること。
- (3) 各教科、道徳、特別活動等の指導助言に関すること。
- (4) 教科用図書その他教材等の取扱い、研究及び指導に関すること。
- (5) 児童及び生徒指導、学校保健安全指導、食に関する指導並びに進路指導に関すること。
- (6) 特別支援教育の研究及び指導に関すること。
- (7) 教員の研修に関すること。
- (8) 座間市教育支援委員会に関すること。
- (9) 就学相談その他学校教育に関する専門的事項の指導に関すること。
- (10) 課内の予算調整及び執行管理に関すること。
- (11) 課内庶務に関すること。

教育研究所

- (1) 公印の管理に関する事。
- (2) 教育に関する調査及び研究に関する事。
- (3) 教育関係職員の研修に関する事。
- (4) 教育相談に関する事。
- (5) 教育に関する図書及び資料の収集並びに整備に関する事。
- (6) 教育史の編さんに関する事。
- (7) 教材の開発及び研究に関する事。
- (8) 教育支援教室の運営に関する事。
- (9) その他教育研究所の目的達成に必要な事。
- (10) 所内庶務に関する事。

生涯学習課

生涯学習係

- (1) 座間市社会教育委員に関する事。
- (2) 生涯学習の推進に関する事。
- (3) 社会教育関係団体の育成に関する事。
- (4) 市立公民館の支援及び連絡調整に関する事。
- (5) 社会教育施設の建設計画及び管理に関する事。
- (6) 社会教育施設に係る国庫補助等の申請に関する事。
- (7) 課内の予算調整及び執行管理に関する事。
- (8) 課内の庶務及び課内の他の係に属さない事。

文化係

- (1) 文化行政の企画、調整及び推進に関する事。
- (2) 市民文化等の振興の推進に関する事。
- (3) 余暇対策の調査研究に関する事。
- (4) 財団法人座間市スポーツ・文化振興財団の統括に関する事。
- (5) 市民文化会館の管理運営に関する事。

市史文化財担当

- (1) 市史の編さんに関する事。
- (2) 市史資料の収集及び保管に関する事。
- (3) 座間市市史編さん審議会に関する事。
- (4) 文化財保護に関する事。
- (5) 座間市文化財保護委員会に関する事。
- (6) 開発事業に伴う文化財保護等に係る協議及び指導に関する事。

公民館

- (1) 座間市立公民館運営審議会に関する事。

- (2) 成人学級を開設すること。
- (3) 定期講座を開設すること。
- (4) 討論会、講習会、実習会、展示会等を開催すること。
- (5) 図書、記録、模型及び資料を備え、その利用を図ること。
- (6) 社会教育関係団体、機関等の連絡を図ること。
- (7) その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

図 書 館

庶務係

- (1) 図書館運営の企画及び調査に関すること。
- (2) 図書館施設等の維持管理に関すること。
- (3) 公印の管理に関すること。
- (4) 文書の收受、編集及び保存に関すること。
- (5) 座間市立図書館協議会に関すること。
- (6) 図書館の予算編成及び執行管理に関すること。
- (7) 館内庶務その他館内の他の係に属さないこと。

奉仕係

- (1) 図書館資料の選択及び収集に関すること。
- (2) 図書館資料の整備及び保管に関すること。
- (3) 図書館資料の閲覧及び貸出に関すること。
- (4) 参考資料の紹介及び提供に関すること。
- (5) 講演会、読書会等の主催及び奨励に関すること。
- (6) 移動図書館の運営及び団体貸出に関すること。
- (7) 他の図書館等の連絡及び協力に関すること。
- (8) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (9) 図書館関係団体の育成に関すること。
- (10) その他図書館奉仕活動に関すること。
- (11) 視聴覚ライブラリーに関すること。

5. 教育費

平成30年度 教育費等予算(歳入)

(単位:千円)

款	項	目	平成30年度	平成29年度	増減額	増減率 (%)
使用料及び手数料	使用料	教育使用料	40,420	44,727	△4,307	-9.6%
		(節) 小学校使用料	7,718	7,333	385	5.3%
		(節) 中学校使用料	3,877	3,707	170	4.6%
		(節) 社会教育使用料	28,825	33,687	△4,862	-14.4%
国庫支出金	国庫補助金	教育費国庫補助金	11,614	12,001	△387	-3.2%
		(節) 教育総務費補助金	2,366	1,886	480	25.5%
		(節) 小学校費補助金	6,742	7,093	△351	-4.9%
		(節) 中学校費補助金	2,506	3,022	△516	-17.1%
		(節) 小学校学校施設環境改善交付金	0	0	0	0%
		(節) 中学校学校施設環境改善交付金	0	0	0	0%
財産収入	財産運用収入	利子及び配当金	2	5	△3	-60.0%
繰入金	基金繰入金	奨学金基金繰入金	100	200	△100	-50.0%
諸収入	貸付金元利収入	高校進学資金貸付金元利収入	389	495	△106	-21.4%
		雑入	12,656	12,080	576	4.8%
		(節) 教育費雑入	1,478	1,483	△5	-0.3%
		(節) 雑入	11,178	10,597	581	5.5%
小計			13,045	12,575	470	3.7%
市債	市債	教育債	0	51,900	△51,900	皆減
		(節) 小学校債	0	23,500	△23,500	皆減
		(節) 中学校債	0	28,400	△28,400	皆減
教育費歳入合計			65,570	121,408	△56,227	-46.0%

平成30年度 教育費等予算（歳出）

※人件費を含む（単位：千円）

項	目	平成30年度	平成29年度	増減額	増減率（%）
教育総務費	教育委員会費	4,560	4,784	△ 224	-4.7%
	事務局費	366,427	372,589	△ 6,162	-1.7%
	教育研究所費	33,806	36,209	△ 2,403	-6.6%
	教育指導費	103,237	93,965	9,272	9.9%
	小計	508,030	507,547	483	0.1%
小学校費	学校管理費	643,832	639,083	4,749	0.7%
	給食費	189,200	174,658	14,542	8.3%
	教育振興費	244,937	236,994	7,943	3.4%
	小計	1,077,969	1,050,735	27,234	2.6%
中学校費	学校管理費	220,793	278,217	△ 57,424	-20.6%
	教育振興費	170,304	177,752	△ 7,448	-4.2%
	給食費	72,926	87,218	△ 14,292	-16.4%
	小計	464,023	543,187	△ 79,164	-14.6%
合計(学校教育等)		2,050,022	2,101,469	△ 51,447	-2.4%
社会教育費	社会教育総務費	355,312	344,493	10,819	3.1%
	公民館費	85,105	67,334	17,771	26.4%
	資料館費	96	67	29	43.3%
	図書館費	99,220	88,682	10,538	11.9%
	視聴覚教育費	1,198	1,101	97	8.8%
	市史編さん費	5,363	4,418	945	21.4%
	市民文化会館費	346,355	306,725	39,630	12.9%
	小計	892,649	812,820	79,829	9.8%
合計(社会教育)		892,649	812,820	79,829	9.8%
教育費等歳出合計		2,942,671	2,914,289	28,382	1.0%

IV 学校教育

第1 豊かな心を育むひまわりプラン

I 豊かな心を育むひまわりプラン策定の趣旨

教育の基本理念は、人格の形成にあります。そして、その理念を達成するために、学校教育は知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒の育成をめざすことが求められます。これには、学校教育の目標をふまえ、一層充実した教育効果をあげられるよう、積極的な教育の向上を図ることが重要です。

これからの社会において、児童生徒が心豊かに主体的・創造的に生きることができる資質や能力（「生きる力」）を育成するために、学校教育においては基礎基本の徹底を図り、一人ひとりの個性を生かす教育を推進するとともに、生涯にわたる学習の基礎となる健やかでたくましい心身が育つよう、家庭・地域と連携し豊かな人間性を育む教育の一層の深化・浸透に努めることが肝要です。特に近年では、児童生徒の倫理観や社会性の不足、規範意識の低下、自立の遅れなどの問題が見られることから、学校・家庭・地域の密接なつながりの中で、豊かな心の育成の充実を一層図る必要があります。

教師には、児童生徒の良さや可能性を生かすことを指導の中心に据えた上で、児童生徒が自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力その他の能力を育むことができるように、また児童生徒が力強い意志と自主・自律の精神を持ち、自然愛・人間愛にも優れ、心情豊かに心身ともに健康で、自ら考え正しい判断のもとに行動できるように指導することが求められます。教師は、正しい教育観や豊かな人間性を基盤として、一人ひとりの児童生徒の個性を把握し、その能力等の伸長を図るよう努める必要があります。教師は、特に児童生徒の学習意欲・興味・関心等が、教師の熱意と指導力により一層高まることを自覚し、広い視野と教養を身につけ、常に創造性を発揮し、市民の信頼に応える教育を進めることが大切です。これらのことを一人ひとりの教師が認識し、共通理解のもとに、学校教育における諸活動の中で、学校教育の目標の具現化に向けて意図的・計画的に教育を実践する必要があります。

本市では、座間市らしさを大切にした学校教育を展開する第一歩として、「豊かな心の育成」を平成16年度から学校教育の重点主題として定め、各学校ではそれぞれの特色を生かした取組を展開し、児童生徒の心を豊かに育んできました。平成21年度に「豊かな心を育むひまわりプラン」の策定委員会を設置し、これまでの学校教育における重点主題である「豊かな心の育成」についての取組を見直すとともに、今後の10年間を見据え、新しい時代の本市の教育行政の確立をめざして、座間市学校教育指導計画の中核である「豊かな心を育むひまわりプラン」を策定し、取り組んでいます。

全国学力・学習状況調査の結果を見ても、小学校では「思いやりの心が育っている」また、中学校では、「あいさつがよくできる」「きまりを守る態度が育まれている」など豊かな心が着実に育成されてきた成果が表れています。

II 期間

「豊かな心を育むひまわりプラン」の計画期間は、平成23年度から平成32年度までの10年間とします。

III 「豊かな心を育むひまわりプラン」の位置づけ

1 「学校教育指導計画」との関係

「豊かな心を育むひまわりプラン」は、教育指導課が所管する10年間のすべての事業の根幹をなすものであり、座間市教育委員会の学校教育の方向性を示すものとして位置づけます。

「学校教育指導計画」は、「豊かな心を育むひまわりプラン」に基づいて、毎年改訂します。

2 「第四次座間市総合計画」との関係

第四次座間市総合計画は、平成32（2020）年度を目標年次とする10年でめざすべき将来目標を設定し、実現に向けて基本構想を策定しています。教育における将来目標は、「のびやかに 豊かな心 育むまち」と決めました。

そして、「豊かな心を育むひまわりプラン」は、座間市教育委員会教育指導課が、この第四次座間市総合計画と整合性を図りながら定める実施計画であり、実施計画事業として位置づけられています。

IV めざす大人像

これからの社会は極めて不透明で、長期的な予測は難しい状況です。だからこそ、教育の果たす役割は大きいと言えます。一人ひとりが人間として自立し、それぞれの個性を伸ばしその可能性を開花させることが重要です。そのためには、その基礎を培うことが義務教育に求められます。

これまで座間市では、学校教育指導計画にある「学校教育の目標」に沿って豊かな心の育成を図ってきました。この「学校教育の目標」を達成できた姿が、豊かな心の育った、めざす子ども像となるわけです。

当初、策定委員会では、「具体的にイメージできるめざす子ども像」、「めざす姿に近づくための日々の行動」の2つを記述する方向で討議が進みました。しかし、何度も話し合いを重ねる中で、めざす子ども像は、「こんな大人になってほしい」という姿にたどり着く過程の姿であると捉え、「めざす大人像」を明らかにすることとしました。

座間の教育を受けながら、やがてその子たちが大人になったときには、こうなっていてほしいというめざす姿に向けて、学校教育の目標を大事にしながら、豊かな心を育成していこうという結論になりました。

「こんな大人になってほしい」

- 自分のよさを大切にし、健康で自立した生活を送る。
- 正義を尊び、自らを律し、責任ある行動をとる。
- 目標に向かって学び続け、新たな価値を創造する。
- 温かな心で人とかわり合い、奉仕の心で人の役に立つ。
- 郷土への愛と誇りをもち、国や社会の発展に尽くす。



なお、「学校教育の目標」は「豊かな心を育むひまわりプラン」では、保護者や地域の方にも親しみやすいように、「学校がめざしていること」としています。

V 豊かな心とは

「豊かな心」とは、実り多い豊かな自己実現が果たせる心であり、子どもたちが、前ページの「こんな大人」になりたいと願い、それを目標として自発的に行動する「心」、また仲間と共に努力する「心」と捉えています。

心は見えませんが、行動に表れます。子どもたちの日々の行動の中には、「豊かな心」の小さなつぼみが芽生えています。興味をもって学ぼうとする心、歌や絵を愛する心、自然の不思議に感動する心、あやまちを正そうとする心、困った人を助ける心、行いを反省する心、など。私たち大人は、それらのつぼみを見つけ、育て、個性豊かな花を咲かせてあげたいと思います。

「豊かな心を育むひまわりプラン」が最終的にめざすのは、より高く、大きく、たくさんの自己実現を果たすとともに、周りの人と一緒に前向きに幸せに生きることです。

例えば、

・ある児童は、体育の時間にどうしても鉄棒で逆上がりができず、休み時間も放課後も手にまめを作りながら何度も繰り返し練習をしていました。その子を励ましながら一緒に練習を見守った友人は、その子が初めて逆上がりできたとき、まるで自分のことのように喜びました。

目標に向かってあきらめずにがんばり続ける児童にも、それを見守る友人にも心の豊かさを感じます。

・突然転校することになったある小学生は、下校時に毎日優しく声をかけて自分たちの安全を見守ってくれた地域の方に、感謝のお手紙を渡しました。

毎日見守ってくれていた地域の方への思いを心の中にしまっていたのでは、相手に伝わりません。自分の思いを手紙に託したことで、心が目に見える形となってあらわれたのです。

・以前、ある中学校から駅までの通りは空き缶やペットボトルなどが散乱し、生徒達が一斉にゴミ拾いをしても、次の週には再びゴミでいっぱいになってしまうような状態でした。このような中、中学生でも何か役に立てることはないだろうかという生徒会で話し合い、地域の方々とともに通りに花壇を作る取組が始まりました。やがて、春は菜の花、夏はひまわり、秋には赤やピンクのコスモスの群生が道行く人の目を楽しませるようになると、いつの間にかゴミのポイ捨てがなくなったそうです。

地域を大切に思う生徒達の心が美しい環境を作り出し、本来人の持つ心の優しさや感性を引き出したのではないのでしょうか。

・地域のいっぺい窪のホタルを見に行った姉弟は、ホタルを守る活動をしている方々の存在を知りました。その後二人は、その方たちと一緒に、湧水付近および通学路の清掃活動を平成19年から続けています。

まちの環境美化活動を続ける姉弟の行動は、座間の宝物である湧水を守りたいという強い思いが、行動となって奉仕の心や感謝の心となって表れた姿であり、豊かな心が育っている姿と捉えられます。



このように、人間としてこうやっていきたい、こうなりたいという心の動きや高まりが表出されたときに、ああこの子は育ってきたなあと感じられるのです。つまり、座間市教育委員会としては、行動に表れているということを、豊かな心が育っていると捉えたいと考えています。

VI 豊かな心を育むために

座間市教育委員会では、めざす大人像として「こんな大人になってほしい」という目標を定めました。その実現に向けて、児童生徒期に特に重点をおいて取り組むべきことを検討しました。

豊かな心を育成していく上で、それを支えるのは学校と家庭と地域に他なりません。その三者が、「豊かな心を育成する」という同じ方向を向いて、共に連携・協力していくことが何よりも大切なことです。それとともに、学校、家庭、地域の三者がしっかりと役割分担をして、それぞれの場でできることを絞って、特に意識して取り組む視点を明確にしていくことが重要です。具体的な例として、学校、家庭、地域のそれぞれにおいて、座間市のめざす「豊かな心」の育成につながると思われることを、次のようにあげてみました。

1 学校では

- ・一人ひとりの心を大切にした学級経営を通して、温かな人間関係を育てます。
- ・様々な体験活動を通して、本物に触れさせ感動する心を育てます。
- ・道徳の時間を要とし、学校生活全体を通して、心に響く道徳教育を行います。
- ・異学年交流活動や部活動を通して、思いやりの心を育てます。
- ・教育活動全体を通して、健康への意識やたくましい心と体を育てます。
- ・子どもたちの心をゆり動かす授業を行い、自ら学ぶ意欲を育てます。
- ・学び合いや言語活動の充実を通して、考える力や表現する力を育てます。
- ・読書活動を通して、幅広い知識を身につけ豊かな心を育てます。
- ・係活動や委員会活動を通して、働く喜びや責任感を育てます。
- ・地域の方々との交流を通して、地域を大切にすることを育てます。



2 家庭では

- ・みんなで、笑顔であいさつをしましょう。
- ・みんなで、「ありがとう」「ごめんなさい」と素直に言いましょう。
- ・子どもに愛情を注ぎ、一緒に過ごす時間をつくりましょう。
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」を合言葉に、生活習慣を整えましょう。
- ・家族の一員として、子どもにも家事を分担させましょう。
- ・みんなで、きまりや約束を守りましょう。
- ・善悪のけじめ、区別をきちんと教えましょう。
- ・善いことをした時は褒め、悪いことをした時は諭し、改めさせましょう。

3 地域では

- ・名前を呼んで声をかけ、明るく挨拶をしましょう。
- ・優しい心と笑顔で、どの子どもも分け隔てなく育みましょう。
- ・大人が手本となり、子どもたちに社会のルールを教えましょう。
- ・心安らぐ町になるように、地域の環境に目を配りましょう。
- ・子どもたちが地域の一員として、様々な体験をする機会を増やしましょう。

VII 「豊かな心を育むひまわりプラン」のイメージ図

「豊かな心を育むひまわりプラン」の全体像が、一目でつかめるような図を作ることで、座間市に住む子どもも保護者も地域の方々も、このプランの実現に向けて一緒に取り組んでいただきたいと考えました。



- ・全体として、本市のシンボルマークの構図を基にしています。
- ・中央の水色は、座間市を流れる相模川、鳩川、目久尻川を表しています。
- ・左上の緑の山は、座間市民に親しみ深い大山を表しています。
- ・右下の群生するひまわりは共に育つ姿を表しています。
- ・学校、家庭、地域は、ひまわりが大きく育つ土壌の役割を示し、そこから養分を受け取っている様子を表しています。
- ・中心のひまわりの花は豊かな心が育っている姿で、5つの葉はめざす姿を表しています。
- ・「根から養分を吸収し、葉で行動目標を実践し、豊かな心という花が咲く」というイメージです。

Ⅷ ざまっ子 八つの誓い

- 1 毎日明るく元気にあいさつをします
- 2 家族を大切にします
- 3 友だちを大切にします
- 4 困っている人に手をさしのべ、優しく接します
- 5 人の役に立つことを進んで行います
- 6 何事にも積極的にチャレンジし、粘り強く取り組みます
- 7 約束や決まりは、いつでもしっかり守ります
- 8 自然を大切にし、地球に優しい生活をします

第2 地域連携による学校づくり

1 ころとときめきスクール推進委託事業

・市内小中学校が、座間市の特色ある教育である「豊かな心の育成」に積極的に取り組むとともに、児童生徒一人ひとりの「生きる力」の育成を目指して外部教育力を活かした教育活動等を展開し、創意に富んだ特色ある学校づくりを推進できるよう、各小中学校の研究及び実践活動を推進する。

第3 児童生徒に適した指導・支援

1 学校安全対策事業

・学校への不審者侵入、登下校時の不審者、変質者との遭遇等に備え、学校安全対策嘱託員を1人配置して学校の安全管理体制の充実と安全意識の向上を図る。
・防犯ブザーを小学校の児童（1年生）に支給することで、安全意識を高揚するとともに、事故を未然に防ぐことに役立てる。

年度 項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
安全対策嘱託員勤務日数	2 4 3	2 4 2	2 4 2	2 4 2
防犯ブザー購入配付個数	1, 2 0 0	1, 1 0 0	1, 1 0 0	1, 1 0 0

2 中学校部活動指導者派遣事業

・部活動の専門的技術を補うために、学校の実情にあわせ、顧問教員の協力者として学校の教育方針にあった指導者を派遣する。

年度 項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
中学校部活動指導者人数	1, 250 回	1, 250 回	1, 250 回	1, 260 回	1, 290 回

3 特別支援教育事業

・市内の小中学校の特別支援学級には、障がい児の学校生活における身辺処理の介助や移動時の安全確保のために障がい児介助員を 27 名派遣。介助員は担任教諭の指示により職務に従事することで、担任教諭は集団全体に目を向けた指導に専念できるなど、特別支援教育の充実を図る。
・通常級に在籍する、LD、ADHD、高機能自閉症等配慮を要する児童生徒に対し、きめ細かな支援を行うために特別支援教育補助員を 17 名派遣。担任と協力して学習に困難をきたしている児童生徒の学習支援を中心に支援し、人間関係づくりに困難さを感じている児童生徒に対しては、社会性が身につくようサポートする。

第4 情報化・国際化教育の推進

1 小中学校外国語教育推進事業

- ・外国語指導助手（ALT）^{注1}派遣の実施

国際社会の一員として世界の人々と心を開いて交流することができるよう、小・中学校とも外国語指導助手（ALT）を外国語活動及び外国語の授業に派遣する。

（小学校）目的：国際理解とコミュニケーション能力を養う。

派遣日数：年間565日 全小学校3、4年生：各クラス年間平均15時間

5、6年生：各クラス年間平均25時間

（中学校）目的：英語教育の充実と国際理解を深める。

派遣日数：年間395日 全中学校1～3年生：年間平均20時間

注1 ALTとは、Assistant Language Teacherの略で、外国語指導助手のことをさしています。

2 外国人子女日本語指導等協力者派遣事業

- ・日本語指導を必要とする児童・生徒のために、学校の要請に応じて日本語指導等協力者を派遣し、学習、生活の両面から円滑な学校生活が送れるよう支援する。
- ・個人面談の折には通訳者を派遣し、保護者の教育相談にも対応する。

〔日本語指導等協力者派遣回数〕

項目 \ 年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
日本語指導（回）	450	500	535	555	555
通訳（回）	12	15			

第5 学校教育の目標

1 心豊かな児童生徒の育成

- （1）まわりの人たちと協力しながら、より高い目標に向かって努力する心を育てる。
- （2）礼儀や思いやり、感謝の心、感動する心など豊かな心を育てる。

2 心身ともに健康な児童生徒の育成

- （1）健康的で望ましい生活習慣を身につけようとする態度を育てる。
- （2）自らの人生をたくましく切りひらく強い心とからだを育てる。

3 強い意志を持って、自ら意欲的に学ぶ児童生徒の育成

- （1）自ら課題をもち、忍耐強く解決しようとする学習態度を養う。
- （2）問題解決のために必要な知識や技能を、進んで身につけようとする態度を養う。

4 進んで働き、よりよい社会をめざす児童生徒の育成

- （1）社会のために進んで働こうとする強い意志と責任感を育てる。
- （2）真理を愛し、正義を尊び、互いの人格を尊重する態度を養う。

5 わが国の文化や伝統を尊重するとともに世界の人々と共生できる児童生徒の育成

- （1）座間市の文化や風土を愛し、よりよい郷土づくりに努力する態度を養う。
- （2）わが国の文化や伝統を愛し、世界の平和と人類の幸福の実現に役立つ人を育てる。

第6 指導係主要事業計画

1 学校訪問

(1) A訪問

趣旨	学校教育目標の具現化をめざし、日常の教育活動の進め方や学校・学年・学級経営上の問題点について、指導主事と学校が相互に協議し合い、より高い教育の実践を図る。特に授業研究による教員の授業力向上を図ることを主たる目的とする。		
訪問者	教育長、教育指導課長、指導主事、(教育委員)		
訪問校 期 日	相武台東小 学校	平成31年 2月 1日 (金)	・ ・ 研究発表会
	ひばりが丘小 学校	平成30年11月19日 (月)	
	立野台小 学校	平成30年10月 9日 (火)	
	相模中 学校	平成31年 2月 5日 (火)	
	南中 学校	平成30年10月15日 (月)	

(2) B訪問

趣旨	教育委員が参加し、学校教育全般に関して学校と協議を行い、学校教育の向上を図る。		
訪問者	教育委員、教育長、教育部長、参事兼教育総務課長、学校教育課長、学校教育課保健給食担当課長、教育指導課長、教育研究所長、指導係長、指導主事		
訪問校 期 日	相模野小 学校	平成30年 7月 5日 (木)	
	入谷小 学校	平成30年10月29日 (月)	
	座間中 学校	平成31年 1月21日 (月)	・ ・ 研究発表会

(3) C訪問

趣旨	教育委員が参加し、学校経営及び運営等に関して学校と相互に協議を行い、学校教育の向上を図る。		
訪問者	教育委員、教育長、教育部長、学校教育課長、教育指導課長、指導係長		
訪問校 期 日	座間小 学校	平成31年 2月14日 (木)	
	栗原小 学校	平成30年 7月10日 (火)	
	東原小 学校	平成30年11月15日 (木)	・ ・ 研究発表会
	相模が丘小 学校	平成31年 2月18日 (月)	
	旭小 学校	平成30年10月16日 (火)	
	中原小 学校	平成30年 6月21日 (木)	
	西中 学校	平成30年10月11日 (木)	
	東中 学校	平成30年11月13日 (火)	
	栗原中 学校	平成30年10月25日 (木)	

(4) 視点

- ア 各教科・道徳・特別活動の授業に関すること
- イ 校内研究に関すること
- ウ 児童生徒指導、進路指導に関すること
- エ 学校・学年・学級経営に関すること
- オ 教育環境に関すること

(5) 配慮事項

- ア 訪問日の日程や運営については、市教育委員会と学校で調整する。
なお、研究発表を行う学校については、これを学校訪問に代えるものとする。
- イ 学習指導案（A訪問のみ）、配付資料を訪問日の10日前までに、A訪問は13部、B訪問は21部、C訪問は12部指導係まで提出する。
- ウ 実施1か月前に学校と指導係で事前打ち合わせを行う。

2 各種研究委託等

(1) 座間市教育課程等研究推進委託校

学 校 名	研究領域	研 究 主 題 等	年 度	スーパー バイザー等
相武台東小学校	全教科 全領域	「心豊かに生き生きと活動する子を目指して」 ～学び合うことを中心に～	29・30	元横浜国立大学 附属教育デザイン センター 山本 金五
ひばりが丘小学校	全領域	自分を表現し、お互いに学び合う子の育成 ～聴いて、考えて、つなげる授業を生かして～	30・31	横浜国立大学 高木 展郎 東京学芸大学 中村 和弘
東原小学校	道徳	「たくましく 心豊かに生きる子の育成 ～考え、学び合う道徳の授業を目指して～」	29・30	星槎大学 大学院 北川 達夫
中原小学校	体育	自ら学び、自ら考え、豊かな心を持つ子の育成	30・31	東京学芸大学 鈴木 聡
座間中学校	全教科	「一人一人の豊かで深い学びを目指して ～授業力の向上」 ～グループ活動における教師の指導・支援の仕 方を中心に～	29・30	横浜国立大学 池田 敏和
西 中学校	全教科 全領域	「自立・共生に向けて豊かな心を持つ生徒 の育成」 ～防災教育を含めた自己有用感を育む教育活動～	30・31	横浜国立大学 有元 典文
南 中学校	道徳	考える道徳授業の創造 ～よりよく生きる道徳性を養うために～	30・31	帝京大学大学院 赤堀 博行

(2) 研究発表会

学 校 名	研究領域	期 日	スーパーバイザー等
東原小学校	道徳	平成30年11月15日 (木)	星槎大学大学院 北川 達夫
相武台東小学校	全教科 全領域	平成31年 2月 1日 (金)	元横浜国立大学附属 教育デザインセンター 山本 金五
座間中学校	全教科	平成31年 1月21日 (月)	横浜国立大学 池田 敏和

(3) 座間市ころ・ときめきスクール推進委託
市内17校のころ・ときめきスクール推進研究会

(4) 座間市立小学校教育評価研究委託
座間市立小学校教育評価研究会

(5) 座間市特別支援教育研究委託
座間市特別支援教育研究会

3 平成30年度 指導者等派遣

- (1) 中学校部活動指導者 (6校 1, 290回)
 座間中学校 (215回) 西 中学校 (215回) 東 中学校 (215回)
 栗原中学校 (215回) 相模中学校 (215回) 南 中学校 (215回)

- (2) 障がい児童・生徒介助員 (27人)
1人当たり：1日5.75時間
- (3) 特別支援教育補助員 (17人)
1人当たり：1日5.75時間
- (4) 外国語指導助手
小学校 (11校)：4人 (うち1名中学校兼務) 年間565日
中学校 (6校)：3人 年間395日
- (5) 外国人子女日本語指導協力者
日本語指導(含む通訳) 555回分 市内小・中学校

4 学校農園実施校 (3校)

- 座間小学校 ○相武台東小学校 ○入谷小学校

5 平成30年度 会議計画

※会議は原則として15:00~16:50で開催いたします

	会議名	期 日	会 場	趣旨・内容
1	定例校長会議	① 4/6 PM ②6/27AM ③10/4 AM ④1/10PM ⑤ 3/6 PM	①~④ 全員協議会室 ⑤3-1 (H.H会議室)	校長と教育委員会事務局とが学校教育の望ましい在り方を協議するとともに、両者の連携を図る。
2	定例教頭会議	① 4/10 AM ② 1/11 AM	5-1 5-2, 3	当面する教育上の課題の協議と情報交換を行い、学校と教育委員会との連携を深める。
3	教務担当者会議	4/10 PM	5-1	教育課程の編成や委託関係の説明及び教育上の課題の協議と情報交換を行い教務に関する事務等の円滑化を図る。
4	教育支援委員会	①5/24 PM ② 9/6 PM ③10/4 PM ④11/1 PM ⑤12/6 PM ⑥2/14 PM	①5-2 ②5-4, 5 ③5-2, 4④5-1 ⑤5-5 ⑥5-2, 3	障がいの状態に応じた適正就学について協議する。
5	支援教育関係者会議	4/16 PM	5-2	特別支援学級や就学について連絡・調整を図る。
6	通級指導教室担当者会議	4/19 PM	4-1	情緒通級指導教室について連絡・調整を図る。
7	児童生徒指導担当者会議	6/22 PM	4-2, 3	小・中学校での連携や望ましい指導の在り方について協議し、児童生徒指導上の諸問題の解決を図る。
8	教科書事務担当者会議	3/27 PM	座間中	教科書関係の事務が適正に行われるように協議する。
9	英語教育推進会議	小・中 4/12 PM 小・中 2/12 PM	4-2 5-2	外国語活動及び英語教育に関する協議と情報交換を行い、円滑な実施を図る。
10	子どもの健康・体力についての連絡会	5/18 PM	5-2	小中学校担当で子どもの健康・体力についての情報交換・意見交換等を行う。
11	食育推進担当者会議	5/11 PM 1/31 PM	5-2 5-3	小中学校における食育推進のあり方について協議し、推進を図る。
12	青少年薬物乱用・いじめ防止等対策連絡協議会	5/ 8 PM 1/24 PM	5-1 4-2	青少年の薬物乱用防止などについて関係機関で協議する。

*会場欄 ひ：市役所5階ひまわり(小会議室) コミュニティP：ふれあい会館 HH：ハーモニーホール

6 平成30年度 研修計画

* …… 臨任の希望参加 可

	事業名	趣旨・内容	対象
1 学校 経営 研修	校長研修会	学校教育目標の具現化に向けて学校経営の充実と円滑化を図る。	校長
	教頭研修会	教頭としての指導力の向上と管理面の充実を図る。	教頭
	総括教諭研修会	学校運営推進者として学校の諸課題についての理解を深め、学校運営の改善・充実に向けて総括教諭の力量の向上を図る。	総括教諭
	ミドルリーダー研修会	学校のミドルリーダーとして、学校運営の中核を担っていく教諭の意識の向上を図る。	中堅教諭
2 教育 指導 研修	学級経営研修会	学級経営の意義と役割について理解を深め、望ましい学級経営の在り方について研修し、資質の向上を図る。	1年経験者全員 1年経験者不在校は学級担任 ※各校複数人数可 (2～4年経験者の未受講者)
	校内研究担当者研修会	校内研究の意義や推進の在り方について理解を深め、担当者としての指導力の向上を図る。	校内研究部 教諭
	道徳教育研修会	道徳教育を充実するために、道徳の授業力向上を図る。	1年経験者全員 道徳教育推進教諭
	初任者研修会 (別掲参照)	教職員の服務及び学習指導上の基本的事項について研修を深め、教職員としての資質と指導力の向上を図る。	初任者 他
3 課 題 研 修	児童生徒指導研修会	望ましい指導の在り方について研修し、指導力の向上や小中連携・指導体制の充実を図る。	* 学級担任 (未受講者)
	人権教育研修会	人権教育について正しい理解と認識を深め、校内における人権教育の推進を図る。	教諭
	今日的課題研修会Ⅰ (携帯・スマホ)	教育における今日的課題等について研修を深め、その解決に資する。	教諭 (未受講者)
	今日的課題研修会Ⅱ (いじめ)		

*研修は原則、稼業中は14:45～16:50、休業中は9:30～12:00、14:00～16:00になります。

期 日	テーマ・内容 等	会 場	形 式	講 師 等
6/29	人間のもつ可能性を最大限に引き出すための発育発達段階や個に応じた対応について考えていく。	5-1 会議室	講 義	日本サッカー協会 大野 真
7/26	マネジメントブレインアソシエイツの中土井鉄信氏による「活気ある教室・職場づくり」子供と教師のセルフ・エスティームを高めるための手立てについて学ぶ。	5-5 会議室	講 義	マネジメントブレインアソシエイツ 中土井 鉄信
8/6 PM	新学習指導要領改訂に向けて、これからの時代に必要な教師力や授業改善の視点などについて学びを深める。	サニープレイス 会議室	講 義 演 習	國學院大學 田村 学
8/6 AM	元校長先生など退職された方々をパネリストとして招き学校教育の中核を担うことについての意識を高める。	5-1 会議室	パネ ル ディスカッション	元校長先生等
6/27	・体験学習による人間関係トレーニング	5-1 会議室	講 義 演 習	早稲田大学 高橋 あつ子
4/13	・校内研究の進め方とその具体例、実践例	5-7 会議室	講 義	早稲田大学 小林 宏己
① 4/24 ② 11/10	・道徳の授業の進め方 ・研究授業及び協議	5-1 学校（未定）	講 義 演 習	文教大学 赤坂 雅裕
4/9 他	・座間市の教育の概要、教員としての服務、児童・生徒理解、適応指導教室つばさの見学、授業の進め方、学級経営等	5-7 会議室 他	講 義 協 議 実 技 等	行政関係者等
① 5/29 ② 11/8 ③ 1/30	・児童・生徒指導の意義と実際及び保護者への対応	① 5-1 会議室 ② 5-1 会議室 ③ 5-2 会議室	講 義	横浜国立大学 大草 正信
① 5/30 ② 11/6	・人権教育の推進	① 5-1 会議室 ② 5-5 会議室	講 義 演 習	人権教育担当 指導主事
6/14	・携帯電話とインターネットの危険性	5-1 会議室	講 義 協 議	神奈川県警察本部 生活安全部サイバー 犯罪対策課 (情報セキュリティー アドバイザー)
5/11	・いじめ防止基本方針の理解	5-3 会議室	講 義 協 議	生徒指導担当 指導主事

7 県央教育事務所管内教育課程研究会会場

※ 今年度は、全県提案はありません。

	部 会	会 場	期 日
小学校	国語、理科、家庭、総合的な学習の時間、 道徳、総則	厚木市・愛甲地区	8月1日(水)
	算数、体育 生活、図画工作 社会、音楽 外国語活動・外国語、特別活動	大和市 海老名市 座間市 綾瀬市	※特別支援は、 8月3日(金)
中学校	国語、理科、技術、美術、外国語 総合的な学習の時間	厚木市・愛甲地区	8月2日(木)
	音楽、総則 保健体育、家庭 道徳、特別活動 数学、社会	大和市 海老名市 座間市 綾瀬市	※特別支援は、 8月3日(金)

8 キャンプ・修学旅行

小学校名	キャンプ	修学旅行	中学校名	修学旅行
座間小学校	7/24~25	10/19~20	座間中学校	6/11~13
栗原小学校	7/23~24	10/26~27	西中学校	6/6~8
相模野小学校	7/24~25	10/18~19	東中学校	5/28~30
相武台東小学校	7/25~26	11/1~2	栗原中学校	5/31~6/2
ひばりが丘小学校	7/22~23	10/21~22	相模中学校	6/9~11
東原小学校	7/25~26	11/2~3	南中学校	6/1~3
相模が丘小学校	7/22~23	10/26~27	京都・奈良方面	
立野台小学校	7/23~24	10/19~20	小学校キャンプは、座間小、ひばりが丘小は 足柄ふれあいの村、入谷小はやませみ、その 他の小学校は愛川ふれあいの村を利用しま す。	
入谷小学校	6/21~22	10/19~20		
旭小学校	7/26~27	10/18~19		
中原小学校	7/24~25	10/12~13		
行き先 宿泊施設	ふじの体験の森やませみ 愛川ふれあいの村 足柄ふれあいの村	日光方面		

9 平成30年度初任者研修計画

校外研修		平成30年度初任者研修(校外研修18日)年間予定						★H30. 3. 28訂正 ◆H30. 4. 9訂正			
月 日	曜日	実施主体	区分(内容)	カウント 日数	区分		会場	対象			
					区 分	必 修		小学校		中学校	
								C	D	C	D
4月9日	月	座間市教委①	人格的資質向上(モラルアップ)	0.5	資質	必	座間市庁舎	△	△	△	△
4月17日	火	総合教育センター	人格的資質向上① C	1	資質	必	総合教育センター	○		○	
★4月19日	木	総合教育センター	人格的資質向上① D	1	資質	必	総合教育センター		○		○
5月8日	火	県央教育事務所①	1 授業力向上 C	1	授業力	必	海老名市役所	○		○	
5月15日	火	県央教育事務所①	1 授業力向上 D	1	授業力	必	海老名市役所		○		○
6月5日	火	総合教育センター	授業力向上① 中学教科未定	1	授業力	必	横国大附属鎌倉中				社・数・音・美・外
6月12日	火	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 数学	1	授業力	必	総合教育センター				数 学
6月19日	火	座間市教委②	課題解決力向上(児童・生徒理解) C	1	課題	必	座間市庁舎	○		○	
6月19日	火	総合教育センター	授業力向上① 中学教科未定	1	授業力	必	横国大附属鎌倉中				国・理・保体・技家
6月19日	火	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 社会	1	授業力	必	総合教育センター				社会
6月26日	火	座間市教委②	課題解決力向上(児童・生徒理解) D	1	課題	必	座間市庁舎		○		○
★6月26日	火	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 理科	1	授業力	必	総合教育センター				理 科
◆7月3日	火	総合教育センター	人格的資質向上② 小C 中C	1	資質	必	総合教育センター	○		○	
◆7月10日	火	総合教育センター	人格的資質向上② 小D 中D	1	資質	必	総合教育センター		○		○
7月23日	月	総合教育センター	授業力向上① 小C	1	授業力	必	総合教育センター	○			
7月23日	月	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 国語・技術	1	授業力	必	総合教育センター				国語・技術
7月24日	火	県央教育事務所②	2 授業力向上 小	1	授業力	必	大和市立園丘中学校	○	○		
7月25日	水	総合教育センター	授業力向上① 小D	1	授業力	必	総合教育センター		○		
7月25日	水	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 外国語	1	授業力	必	総合教育センター				外国語
7月26日	木	総合教育センター	授業力向上② 中学 音・美・家	1	授業力	必	総合教育センター				音・美・家
7月30日	月	座間市教委③	人格的資質向上(ふれあい研修)	2	資質	必	愛川ふれあいの村	◎	◎	◎	◎
7月31日	火										
8月3日	金	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 保体	1	授業力	必	総合教育センター				保体
8月7日	火	県央教育事務所②	2 授業力向上 中	1	授業力	必	アミュールあつぎ			○	○
8月9日	木	総合教育センター	課題解決力向上① D	1	課題	必	総合教育センター		○		○
8月10日	金	総合教育センター	課題解決力向上① C	1	課題	必	総合教育センター	○		○	
8月21日	火	座間市教委	【選択研修】(座間市郷土学習)	1	授業力	必	座間市内各所	○	○	○	○
9月11日	火	総合教育センター	授業力向上②(ICT) 小C	1	授業力	必	総合教育センター	○			
9月11日	火	総合教育センター	授業力向上② 中D	1	授業力	必	体育センター			○	○
9月18日	火	総合教育センター	授業力向上②(ICT) 小D	1	授業力	必	総合教育センター		○		
10月16日	火	総合教育センター	人格的資質向上③ 中D	1	資質	必	総合教育センター				○
10月23日	火	総合教育センター	人格的資質向上③ 中C	1	資質	必	総合教育センター			○	
10月30日	火	総合教育センター	人格的資質向上③ 小C	0.5	資質	必	総合教育センター	△			
		総合教育センター	授業力向上③ 小C	0.5	授業力	必	総合教育センター	△			
11月13日	火	総合教育センター	人格的資質向上③ 小D	0.5	資質	必	総合教育センター		△		
		総合教育センター	授業力向上③ 小D	0.5	授業力	必	総合教育センター		△		
★1月15日	火	座間市教委④	課題解決力向上(学級経営)	0.5	課題	必	座間市立座間小学校	△	△	△	△
1月22日	火	総合教育センター	授業力向上④ 小C	0.5	授業力	必	総合教育センター	△			
		総合教育センター	人格的資質向上④ 小C	0.5	資質	必	総合教育センター	△			
1月29日	火	総合教育センター	授業力向上④ 小D	0.5	授業力	必	総合教育センター		△		
		総合教育センター	人格的資質向上④ 小D	0.5	資質	必	総合教育センター		△		
2月5日	火	県央教育事務所③	【午前】3 授業力向上 中	1	授業力	必	大和市渋谷学習センター			○	○
		県央教育事務所③	【午後】3 授業力向上 小	1	授業力	必	大和市渋谷学習センター	○	○		
各校設定		他校へ	授業力向上(他校訪問)	1	授業力	必	自校以外の学校へ	○	○	○	○
後日調整		勤務校	授業力向上(研究授業)9月~12月	1	授業力	必	勤務校	○	○	○	○
各校設定		勤務校	授業力向上(校内授業研究)	1	授業力	必	勤務校	○	○	○	○

◆原則として、Cグループの初任者はC日程の研修に、Dグループの初任者はD日程の研修に、年間通じて参加する。

◆「他校訪問」は他校に出かけ、「授業参観」+「研究協議」+「他校訪問レポート」で1日のカウントとする。

【表右に記載されている記号の説明】
◎は2日カウント ○は1日カウント △は0.5日カウント

10 平成30年度校内研究計画

学校名	領域等	研究主題
座間小学校	体育	運動する楽しさや喜びを感じられる児童の育成をめざして
栗原小学校	全教科 全領域 道徳	新学習指導要領全面実施までの授業づくり ～栗原小スタンダードを踏まえた各教科・道徳・外国語活動の研究～
相模野小学校	算数	心豊かな子どもをめざして ～自分の思いや考えを進んで表現する子の育成～
相武台東小学校	全教科 全領域	「心豊かに生き生きと活動する子を目指して」 ～学び合うことを中心に～
ひばりが丘小学校	全領域	自分を表現し、お互いに学び合う子の育成 ～聴いて、考えて、つなげる授業を生かして～
東原小学校	道徳	「たくましく 心豊かに生きる子の育成 ～考え、学び合う道徳の授業を目指して～」
相模が丘小学校	道徳	豊かな心を持ち、よりよく生きる子を育む道徳教育
立野台小学校	国語	互いに学び合い、共に考え、学びを豊かにする子の育成
入谷小学校	全教科 全領域 (防災)	災害時に支え合える力・心の育成 ～「知って」「考えて」「行動する」防災教育～
旭小学校	全領域	豊かな心をもつ子の育成 ～特別支援の視点を通して 自己肯定感を高める授業づくり～
中原小学校	体育	自ら学び、自ら考え、豊かな心を持つ子の育成
座間中学校	全教科 全領域	一人一人の豊かで深い学びを目指して～授業力の向上 ～グループ活動における教師の指導・支援の仕方を中心に～
西中学校	全教科 全領域	自立・共生に向けて豊かな心を持つ生徒の育成 ～防災教育を含めた自己有用感を育む教育活動～
東中学校	全教科	「考えやすい授業」づくり ～ユニバーサルデザインの視点を生かして～
栗原中学校	全教科	「学ぶ意欲や考える力を育てる授業づくり」 ～効果的な板書、ノート、ワークシート～
相模中学校	全教科及び道徳	指導と評価の一体化
南中学校	道徳	考える道徳授業の創造 ～よりよく生きる道徳性を養うために～

第7 市立学校一覧

(平成30年4月1日現在)

	創立年	校長名			所在地	電話
		28年度	29年度	30年度		
座間小	明治28	日向野 亨	日向野 亨	日向野 亨	座間2-3133	251-0009
栗原小	昭和25	山近 佐知子	直井 恵子	直井 恵子	栗原中央6-8-1	251-0074
相模野小	昭和37	橋本 武	橋本 武	橋本 武	広野台1-41-1	251-0625
相武台東小	昭和45	金子 憲勝	金子 憲勝	金子 憲勝	栗原1302	251-6446
ひばりが丘小	昭和46	有川 正則	有川 正則	有川 正則	ひばりが丘4-4-1	252-1124
東原小	昭和48	有山 周一	有山 周一	有山 周一	東原2-6-1	253-3145
相模が丘小	昭和51	宮下 美江子	宮下 美江子	宮下 美江子	相模が丘3-1-1	254-8202
立野台小	昭和52	鈴木 直人	山近 佐知子	山近 佐知子	立野台1-1-3	254-8100
入谷小	昭和53	唐木田 正富	唐木田 正富	西川 麻里子	入谷2-345	253-7211
旭小	昭和55	泉田 裕	泉田 裕	泉田 裕	ひばりが丘5-43-1	253-2255
中原小	昭和59	倉田 敦子	倉田 敦子	倉田 敦子	西栗原2-16-1	251-3882
座間中	昭和22	小西 秀人	小西 秀人	田附 裕治	緑ヶ丘4-6-10	251-0135
西中	昭和42	直井 恵子	鈴木 直人	鈴木 直人	座間2-1230	251-2277
東中	昭和47	日極 忠	日極 忠	日極 忠	ひばりが丘5-57-1	253-3357
栗原中	昭和52	中木原 利一	中木原 利一	櫛 弘之	栗原中央6-4-1	254-9977
相模中	昭和54	大沢 奈緒美	大沢 奈緒美	大沢 奈緒美	相模が丘6-35-1	253-2183
南中	昭和61	赤井 諭	押田 典明	押田 典明	南栗原3-8-1	256-0700

	学級数 () 特支級で内数			教 員 数			職 員 数		
	28年度	29年度	30年度	28年度	29年度	30年度	28年度	29年度	30年度
座 間 小	29 (5)	30 (6)	29 (5)	46	42	44	9	11	7
栗 原 小	21 (2)	22 (2)	23 (3)	30	33	33	9	10	6
相 模 野 小	22 (2)	23 (3)	22 (3)	32	32	31	8	10	6
相武台東小	24 (4)	24 (3)	22 (3)	32	32	29	8	11	6
ひばりが丘小	16 (2)	16 (2)	15 (2)	23	22	21	8	9	6
東 原 小	21 (2)	21 (2)	21 (2)	28	27	28	8	10	6
相模が丘小	21 (2)	21 (2)	20 (2)	30	29	28	10	11	6
立野台小	25 (3)	25 (3)	27 (4)	36	36	37	9	10	6
入 谷 小	20 (3)	20 (3)	20 (3)	26	29	29	9	9	6
旭 小	21 (3)	22 (4)	22 (5)	32	37	35	10	11	5
中 原 小	18 (3)	18 (4)	18 (4)	26	26	26	8	9	6
計	238 (31)	242 (34)	239 (36)	341	345	341	96	111	66
座 間 中	15 (3)	15 (3)	18 (4)	32	30	30	3	4	1
西 中	17 (2)	19 (4)	19 (4)	36	39	37	3	4	1
東 中	21 (3)	18 (2)	19 (3)	37	36	35	4	5	1
栗 原 中	15 (3)	15 (3)	14 (2)	29	29	29	3	4	1
相 模 中	18 (2)	18 (2)	17 (2)	36	35	34	3	4	1
南 中	13 (2)	13 (2)	11 (2)	23	24	22	2	3	1
計	99 (15)	98 (16)	98 (17)	193	193	187	18	24	6

(数値は学校基本調査による)

※教員＝校長＋教頭＋教諭＋養護教諭＋栄養教諭

職員＝栄養士＋事務＋給食調理員

第8 学校施設

1 学校施設の状況

平成30年5月1日現在 (単位: m²)

学校名	区分	校地面積	建物面積	内 訳			体育館	教室数	
				鉄 コンクリート造	鉄骨造	木造		普通	特別
座間	小	15,981.00	6,090	5,964	118	8	892	29	9
栗原	小	16,545.00	5,860	5,788	72		979	23	13
相模野	小	17,651.00	5,721	5,634	87		967	22	10
相武台東	小	16,534.40	6,217	6,121	96		874	24	11
ひばりが丘	小	19,602.00	6,412	6,284	128		892	15	13
東原	小	20,581.00	7,141	7,070	71		878	21	14
相模が丘	小	14,375.00	6,100	6,036	64		853	20	14
立野台	小	14,934.00	6,319	6,299	10	10	886	27	12
入谷	小	18,865.00	7,430	7,347	83		886	20	11
旭	小	14,943.00	6,680	6,596	84		886	20	12
中原	小	15,564.00	6,531	6,531			902	17	10
小計		185,575.40	70,501	69,670	813	18	9,895	238	129
座間	中	35,185.00	5,970	5,471	499		1,326	16	24
西	中	21,919.00	6,141	5,619	522		1,247	19	18
東	中	24,958.08	6,623	6,521	102		1,203	19	24
栗原	中	22,020.00	7,186	7,098	88		1,203	13	22
相模	中	23,623.74	6,355	6,260	95		1,203	19	21
南	中	16,643.31	6,488	6,488			1,361	11	18
小計		144,349.13	38,763	37,457	1,306	0	7,543	97	127
合計		329,924.53	109,264	107,127	2,119	18	17,438	335	256

2. 学校施設の整備状況

(1) 小学校施設整備状況

年度	事業名	学校	事業費
27	外壁改修工事設計委託	座間小学校1号棟、2号棟、屋内運動場	6,612,840
	普通教室背面ロッカー改修工事	栗原小学校	23,905,800
	屋上防水改修工事	相武台東小学校1号棟	31,186,080
	屋上防水改修工事	ひばりが丘小学校1号棟	20,700,360
	外壁改修工事	東原小学校2号棟	75,223,080
	外壁改修工事	立野台小学校東棟、西棟	66,235,320
	外壁改修工事	入谷小学校南棟	55,553,040
	便所改修工事設計委託	入谷小学校	4,920,000
	便所改修工事設計委託	中原小学校	5,070,600
	小規模改修工事		3,564,000
	合 計		292,971,120
28	外壁改修工事	座間小学校1号棟、2号棟、屋内運動場	110,559,600
	外壁改修工事	旭小学校	79,587,360
	屋上防水改修工事	相武台東小学校2号棟	22,087,080
	屋上防水及び手摺改修工事	東原小学校1号棟	39,435,120
	便所改修工事	入谷小学校南棟	116,380,800
	便所改修工事	中原小学校南棟	79,769,880
	外壁改修工事監理委託	座間小学校1号棟、2号棟、屋内運動場	1,782,000
	法面保護工事設計委託	相武台東小学校	5,622,480
	法面保護工事積算負担金	相武台東小学校	2,289,600
	便所改修工事監理委託	入谷小学校南棟	2,440,800
	便所改修工事監理委託	中原小学校南棟	2,592,000
小規模工事		6,193,929	
	合 計		468,740,649
29	法面保護工事	相武台東小学校	90,073,080
	便所改修工事	入谷小学校北棟	65,963,160
	便所改修工事	中原小学校北棟	63,504,000
	給水管更生工事	ひばりが丘小学校1号棟	11,270,880
	屋上防水改修工事	ひばりが丘小学校2号棟	24,173,640
	法面保護工事監理委託	相武台東小学校	5,972,400
	便所改修工事監理委託	入谷小学校北棟	1,782,000
	便所改修工事監理委託	中原小学校北棟	2,019,600
	外壁改修工事設計委託	相武台東小学校	5,450,760
	小規模工事		1,213,920
	合 計		271,423,440

(2) 中学校施設整備状況

年度	事業名	学校	事業費
27	改修工事	東中学校屋内運動場	133,770,960
	改修工事監理委託	東中学校屋内運動場	2,322,000
	外壁及び屋上防水改修工事設計委託	栗原中学校金工室、木工室	1,461,240
	便所改修工事	相模中学校	83,570,400
	便所改修工事監理委託	相模中学校	1,890,000
	小規模改修工事		2,401,920
	合 計		225,416,520
28	屋根改修工事	座間中学校技術科室	20,381,760
	屋根改修工事	南中学校屋内運動場	31,086,720
	改修工事	西中学校屋内運動場	136,243,080
	外壁及び屋上防水改修工事	栗原中学校金工室、木工室	19,195,920
	外壁改修工事設計委託	座間中学校2・3号棟	3,078,000
	改修工事監理委託	西中学校屋内運動場	3,564,000
	外壁及び屋上防水改修工事設計委託	東中学校金工室、木工室	2,700,000
	便所改修工事設計委託	南中学校	5,108,400
小規模改修工事		3,445,200	
	合 計		224,803,080
29	外壁改修工事	座間中学校3号棟	40,884,480
	外壁及び屋上防水改修工事	東中学校金工室、木工室	44,017,560
	便所改修工事	南中学校	106,700,760
	屋上防水改修工事	栗原中学校北棟、昇降口棟	28,964,520
	便所改修工事監理委託	南中学校	2,019,600
	外壁及び屋上防水改修工事設計委託	東中学校	6,242,400
小規模改修工事		1,279,800	
	合 計		230,109,120

3. 学校施設耐震化事業

年度	事業名	事業費 (円)
20	相模が丘小学校 屋内運動場耐震補強工事	49,843,500
	相模が丘小学校 屋内運動場耐震補強工事監理委託	924,000
	旭小学校屋内運動場耐震補強工事設計委託	2,572,500
	栗原中学校 屋内運動場耐震補強工事	35,223,300
	栗原中学校 屋内運動場耐震補強工事監理委託	819,000
	計	89,382,300
21	旭小学校 屋内運動場耐震補強工事	59,972,850
	旭小学校 屋内運動場耐震補強工事監理委託	1,470,000
	東原小学校屋内運動場耐震補強工事設計委託	2,030,000
	相模中学校屋内運動場耐震補強工事設計委託	2,026,500
	計	65,499,350
22	ひばりが丘小学校屋内運動場耐震補強工事	33,100,200
	東原小学校屋内運動場耐震補強工事	29,918,908
	ひばりが丘小学校屋内運動場耐震補強工事監理委託	1,239,000
	東原小学校屋内運動場耐震補強工事監理委託	631,980
	入谷小学校屋内運動場耐震補強工事設計委託	2,656,500
	立野台小学校屋内運動場耐震補強工事設計委託	3,140,482
	立野台小学校機械室耐震補強工事設計委託	702,518
	相模中学校屋内運動場耐震補強工事	65,912,700
	相模中学校屋内運動場耐震補強工事監理委託	2,415,000
	西中学校金木工室・木工室耐震補強工事設計委託	1,312,500
	計	141,029,788
23	立野台小学校屋内運動耐震補強工事	63,696,150
	立野台小学校屋内運動耐震補強工事監理委託	1,875,412
	立野台小学校機械室耐震補強工事	9,447,900
	立野台小学校機械室耐震補強工事監理委託	266,588
	入谷小学校屋内運動場耐震補強工事	71,842,050
	入谷小学校屋内運動場耐震補強工事監理委託	2,310,000
	西中学校金木工室・木工室耐震補強工事	30,368,100
	西中学校金木工室・木工室耐震補強工事監理委託	1,396,500
	計	181,202,700

4. 学校施設空調整備事業

(1) 小学校空調整備状況

年度	事業名	事業費 (円)
25	東原小学校外2校普通教室等空調機基本設計・実施設計委託（東原小学校・相模が丘小学校・立野台小学校）	5,659,500
	入谷小学校外2校普通教室等空調機基本設計・実施設計委託（入谷小学校・旭小学校・中原小学校）	5,649,000
	座間小学校普通教室等空調整備工事（電気）	43,850,100
	相武台東小学校普通教室等空調整備工事（電気）	39,013,800
	ひばりが丘小学校普通教室等空調整備工事（電気）	45,832,500
	座間小学校普通教室等空調整備工事（付帯）	12,365,850
	相武台東小学校普通教室等空調整備工事（付帯）	15,263,850
	ひばりが丘小学校普通教室等空調整備工事（付帯）	11,588,850
	座間小学校外2校普通教室等空調整備工事監理委託（座間小学校・相武台東小学校・ひばりが丘小学校）	2,740,500
	小学校普通教室等空調機賃貸借（座間小学校・相武台東小学校・ひばりが丘小学校）	7,288,372
	計	189,252,322
26	東原小学校普通教室等空調整備工事（電気）	51,944,760
	相模が丘小学校普通教室等空調整備工事（電気）	56,126,520
	立野台小学校普通教室等空調整備工事（電気）	62,039,520
	入谷小学校普通教室等空調整備工事（電気）	29,592,000
	旭小学校普通教室等空調整備工事（電気）	29,484,000
	中原小学校普通教室等空調整備工事（電気）	22,160,520
	東原小学校外2校普通教室等空調整備工事（付帯）（東原小学校・相模が丘小学校・立野台小学校）	27,379,080
	入谷小学校外2校普通教室等空調整備工事（付帯）（入谷小学校・旭小学校・中原小学校）	24,053,760
	東原小学校外2校普通教室等空調整備工事監理委託（東原小学校・相模が丘小学校・立野台小学校）	3,369,600
	入谷小学校外2校普通教室等空調整備工事監理委託（入谷小学校・旭小学校・中原小学校）	3,186,000
小学校普通教室等空調機賃貸借（座間小学校・相武台東小学校・ひばりが丘小学校）	12,494,280	
小学校普通教室等空調機賃貸借（東原小学校・相模が丘小学校・立野台小学校・入谷小学校・旭小学校・中原小学校）	12,295,584	
	計	334,125,624
27	小学校普通教室等空調機賃貸借（座間小学校・相武台東小学校・ひばりが丘小学校）	12,494,280
	小学校普通教室等空調機賃貸借（東原小学校・相模が丘小学校・立野台小学校・入谷小学校・旭小学校・中原小学校）	21,078,144
	計	33,572,424
28	小学校普通教室等空調機賃貸借（座間小学校・相武台東小学校・ひばりが丘小学校）	12,494,280
	小学校普通教室等空調機賃貸借（東原小学校・相模が丘小学校・立野台小学校・入谷小学校・旭小学校・中原小学校）	21,078,144
	計	33,572,424
29	小学校普通教室等空調機賃貸借（座間小学校・相武台東小学校・ひばりが丘小学校）	12,494,280
	小学校普通教室等空調機賃貸借（東原小学校・相模が丘小学校・立野台小学校・入谷小学校・旭小学校・中原小学校）	21,078,144
	計	33,572,424

4. 学校施設空調整備事業

(2) 中学校空調整備状況

年度	事業名	事業費 (円)
25	座間中学校外2校普通教室等空調機基本設計・実施設計委託（座間中学校・東中学校・栗原中学校）	5,565,000
	西中学校普通教室等空調整備工事（電気）	25,019,400
	相模中学校普通教室等空調整備工事（電気）	31,290,000
	南中学校普通教室等空調整備工事（電気）	30,922,500
	西中学校普通教室等空調整備工事（付帯）	3,927,000
	相模中学校普通教室等空調整備工事（付帯）	4,692,450
	南中学校普通教室等空調整備工事（付帯）	3,524,850
	西中学校外2校普通教室等空調整備工事監理委託（西中学校・相模中学校・南中学校）	2,677,500
	中学校普通教室等空調機賃貸借（西中学校・相模中学校・南中学校）	6,621,286
	計	114,239,986
26	座間中学校普通教室等空調整備工事（電気）	21,701,520
	東中学校普通教室等空調整備工事（電気）	52,227,720
	栗原中学校普通教室等空調整備工事（電気）	53,838,000
	座間中学校外2校普通教室等空調整備工事（付帯）（座間中学校・東中学校・栗原中学校）	23,613,120
	座間中学校外2校普通教室等空調整備工事監理委託（座間中学校・東中学校・栗原中学校）	2,700,000
	中学校普通教室等空調機賃貸借（西中学校・相模中学校・南中学校）	11,350,704
	中学校普通教室等空調機賃貸借（座間中学校・東中学校・栗原中学校）	7,869,204
	計	173,300,268
27	中学校普通教室等空調機賃貸借（西中学校・相模中学校・南中学校）	11,350,704
	中学校普通教室等空調機賃貸借（座間中学校・東中学校・栗原中学校）	13,490,064
	計	24,840,768
28	中学校普通教室等空調機賃貸借（西中学校・相模中学校・南中学校）	11,350,704
	中学校普通教室等空調機賃貸借（座間中学校・東中学校・栗原中学校）	13,490,064
	計	24,840,768
29	中学校普通教室等空調機賃貸借（西中学校・相模中学校・南中学校）	11,350,704
	中学校普通教室等空調機賃貸借（座間中学校・東中学校・栗原中学校）	13,490,064
	計	24,840,768

第9 市立小・中学校の沿革

座間小学校

- 明治 6年 明治5年8月3日学制が發布されたことに伴い座間入谷村に風牛学舎を設け、座間入谷村、座間村、新田宿村、四ツ谷村を通学区とした(7月)
- 明治 9年 学舎を学校と改称した。風牛学舎を分離して、座間学校と座間村学校の二つとした。座間学校は座間入谷村(入谷・新田・四ツ谷)に、座間村学校は座間村に置いた(9月)
- 明治18年 村内3小学校を廃して座間に至誠学校を栗原に馴養学校を設置した(8月)
- 明治19年 新たに小学校令が制定されたのを機に、至誠学校を廃し座間入谷村に日新小学校、座間村に真誠小学校、新田宿村に湘川小学校、栗原村に馴養小学校を置いた(4月9日)
- 明治28年 尋常馴養小学校のみを存し、他の3校を廃して尋常高等座間小学校を創立、新田宿に分教場を置いた(6月7日)。初代校長山口光太郎氏就任(12月18日)
- 明治33年 2代校長井上連作氏就任(11月19日)
- 明治45年 3代校長小島常吉氏就任(2月29日)
- 大正 5年 4代校長篠崎太一氏就任(3月31日)
- 大正 7年 5代校長笠間義治氏就任(8月31日)
- 大正10年 6代校長安西義一氏就任(3月31日)
- 大正11年 尋常栗原小学校を合併し、旧栗原小学校を分教場とした(3月31日)
- 大正12年 尋常高等座間小学校を座間尋常高等小学校と改称、栗原分教場の5年以上本校に通学
校舎狭隘のため2・3学年は2部教授を実施(4月1日)
- 大正13年 7代校長杉崎正義氏就任(3月31日)
- 大正15年 8代校長仙波乗正氏就任(6月30日)
- 昭和13年 9代校長池田初蔵氏就任(8月31日)
- 昭和15年 10代校長杉崎正義氏就任(3月31日)
- 昭和16年 国民学校令が公布され座間国民学校となる(4月1日)。町制施行により相模原座間国民学校と改称(4月29日)
- 昭和18年 11代校長小方仙太郎氏就任(9月10日)
- 昭和23年 相模原町からの分町に伴い座間町立座間小学校と改称(9月1日)
- 昭和24年 12代校長加藤昌栄氏就任(6月10日)
- 昭和25年 栗原分教場の独立に伴い座間町立座間第一小学校と改称(4月25日)
- 昭和30年 創立60周年記念事業として校歌が制定された(11月23日)
- 昭和34年 13代校長押田福蔵氏就任(8月1日)
- 昭和35年 学校給食開始
- 昭和37年 座間第一小学校の分身校として座間第三小学校が新設された(4月1日)
- 昭和38年 14代校長関弥一氏就任(9月1日)
学校給食優良校として文部省、神奈川県教育委員会より表彰を受ける(9月26日)
- 昭和39年 第一校舎建設落成(12月)
- 昭和40年 健康優良校として神奈川県教育委員会、神奈川県学校保健連合会、朝日新聞社より表彰を受ける(10月17日)

- 昭和41年 15代校長山田嘉茂氏就任（9月1日）
- 昭和42年 学校放送研究委嘱校として日本放送協会より感謝状を受ける（3月31日）
- 昭和43年 環境美化優良校として神奈川県教育委員会より表彰を受ける（2月24日）
- 昭和45年 16代校長飯島和治氏就任（9月1日）
- 昭和46年 市制施行により座間町立座間第一小学校を座間市立座間第一小学校と改称（11月1日）
- 昭和47年 17代校長塩脇文氏就任（9月1日）
- 昭和48年 座間市立座間第一小学校を座間市立座間小学校と改称（4月1日）
- 昭和50年 創立80周年記念事業として教育史料館が建設された
- 昭和51年 18代校長石井輝男氏就任（9月1日）
- 昭和53年 座間市立座間小学校の分身校として、座間市立入谷小学校が新設された（4月4日）
- 19代校長萩原達夫氏就任（9月1日）
- 昭和55年 20代校長佐藤利孝氏就任（9月1日）
- 昭和58年 21代校長伊東行雄氏就任（9月1日）
- 昭和60年 創立90周年記念事業として飼育小屋が建設された
- 昭和61年 22代校長小畑玄功氏就任（4月1日）。運動場の改修（盛土・排水工事）が行われた（7月～8月）
- 平成 元年 23代校長嶋村與四松氏就任（4月1日）
第一校舎外装工事施工（8月）
- 平成 2年 第一校舎屋上改修工事施工（4月）
給食室周囲工事施工（7月）
- 平成 4年 24代校長大谷之彦氏就任（4月1日）
学校施設開放教室設置（第一校舎）（7月）
市教育委員会教育課程等研究推進校（国語）となる。
- 平成 5年 第一校舎外壁改修工事（7月～8月）
テレビ取替え工事。市教育委員会教育課程等研究推進校（国語）として研究発表会開催（11月30日）
- 平成 7年 25代校長金子功雄氏就任（4月1日）
創立100周年記念式典挙行。記念事業として、記念碑建立・記念音楽会開催・記念誌発行（10月28日）
- 平成 8年 給食室屋根改修工事（7月）
体育館外壁及び屋根改修工事（7月～8月）
消火栓・警報機改修工事（7月～8月）
第三校舎屋上防水工事（8月～9月）
- 平成 9年 26代校長河合寛行氏就任（4月1日）
- 平成10年 「PTA発足50周年を語る会」開催。歴代PTA会長・校長参加（5月16日）
1号棟耐震工事並びにトイレ改修工事（7・8月）
- 平成11年 米軍厚木基地に勤務されている米国人の保護者を中心とした人たちのボランティア活動により、タイヤ跳び・回旋塔・防玉ネット・渡り廊下の壁面等の修理・設置等が行

- われた（2月～4月）
2号棟耐震工事並びにトイレ・理科室改修工事（7月～9月）
「座間幼年会に学ぼう」をテーマにPTAとの共催で懇話会を開催。出席者は、初代PTA会長井上治夫氏始め、パネラー6名（10月19日）
- 平成12年 ボランティア活動により鶏小屋の金網張替え（6月17日）
- 平成12年 27代校長 印牧 勲氏就任（4月1日）
- 平成13年 ボランティア活動により鶏小屋のトタンの張替え（6月30日）
1号棟1階2教室及び2階3教室の改修工事、2号棟2階パソコン設置工事（7～8月）
校内研究発表会「21世紀に生きる心豊かな人間の育成～地域に根ざした総合的な学習の実践～」（11月22日）
- 平成14年 3号棟耐震工事並びにトイレ改修工事（6月～10月）
- 平成15年 28代校長石附富美夫氏就任（4月1日）
- 平成16年 PTAの協力により第1校舎3階教室の後方掲示板の整備（7月25日）
- 平成17年 座間市小学校教育研究会主催の研究発表会で、「総合的な学習の時間」の研究発表（2月16日）
29代校長日野孝一氏就任（4月1日）
PTAの協力により第2校舎3階教室の後方掲示板の設置（7月17日）
第1回「ざまっ子まつり」開催（11月20日）
- 平成18年 体育館耐震工事、第2校舎屋上雨漏り防止工事、第一校舎教室・屋上で入り口天井アスベスト除去の3工事施工
- 平成19年 PTA成人講座「座間の宝物・幼年会を知っていますか」を開催（2月22日）
座間市教育課程研究推進校として、総合的な学習の時間の研究発表（11月2日）
- 平成20年 安心・安全掲示板の設置（5月）
PTA総会にて米作り31年目、指導者 鈴木彰氏表彰
- 平成21年 30代校長島田克己氏就任（4月1日）
- 平成22年 座間小学校教育研究会主催の研究発表会で、研究テーマ「21世紀に生きる心豊かな人間の育成」で研究発表（2月10日）
- 平成23年 学校銘板書き換え（8月）
座間市教育課程等研究推進校として国語科の研究発表（11月22日）
- 平成24年 31代校長唐木田正富氏就任（4月1日）
第1校舎、消火管漏水修繕のための工事が行われる
- 平成25年 肢体不自由学級（つばめ）設置（4月）
通級指導教室設置（4月）
普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成26年 第3校舎外壁改修工事及び屋上防水工事が行われる
- 平成27年 PTAベルマークセメダインキャンペーン全国第1位（3月3日）
病弱虚弱学級「ふたば」設置（9月26日）
創立120周年記念式典を挙行し記念誌を発行（10月31日）

平成28年 32代校長日向野亨氏就任（4月1日）
国際級設置（4月1日）
第2校舎、第3校舎、体育館の外壁改修工事開始（7月）
第2校舎、第3校舎、体育館の外壁改修工事完了（9月）

栗原小学校

昭和25年 座間小学校より独立し、座間第二小学校として開校
児童数430名、学級数11
栗原学校の校舎を移築し講堂として使用（5月）
初代校長古矢哲太郎氏就任（8月31日）

昭和33年 2代校長清水正之氏就任（7月1日）

昭和34年 県教育委員会の研究委嘱校として理科教育の研究発表会開催（2月6日）

昭和35年 創立10周年記念事業として校旗を作成し校歌を制定（5月1日）

昭和36年 鼓笛隊創立（9月30日）

昭和37年 座間第三小学校の開校に伴い、学区の一部を分離（4月1日）。3代校長青木金弥氏就任（9月1日）
栗原学校創立100周年記念事業として「栗原の歴史を語る」を発刊（11月15日）

昭和38年 学校給食開始

昭和42年 南校舎竣工（3月）
4代校長塩脇文氏就任（9月2日）
体育館竣工（11月）

昭和45年 北校舎竣工（3月）
学区の一部が相武台東小学校として開校（4月）

昭和46年 市制施行により座間市立座間第二小学校となる（4月1日）

昭和47年 5代校長石井輝男氏就任（9月1日）

昭和48年 県教育委員会より交通安全優良校として表彰される（4月1日）
座間市立栗原小学校と改称（4月1日）。学区の一部が東原小学校として開校（4月1日）

昭和51年 6代校長山崎蕃氏就任（9月1日）

昭和52年 学区の一部が座間市立立野台小学校として開校（4月1日）

昭和54年 7代校長大塚昇氏就任（9月1日）

昭和55年 創立30周年記念事業として、史料室設置。「栗原の歴史を語る」再刊（5月1日）

昭和59年 県社会福祉研究普及校として研究発表会開催（2月22日）
給食調理室新築完成（3月1日）
8代校長嶋津豊氏就任（4月1日）
学区の一部が座間市立中原小学校として開校（4月1日）
北校舎屋上改修工事完了（9月）

昭和61年 南校舎屋上工事完了（9月）

昭和62年 9代校長諸節秀夫氏就任（4月1日）

- 昭和63年 南校舎外装工事完了（8月）
- 平成 元年 北校舎外装工事完了（8月）
- 平成 2年 10代校長西野達雄氏就任（4月1日）
- 平成 4年 県学校運営ありかた等研究実践校として研究発表会開催（2月21日）
- 平成 5年 県学校運営ありかた等研究実践校として研究発表会開催（2月16日）
11代校長宇佐正昭氏就任（4月1日）
- 平成 6年 学校運営ありかた等研究実践校3年目として「社会の変化に対応し得る新たな教育活動をめざして」をテーマに研究発表会を開催（2月4日）
- 平成 7年 「児童が意欲的に学び基礎的な力をつける算数指導～教材・教具の工夫～」をテーマに研究に着手（4月17日）
- 平成 8年 国際交流教育実践研究校の委託を受け1年目の研究に着手
- 平成 9年 第1棟1階西側トイレ改修、併せて昇降口に車椅子の通路を整備（3月4日）
12代校長大谷徹氏就任（4月1日）。第2棟1・2階のトイレの改修（10月20日）
- 平成11年 国際交流教育については継続して「ふれあい教育」で推進。算数科の研究（校内研究）5年目に着手
体育館床の一部張替え（8月25日）
保健室空調設備完備（9月24日）
第1棟耐震工事完了
- 平成12年 市小学校教育研究会で校内研究発表（2月）
「人間性豊かで自立できる子の育成ー生活科・総合的な学習の実践を通してー」を研究テーマとして生活科・総合的な学習の研究に着手（～13年度の2年間）
第2棟耐震工事完了（8月29日）
創立50周年記念式典開催（10月28日）
- 平成13年 生活科・総合的な学習の校内研究2年目に着手
南校舎屋上防水工事完了（9月28日）
PC教室開設（11月1日）
- 平成14年 門扉改修工事（4箇所）完了（3月1日）
13代校長宅間二郎氏就任（4月1日）
座間市教育課程等研究推進校に指定される（14、15年度）
生活科・総合的な学習の時間研究（テーマ：人間性豊かで自立できる子の育成）（4月）
屋外便所及び体育器具庫改修工事着手（5月）
公共下水道接続工事（第1期）着手（6月）
- 平成15年 バリアフリー工事（玄関）、公共下水道接続工事（第2期）、温度保持除湿防音工事着手（7月）
座間市教育課程等研究推進校としてテーマ「人間性豊かで自立できる子の育成」の研究発表会を開催（11月28日）
- 平成16年 14代校長亀岡初雄氏就任（4月1日）
バリアフリー工事（体育館への渡り廊下）（8月）
温度保持除湿防音工事完成（9月）

平成17年	15代校長三浦博昭氏就任（4月1日） 座間市小学校教育研究発表会にて「生活科・総合的な学習の時間の研究：人間性豊かで自立のできる子の育成」の研究発表 国語科校内研究に着手
平成18年	1号棟西側トイレ改修工事（7月～8月）
平成19年	16代校長平野昭雄氏就任（4月1日） 体育館耐震補強工事（6月～8月） 1号棟西側トイレ改修工事（7月～8月） 特別支援学級・情緒障害級（わかば級）開設 国際教室開設
平成20年	座間市教育課程等研究推進委託校（1年目） 2号棟に栗原児童ホーム開設（4月） 1号棟東側トイレ改修工事（7～8月）
平成21年	国語科校内研究（5年目） 座間市教育課程等研究推進委託校（2年目） 座間市教育課程等研究推進委託校研究発表会（11月）
平成22年	17代校長平本岳男氏就任（4月1日） 60周年記念航空写真（5月）
平成23年	座間市小学校教育研究会にて研究発表会（2月） 2号棟外壁工事及び屋上防水工事（7～8月）
平成24年	1号棟屋上防水工事（7～9月）
平成25年	体育館床工事（7月～9月）
平成26年	18代校長山近佐知子氏就任（4月1日）
平成27年	教室ロッカー清掃用具入れ改修工事（7月～8月）
平成28年	座間市教育課程等研究推進委託校研究発表会（11月）
平成29年	19代校長直井恵子氏就任（4月1日）
平成30年	特別支援学級・肢体不自由級（どんぐり級）開設

< 参 考 >

文久 2年	栗原小学校の前身である郷学校「誠志館」が大矢弥市氏、弥七氏兄弟の尽力により大矢弥市氏の南屋敷内に開設
明治 2年	「誠志館」を廃し「協同学舎」と改称
明治 6年	学制発布にともない公立学校として「協同学舎」として発足
明治 7年	「協同学舎」を「栗原学校」と改称
明治12年	5間×8間垂鉛引き鉄板葺二階建洋風校舎竣工（現専福寺境内）
明治20年	教育令の改正により尋常訓養小学校と改称
明治40年	小学校令改正により栗原小学校と改称
大正11年	座間小学校に統合され栗原分教場となる。

相模野小学校

- 昭和37年 座間第一小学校、座間第二小学校より独立、座間中学校体育館を間仕切りし仮校舎とし、座間第三小学校として開校
児童数340名、学級数8
初代校長飯島和治氏就任（4月1日）
新校舎竣工、現在地に移転、校旗作成、校歌制定（11月25日）
- 昭和38年 学校給食開始（2月25日）
- 昭和39年 県交通安全協会長より交通安全指導優良校として感謝状を受ける（9月21日）
県教育委員会より交通安全優良校として表彰される（12月25日）
- 昭和40年 新館（第2棟）竣工（12月23日）
- 昭和42年 体育館竣工
- 昭和43年 県教育委員会の指定による算数研究発表会開催（2月）
- 昭和45年 相武台東小学校分離独立（4月1日）
2代校長山崎蕃氏就任（9月1日）
- 昭和46年 交通安全教育校として研究発表会開催（10月）
市制施行に伴い座間市立座間第三小学校と改称（11月1日）
- 昭和48年 座間市立相模野小学校と改称（4月1日）
3代校長石川重利氏就任（4月1日）
- 昭和51年 相模が丘小学校分離独立
4代校長萩原達夫氏就任
言語学級を設置（4月1日）
- 昭和53年 5代校長波多野良子氏就任（9月1日）
- 昭和55年 旭小学校分離独立（4月1日）
- 昭和56年 6代校長斎藤憲一氏就任（9月1日）
創立20周年記念式典を挙行（11月25日）
- 昭和59年 7代校長澤田安夫氏就任（4月1日）
- 昭和61年 8代校長麻生恂氏就任（4月1日）
創立25周年記念事業として、航空写真撮影（11月11日）
市教育委員会指定国語科研究発表会開催（12月2日）
- 平成 元年 9代校長外山勉氏就任（4月1日）
- 平成 3年 創立30周年記念式典を挙行（10月19日）
- 平成 4年 10代校長小野優氏就任（4月1日）
- 平成 5年 市教育委員会より理科の研究指定を受ける（4月1日）
- 平成 6年 理科・生活科研究発表会（11月16日）
- 平成 7年 11代校長片寄勝恵氏就任（4月1日）
- 平成 8年 県ボランティア協力校（～3年間）（4月1日）
- 平成 9年 県教育委員会より、いじめ問題研究推進校の指定を受ける（4月1日）
- 平成10年 12代校長宮地春雄氏就任（4月1日）
- 平成11年 市教育委員会より国際交流教育実践研究の委託を受ける（4月1日）

- 平成12年 市教育委員会より教育課程等研究推進校（生活科・総合的な学習）として委託を受ける（～12年度）
- 平成13年 13代校長青木千津子氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程等推進校として、生活科・総合的な学習研究発表会の開催（10月31日）
- 平成12年～平成13年
校舎温度保持除湿防音工事
- 平成15年 座間市情報教育推進事業の委託を受ける。
- 平成16年 テディベアプロジェクトに参加
- 平成17年 14代校長福田耕児氏就任（4月1日）
- 平成18年 市教育委員会より教育課程等研究推進校（生活科・総合的な学習）として委託を受ける（～19年）
- 平成19年 屋内運動場耐震補強及び改修工事（6月～12月）
- 平成20年 下水道接続工事及び外トイレ改修工事（6月～10月）
- 平成21年 15代校長吉川俊彦氏就任（4月1日）
学校名札書き換え（金子教育長書）（8月）
本館トイレ改修工事（6月～8月）
50インチテレビ全教室に配置（12月）
- 平成22年 新館児童昇降口改修工事（2月）
本館東側階段手すり増設工事（8月）
池の改修工事（8月）
- 平成23年 市教育委員会より教育課程等研究推進校（ICTの活用）として受託（24年まで）
創立50周年記念式典（10月29日）
- 平成24年 市教育委員会教育課程等研究推進校として、研究発表会の開催（11月22日）
- 平成25年 16代校長木島弘氏就任（4月1日）
- 平成27年 17代校長橋本武氏就任（4月1日）
- 平成28年 市教育委員会より教育課程等研究推進校として受託（29年まで）
- 平成29年 市教育委員会教育課程等研究推進校として、研究発表会の開催（1月18日）

相武台東小学校

- 昭和45年 座間第三小学校より独立
座間第三小学校の校舎の一部を仮校舎とし、座間町立相武台東小学校として開校
児童数620名、学級数18
初代校長和田泰比古氏就任（4月1日）
- 昭和46年 校舎竣工、校旗作成、校歌制定（3月4日）
現在地に移転（3月6～7日）
市制施行に伴い座間市立相武台東小学校と改称（11月1日）
- 昭和47年 第二校舎竣工（3月15日）
2代校長大館鎮夫氏就任（4月1日）

- 昭和48年 体育館竣工（2月28日）
- 昭和49年 県教育委員会指定交通安全教育研究発表会開催（2月18日）
- 昭和50年 交通安全子ども自転車大会にて優勝（6月22日）
- 昭和51年 第18回交通安全国民運動大会にて全日本交通安全協会より表彰（1月20日）
第2棟増築工事竣工（3月25日）
3代校長頼住権平氏就任（9月1日）
- 昭和54年 4代校長伊東行雄氏就任（9月1日）
- 昭和55年 開校10周年記念式典（3月5日）
- 昭和58年 5代校長三矢智光氏就任（9月1日）
算数科「数と計算」の領域を通して市の推進校として発表会開催（11月14日）
- 昭和61年 6代校長嶋村與四松氏就任（4月1日）
- 昭和62年 体育科「基本の運動・器械運動」の領域を通して市の推進校として発表会開催（11月25日）
- 平成 元年 7代校長石川稔氏就任（4月1日）
アスベスト完全撤去工事、第2棟暖房機交換（8月）
- 平成 2年 開校20周年記念式典を挙行、記念事業として和室を設置（3月5日）
第1棟出入口鋼製建具・屋上防水・外壁・屋上手摺及び屋内運動場照明改修工事（8月）
- 平成 3年 8代校長石村恭子氏就任（4月1日）
- 平成 4年 第2棟出入口鋼製建具・屋上防水及び手摺・外壁改修工事（8月）
- 平成 7年 9代校長若林重一氏就任（4月1日）。体育館屋根塗装工事（8月）
- 平成 8年 第1・2棟上水道配管更生（8月）
- 平成10年 10代校長牧野征太郎氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程等研究推進校（国語）の委託を受ける（～11年度）
- 平成11年 市教育委員会教育課程等研究推進校として国語科研究発表会の開催（12月3日）
- 平成12年 第1棟耐震補強工事及び便所改修工事（8月）
- 平成13年 第2棟耐震補強工事及び便所改修工事（8月）
耐震性貯水槽（飲料水兼用）設置工事（11月～3月）
国際交流教育実践研究の委託を受ける（～14年度）
- 平成14年 11代校長小林義幸氏就任（4月1日）
1号棟昇降口嵩上げ工事（8月）
- 平成16年 市教育委員会教育課程等研究推進校の指定を受ける。
心の通い合う学びを求めて、生活科・総合的な学習の時間を中心に、テーマ「心情豊かに生き生きと活動する子の育成」
2号棟昇降口嵩上げ工事（8月）
- 平成17年 体育館ライン引き作業（7月）
第1棟配膳室他改修工事（8月）
市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表会（生活科・総合的な学習の時間）の開催（11月22日）

- 平成18年 12代校長砂田有三氏就任(4月1日)
- 平成20年 特別支援学級(情緒級)を新設(4月1日)
- 平成21年 13代校長黒川裕行氏就任(4月1日)
屋外便所改築及び公共下水道接続工事(5月～12月)
- 平成22年 学校IT化事業により校内LAN、電子黒板、教員用PC、大型テレビ等整備(3月)
市教育委員会教育課程等研究推進校の指定を受ける(4月)
家庭科室改修工事(2月～5月)
- 平成23年 用務員室改修工事(8月)
市教育課程等推進校として研究発表会の開催(11月11日)
- 平成24年 14代校長小井田由美子氏就任(4月1日)
- 平成25年 弱視級「なのはな」級開設(4月)
情緒級名称変更 「たんぼぼ③」級→「つくし」級(4月)
普通教室等空調整備工事(6月～8月)
- 平成26年 体育館外壁工事・職員トイレ改修工事(7月)
- 平成27年 1棟国情防水工事 校庭東側法面地盤調査
- 平成28年 第15代校長金子憲勝氏就任(4月1日)
肢体不自由級「れんげ級」開設(4月)
国際級開設(4月)
- 平成29年 市教育委員会教育課程等研究推進校の指定を受ける(4月)
「心豊かに生き生きと活動する子を目指して」～学び合うことを中心に～
東側法面保護工事
- 平成30年 市教育委員会教育課程研究推進校として研究発表会(全領域)の開催(2月1日)
第2棟外壁工事

ひばりが丘小学校

- 昭和46年 座間第二小学校より独立、座間第二小学校の校舎の一部を仮校舎とし、座間町立ひばりが丘小学校として開校
初代校長萩原達夫氏就任(4月1日)
児童数419名、学級数13(4月10日)
新校舎竣工落成、現在地に移転(8月31日)
市制施行に伴い座間市立ひばりが丘小学校と改称(11月1日)
- 昭和47年 校歌制定(1月26日)。校旗作成(10月28日)
- 昭和48年 県教育委員会より環境美化優良校として表彰(12月1日)
- 昭和49年 北校舎及び体育館竣工(3月25日)
- 昭和51年 県教育委員会指定学校保健研究発表会開催(2月19日)
北校舎増築竣工(3月25日)
2代校長佐藤利孝氏就任(4月1日)
県学校保健・健康優良校として表彰(12月1日)
- 昭和52年 良い歯の学校として県表彰(10月19日)

- 県学校保健・健康優良校として表彰（11月22日）
- 昭和53年 ひばり学級（特殊学級）を新設（4月1日）
- 県学校保健・県健康優良校として表彰（11月21日）
- 昭和54年 全日本健康優良校県代表として、朝日新聞、文部省、厚生省より表彰（11月3日）
- 昭和55年 3代校長藤野建造氏就任（9月1日）
- 創立10周年記念式典
- 昭和57年 県健康教育研究発表会（11月12日）
- 昭和59年 県学校給食優良校表彰（1月24日）
- 4代校長福田範子氏就任（4月1日）
- 昭和60年 県教育委員会教育課程研究推進校並びに市教育課程等研究推進校・道徳教育研究発表会（11月22日）
- 昭和63年 5代校長和田重雄氏就任（4月1日）
- 平成2年 市教育委員会教育課程等研究推進校・道徳教育研究中間発表会（3月2日）
- 市教育委員会教育課程研究推進校・道徳教育研究発表会（11月20日）
- 平成3年 6代校長日高悦夫氏就任（4月1日）
- 平成5年 市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（一次）
- 平成6年 7代校長庄子正彦氏就任（4月1日）
- 平成7年 市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（二次）
- 平成8年 市教育委員会教育課程等研究推進校・全領域を受ける。
- 平成9年 市教育委員会教育課程等研究推進校・研究発表会「全領域」（11月28日）
- 平成10年 8代校長片寄勝恵氏就任（4月1日）
- 東中学校区道徳実践活動推進事業に参加（～12年度）
- 平成12年 創立30周年記念こども音楽会を開催（11月10日）
- 平成13年 市教育委員会教育課程等研究推進校として「自ら学び行動する子の育成～総合的な学習の研究を通して～」を研究（～14年度）
- 耐震補強工事（南棟）
- 平成14年 9代校長大谷徹氏就任（4月1日）
- 市教育委員会教育課程等研究推進校研究発表会「総合的な学習の時間」（2月7日）
- 耐震補強及び便所改修工事（北棟）
- 平成15年 市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（一次）
- 平成16年 市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（二次）
- 平成17年 10代校長若山正治氏就任（4月1日）
- 平成18年 子ども読書活動推進モデル地区校の指定を受ける。
- 学校コンサルテーション事業に参加
- 平成19年 市教育委員会教育課程等研究推進校の委託を受ける（～20年度）
- 学校コンサルテーション事業に参加
- 平成20年 ひばり憩いの広場完成（7月）
- 市教育委員会教育課程等研究推進校研究発表会「国語科」（11月21日）
- 平成21年 11代校長尾崎幸利氏就任（4月1日）

- 屋内体育館耐震補強工事（7月～）
- 平成22年 北棟家庭科室改修工事（2月～6月）
屋内体育館耐震補強工事（～8月）
南棟外壁改修工事（7月～9月）
創立40周年記念航空写真撮影（10月）
- 平成24年 市小研研究発表会において研究実践発表（2月8日）
12代校長八木正純氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程等研究推進校として「自ら学び行動する子の育成～聴いて、考えて、つなげる授業づくり～」を研究（～25年度）
国際教室新設（4月）
- 平成25年 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成26年 日産財団理科教育助成を受け「自ら学び行動する子の育成～理科・生活科を通して～」を研究（1月～平成27年12月）
市教育委員会教育課程等研究推進校研究発表（2月14日）
- 平成27年 南棟屋上防水改修工事（6月～9月）
- 平成28年 13代校長有川正則氏就任（4月1日）
- 平成29年 南棟給水管修理工事中断（8月）
北棟屋上防水改修工事（3月工事終了）
- 平成30年 座間市小学校教育研究会発表（2月）
職員玄関ドア改修工事（3月工事終了）

東原小学校

- 昭和48年 栗原小学校より独立、座間市立東原小学校として開校、児童数548名、学級数16、
初代校長山崎蕃氏就任（4月1日）
校旗作成（10月7日）
座間市より東原児童会表彰（11月3日）
- 昭和49年 県教育委員会の学校放送モニター校となる（4月1日）
- 昭和51年 体育館竣工（2月13日）。校歌制定（3月10日）
県教育委員会より特別活動研究指定校（4月1日）
2代校長大館鎮夫氏就任（9月1日）
- 昭和53年 座間地区交通安全優良校として表彰（1月23日）
- 昭和54年 県学校給食優良校として表彰（1月23日）
県交通安全優良校として表彰（2月6日）
3代校長斎藤憲一氏就任（9月1日）
- 昭和55年 第2棟校舎竣工（4月1日）
- 昭和56年 4代校長嶋津豊氏就任（9月1日）
- 昭和57年 県・市社会福祉研究普及校となる（4月1日）
開校10周年記念式典（11月9日）
- 昭和59年 5代校長加藤一夫氏就任（4月1日）

- 平成 元年 6代校長大谷之彦氏就任（4月1日）
- 平成 2年 県社会福祉協議会のボランティア協力校となる（4月1日）
- 平成 4年 7代校長外山勉氏就任（4月1日）
開校20周年記念式典（10月31日）
- 平成 8年 8代校長笠井武彦氏就任（4月1日）
- 平成10年 平成10・11年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（4月1日）
校地外周フェンス改修工事（8月）
- 平成11年 体育館床面の改修工事、第1棟外壁改修工事（8月）
市教育課程等推進校として「児童指導」に関する研究を発表（11月26日）
- 平成12年 9代校長宇佐正昭氏就任（4月1日）
- 平成13年 第1棟耐震補強工事（7～8月）
- 平成14年 創立30周年記念祭（10月26日）
- 平成15年 10代校長浅田マリ子氏就任（4月1日）
- 平成16年 県教育委員会「子どもキラキラタイム」実践研究拠点校指定（4月）
「子どもと親の相談員」配置（7月1日）
- 平成18年 11代校長石原朗宏氏就任（4月1日）
- 平成19年 平成19・20年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（4月1日）
- 平成20年 市教育委員会教育課程等研究推進校「生活科総合的な学習の時間」研究発表会（11月28日）
- 平成22年 12代校長西山正成氏就任（4月1日）
体育館耐震工事・第2棟トイレ改修工事・第1棟事務室・相談室新設工事（8月）
地上波デジタル工事（8月）
- 平成24年 13代校長黒川裕行氏就任（4月1日）
平成24・25年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（4月1日）
- 平成25年 市小学校教育研究所にて、研究発表（2月13日）
- 平成26年 市教育委員会教育課程等研究推進校「表現する力を育てる国語科の指導」研究発表会
（1月24日）
普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成27年 14代校長有山周一氏就任（4月1日）
第2棟外壁補修・塗装工事（7月～9月）
- 平成28年 第1棟屋上防水工事（7～8月）
- 平成29年 平成29・30年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（4月1日）

相模が丘小学校

- 昭和51年 設置
初代校長石川重利氏就任、校旗作成（4月1日）
開校式 鹿野市長宣言、児童数1,078名、学級数28、職員数45名（4月2日）
開校記念日を10月19日と制定（7月20日）
校歌制定（12月6日）

- 昭和52年 鼓笛隊編成（9月1日）
- 昭和53年 体育館竣工（2月25日）
- 昭和54年 県教育委員会実験校及び市教育委員会研究指定校として「児童指導」の中間研究発表（2月28日）
児童指導の研究により学研教育賞受賞（11月17日）
- 昭和55年 県教育委員会より学校給食優良校として表彰（1月24日）
県教育委員会実験校及び市教育委員会研究指定校として「児童指導」の研究を発表（2月5日）
学校給食優良校として文部大臣より表彰（10月30日）
- 昭和56年 2代校長波多野良子氏就任（9月1日）
- 昭和59年 市教育委員会研究推進校として「児童指導」による研究の中間発表（2月27日）
3代校長川口博氏就任（4月1日）
- 昭和60年 市教育委員会研究推進校として「児童指導」の研究を発表（2月14日）
- 昭和61年 開校10周年記念式典挙行（10月19日）
- 昭和63年 4代校長藤野建造氏就任（4月1日）
- 平成元年 県視聴覚・放送教育合同研究大会の授業公開（11月17日）
- 平成3年 県教育委員会推薦校及び市教育委員会研究推進校として研究を発表（11月14日）
- 平成5年 5代校長中島七海雄氏就任（4月1日）
- 平成8年 6代校長牧野征太郎氏就任（4月1日）
- 平成10年 7代校長庄子正彦氏就任（4月1日）
- 平成11年 市教育委員会教育課程等研究推進校（～12年度の2年間）
- 平成12年 ミレニアム2000年記念全校児童教職員集合写真航空写真の撮影（2月23日）
市教育委員会教育課程等研究推進校「生活科・総合的な学習の時間」研究発表会（11月22日）
- 平成13年 8代校長藤井正巳氏就任（4月1日）
C棟1階教材室、PC教室改造工事（7～8月）
- 平成14年 「生活科・総合的な学習の時間」の保護者・地域への公开发表（11月9日）
- 平成15年 全校舎耐震補強工事及びC棟トイレ改修工事（7～8月）
「生活科・総合的な学習の時間」の保護者・地域への公開授業（10月25日）
（神奈川県教育委員会各種教育課題研究委託校）
- 平成16年 9代校長進士隆行氏就任（4月1日）
B棟「トイレ改修工事」（9月末日まで）
座間市教育委員会教育課程等研究推進校受託（平成16・17年度）
「生活科・総合的な学習の時間」の公開授業（平成16・17年度）地域への発信
- 平成17年 開校30周年記念航空写真「かがやけ」撮影（5月10日）
A棟並びに職員「トイレ改修工事」（7月末～8月末）。開校30周年記念式典・記念音楽会（10月18日）
「生活科・総合的な学習の時間」の公開授業（11月5日）
- 平成18年 座間市教育課程等研究推進校「生活科・総合的な学習の時間」研究発表（2月10日）

- 座間市教育課程等研究推進校委託校終了（3月31日）
 プラネタリウム内機器修繕（10月5日）
- 平成19年 10代校長三浦博昭氏就任（4月1日）
- 平成20年 座間市小学校教育研究会発表「豊かに感じ自ら学ぶ子の育成をめざして」～一人ひとりの児童に寄り添う活動を通して（全域）
 神奈川県公立学校学力向上研究委託（平成20年度）（4月1日）
 体育館耐震改修工事（7月から12月）
- 平成22年 体育館床改修工事（7月から8月）
- 平成24年 11代校長齋藤征志氏就任（4月1日）
- 平成25年 座間市小学校教育研究会発表「豊かに感じ自ら学ぶ子の育成をめざして」～一人ひとりの児童に寄り添うことを通して～（全域）（2月13日）
 家庭科室ガス配管改修工事（11月～12月）
- 平成26年 防災用地下貯水槽遮断弁取換工事（2～3月）
 12代校長有川正則氏就任（4月1日）
 市教育課程等研究推進委託校（1年目）
 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
 A棟屋上防水工事（12月～3月）
- 平成27年 市教育課程等研究委託校（2年目）
- 平成28年 座間市教育課程等研究推進校「豊かに感じ、自ら学ぶ子の育成をめざして」
 ～子どもたちの言葉と心をつなぐ授業作りを通して～研究発表（1月29日）
 駐車場改修工事（3月末まで）
- 平成28年 第13代校長宮下美江子氏就任（4月1日）
- 平成29年 平成29年度道徳実践研究協力校(国立教育政策研究所事業)
 プラネタリウム機械修繕
 うさぎ小屋改修工事
- 平成30年 平成30年度道徳実践研究協力校(国立教育政策研究所事業)

立野台小学校

- 昭和52年 栗原小学校より独立し、座間市立立野台小学校として開校、学級数24
 初代校長嶋津豊氏就任（4月1日）
 開校式（4月4日）
- 昭和53年 校旗作成・校歌制定（3月1日）
 開校記念日を5月4日と制定（3月3日）
- 昭和54年 屋内運動場落成（1月31日）
 昭和54年度学園緑化の指定校となる。
- 昭和55年 昭和55・56年度県教育委員会教育課程研究推進校及び同市教育委員会教育課程等
 研究推進校（国語科教育）となる（4月5日）
- 昭和56年 県・市教育課程研究推進校として国語科教育の中間発表（2月10日）
 2代校長石川重利氏就任（9月1日）

昭和57年 県・市教育課程研究推進校として国語科教育の研究発表（1月28日）

昭和59年 3代校長和田重雄氏就任
学区の一部が中原小学校として開校、児童240名移籍（4月1日）

昭和61年 開校10周年記念式典（11月1日）

昭和63年 4代校長川口博氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程研究推進校図画工作科教育の指定（4月5日）

平成2年 市教育委員会教育課程研究推進校図画工作科教育の研究発表（2月8日）
5代校長井上收一氏就任（4月1日）

平成4年 6代校長柴田豊氏就任（4月1日）
平成4・5年度市国際交流教育実践研究校の指定（4月5日）
開校記念日を6月1日に変更（12月15日）

平成5年 市小学校教育研究会において図画工作の研究発表（2月12日）
7代校長金子功雄氏就任（4月1日）

平成7年 8代校長宮地春雄氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程研究推進校として図画工作科教育の指定（4月5日）

平成8年 市教育委員会教育課程研究推進校として図画工作科教育の研究発表（11月28日）

平成9年 市小学校教育研究会において図画工作科の研究発表（2月12日）
指定緑化事業による植栽（10種・60本）（11月）

平成10年 9代校長藤井正巳氏就任（4月1日）

平成13年 10代校長庄子正彦氏就任（4月1日）

平成14年 平成13・14年度市教育課程等研究推進校として総合的な学習の時間・生活科の研究発表（11月22日）

平成15年 市小学校教育研究会において総合生活科の研究発表（2月19日）
平成15・16年度市国際交流教育実践研究委託校（4月5日）
校舎東側耐震補強工事（8月）

平成16年 11代校長宅間二郎氏就任（4月1日）
校舎西側耐震補強工事及び便所改修工事（8月）

平成17年 1Fに児童ホーム開所（5月）
主要地方道県道42号藤沢座間厚木線拡幅工事に伴う2F玄関門扉改修工事（8月）

平成18年 北門改修工事（8月）

平成19年 12代校長八木正純氏就任（4月1日）

平成21年 平成21・22年度市教育委員会教育課程研究推進校として理科・生活科教育の指定（4月5日）

平成23年 平成21・22年度教育課程研究推進校研究発表（理科・生活科）（2月4日）
体育館耐震工事（7月～2月）
第33回神奈川県小学校理科教育研究大会川東地区座間大会（12月2日）

平成24年 13代校長赤井諭氏就任（4月1日）

平成25年 市小学校教育研究会において理科・生活科の発表（2月19日）

平成26年 普通教室等空調整備工事（6月～8月）

平成27年 14代校長鈴木直人氏就任（4月1日）
校舎外壁工事（6月～10月）

平成28年 平成28・29年度市教育委員会教育課程研究推進校の指定

平成29年 15代校長山近佐知子氏就任（4月1日）
放課後子ども教室「たちの教室」開設（5月8日）

平成30年 平成28・29年度教育委員会教育課程研究発表（2月2日）
国際級開設（4月1日）

入谷小学校

昭和53年 座間小学校より独立し、座間市立入谷小学校として開校
児童数906名、学級数24
初代校長小畑玄功氏就任（4月1日）
校歌制定（12月21日）

昭和54年 校旗作成（3月22日）
体育館竣工（12月18日）

昭和56年 文部省、県教育委員会、市教育委員会推進校として、体力づくり研究発表会を開催（1月27日）

昭和57年 増築校舎完成（6教室、第2理科室）（2月16日）

昭和58年 2代校長佐藤利孝氏就任（9月1日）

昭和61年 3代校長熊谷省自氏就任（4月1日）

昭和62年 開校10周年記念式典（10月31日）

昭和63年 4代校長福田範子氏就任（4月1日）

平成 元年 福祉教育研究発表会（11月28日）

平成 3年 5代校長石川稔氏就任（4月1日）

平成 4年 県教育委員会ふれあい教育実践推進校に委嘱される。

平成 5年 県ボランティア協力校に委嘱される。

平成 6年 6代校長住谷繁氏就任（4月1日）

平成 9年 文部省及び市教育委員会の教育課程等研究推進校として、道徳教育研究発表会を開催（2月21日）
開校20周年を祝う会（6月6日）

平成11年 7代校長宇佐正昭氏就任（4月1日）
市教育委員会国際交流教育実践研究校の指定（～12年度の2年間）

平成12年 8代校長石附富美夫氏就任（4月1日）

平成13年 市教育委員会情報教育推進委託事業研究校の指定（～14年度の2年間）

平成15年 9代校長河野香代子氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程等研究推進校（～16年度の2年間）

平成16年 言語通級教室設置（4月1日）
市教育委員会教育課程等研究推進校として生活科・総合的な学習研究発表会開催（11月26日）

- 平成17年 特別支援教育推進研究協力校（県）
学校給食を生かした食育の推進事業協力校（県）（17・18年度）
- 平成19年 10代校長赤羽孝秀氏就任（4月1日）
学校給食を生かした地産地消推進事業協力校（県）
開校30周年記念式典（10月27日）
- 平成21年 情緒障害児学級設置（4月1日）
小学校外国語活動研究委託校（21年度）
市教育課程等研究推進委託校・外国語活動（21～22年度）
座間市善行章受章（環境委員会）
- 平成22年 11代校長平野昭雄氏就任（4月1日）
昇降口棟及び北棟外壁改修工事
- 平成23年 市教育委員会教育課程等研究推進校として、外国語活動研究発表会開催（1月28日）
肢体不自由児学級設置（4月1日）
学力把握実践研究協力校（文部科学省）（～2年間）
- 平成24年 体育館耐震補強工事完了
ざま学びづくり推進事業委託校
- 平成25年 学力把握実践研究協力校（文部科学省）（1年間）
- 平成26年 12代校長中木原利一氏就任（4月1日）
普通教室等空調整備工事（6月～8月）
かながわ子どもスマイルウェブ地域フォーラム開催（11月）
校舎屋上防水改修工事（11月～3月）
- 平成27年 南棟外壁改修工事
- 平成28年 第13代校長唐木田正富氏就任（4月1日）
市教育課程等研究推進委託校・防災教育（28～29年度）
南棟トイレ改修工事（7月～9月）
- 平成29年 開校40周年記念行事（5月16日）
北棟トイレ改修工事（7・8月）
- 平成30年 第14代校長西川麻里子氏就任（4月1日）

旭小学校

- 昭和55年 ひばりが丘小学校の児童数増加のため、その分身校として座間市立旭小学校が設置された。
児童数817名（ひばりが丘小学校から524名、相模野小学校から157名が編入学）、学級数22
初代校長三矢智光氏就任（4月1日）
校旗作成（11月21日）
- 昭和56年 体育館竣工（1月30日）、校歌制定（3月16日）
- 昭和58年 2代校長小畑玄功氏就任（4月1日）
- 昭和59年 特殊学級（情緒障害）新設（4月1日）

- 昭和60年 市教育委員会教育課程等研究推進校、国語科（作文指導）研究発表会開催
（1月31日）
- 昭和61年 3代校長飯塚若男氏就任（4月1日）
- 平成 元年 市教育委員会教育課程等研究推進校、図画工作科（絵画指導）研究発表会開催
（2月2日）
創立10周年記念式典、正門脇に校歌石碑設置（11月11日）
4代校長大矢かつ氏就任（4月1日）
- 平成 2年 5代校長稲井由紀子氏就任（4月1日）
- 平成 4年 市教育委員会教育課程等研究推進校、図画工作科（絵画指導）研究発表会開催
（12月1日）
- 平成 6年 6代校長大谷徹氏就任（4月1日）
平成6・7年度市教育委員会国際交流教育実践研究校の委託研究
- 平成 8年 市教育委員会教育課程等研究推進校（算数科）の委託研究（4月5日）
- 平成 9年 市教育課程等研究推進校、算数科「児童が意欲的に学習できる指導法の工夫」研究発表会開催（2月）
7代校長住谷繁氏就任（4月1日）
- 平成10年 算数科「児童が意欲的に学習できる指導法の工夫」市小学校教育研究会にて研究発表
文部省 座間市東中学校区道徳的实践活動推進事業委託協力校（～12年）
- 平成11年 特殊学級 あさひ級1組（知的）・あさひ級2組（情緒）となる。（4月1日）
- 平成12年 8代校長河合寛行氏就任（4月1日）
- 平成13年 国際交流教育実践研究委託校（4月1日）
- 平成14年 国際交流教育実践研究委託校（4月1日）
市教育課程等研究推進校～総合的な学習～（4月1日）
- 平成15年 9代校長印牧勲氏就任（4月1日）
座間市教育課程等研究推進校（総合的な学習）2年目
- 平成16年 総合的な学習「心豊かに生き生きと活動する生活科・総合的な学習の時間の創造」研究報告会（2月13日）
座間市小学校教育研究発表（2月18日）
10代校長藤井正巳氏就任（4月1日）
- 平成17年 平成17年度神奈川県食育推進事業受託校（4月）
平成17年度旭小学校耐震補強工事（7月）
- 平成18年 11代校長島田克己氏就任（4月1日）
平成18年度神奈川県食育推進事業受託校（4月）
- 平成19年 平成19年度神奈川県食育推進事業受託校（4月 最終年度）
- 平成20年 市教育委員会教育課程等研究推進校（道徳教育2年間）委託研究（4月）
- 平成21年 12代校長砂田有三氏就任（4月1日）
座間市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表
研究テーマ「豊かな心をもつ子の育成」
サブテーマ〈子どもとともに学び高め合う道徳の授業をめざして〉（11月）

- 平成22年 創立30周年記念航空写真撮影（6月）
- 平成23年 学校教育目標の改定（4月）
通級指導教室新設（4月）
- 平成24年 国際教室新設（4月）
- 平成25年 第13代校長日向野亨氏就任（4月1日）
- 平成26年 特別支援学級あさひ級3組（知的）を増設（4月）
座間市教育課程等研究推進委託校(体育2年間)委託研究(4月)
普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成27年 特別支援学級あさひ級4組（情緒）を増設（4月）
座間市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表
体育科「豊かな心を持つ子の育成」
～運動の楽しさを大切にしながら豊かな心を育む体育指導～（11月）
- 平成28年 第14代校長泉田裕氏就任（4月1日）
外壁塗装工事(8月)
- 平成29年 特別支援学級あさひ級4組(肢体不自由)を増設(4月)
- 平成30年 特別支援学級あさひ級5組(病弱・身体虚弱)を増設(4月)

中原小学校

- 昭和59年 座間市立中原小学校開校
学級数19（うち特学1）、児童数648名
初代校長藤野建造氏就任（4月1日）
開校祝賀運動会（5月1日）
- 昭和60年 県学園緑化指定校となり、藤棚及び庭園の造園（2月1日）
校歌制定及び発表、並びに校旗作成（3月2日）
開校記念日を5月7日に制定（3月25日）
- 昭和61年 神奈川新聞「わたしたちの学校」欄掲載（3月4日）
昭和61・62年度県教育委員会学校安全推進校及び昭和61・62年度市教育課程等研究推進校となる（4月1日）
昭和61年度二宮記念交通安全教育研究委嘱校となる（4月17日）
第23回全国花いっぱいコンクール優良賞受賞（11月8日）
昭和61年度県交通安全優良校として表彰される（11月21日）
- 昭和62年 アスレチック施設（綱登り、綱の目登り、タイヤ登り、タイヤの4基）完成
（3月31日）
安全教育発表会開催（11月9日）
第24回全国花いっぱいコンクール優良賞受賞（11月24日）
- 昭和63年 2代校長井上收一氏就任（4月1日）
PTA開校5周年記念植樹（12月19・20日）
- 平成 元年 県視聴覚教育・放送教育研究合同大会公開授業（11月17日）
- 平成 2年 3代校長大矢かつ氏就任（4月1日）

- 平成 3年 神奈川新聞「わたしたちの学校」欄掲載（2月12日）
 野外学習施設みどりの広場完成（7月1日）
- 平成 4年 造形砂場完成（3月1日）
 4代校長飯塚文男氏就任（4月1日）
 ドラムを利用した野外テーブル完成（4月12日）
 学級園完成（8月20日）
- 平成 5年 飼育観察池完成（3月20日）
 平成5・6年度座間市教育課程推進校となる（4月1日）
 創立10周年記念式典・祝賀会（5月1日）
- 平成 7年 5代校長印牧勲氏就任（4月1日）
- 平成 9年 平成9・10年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日）
- 平成12年 6代校長住谷繁氏就任（4月1日）
 市教育委員会国際交流実践研究校となる（～13年度の2年間）
- 平成15年 7代校長大石壽雄氏就任（4月1日）
 「創立20周年を祝う会」（7月14日）
- 平成16年 「子どもキラキラタイム実践研究」健康・体力づくり校平成16年度普及校となる（4月1日）
 平成16・17年度児童・生徒の心に響く道徳教育推進事業協力校となる（4月1日）
- 平成17年 平成17・18年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日）
- 平成18年 市教育委員会教育課程等推進校研究発表（11月17日）
- 平成19年 神奈川県公立小学校英語活動研究委託校となる。
- 平成20年 8代校長齋藤征志氏就任（4月1日）
- 平成21年 市小学校教育研究会発表会で「楽しく伝え合う外国語（英語）」について発表
- 平成24年 9代校長尾崎幸利氏就任（4月1日）
- 平成25年 平成25・26年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日）
 創立30周年記念式典（5月11日）
- 平成26年 国際教室新設（4月）
 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成27年 すこやか級（肢体不自由）開設
- 平成28年 10代校長倉田敦子氏就任（4月1日）
 校舎内に「中原児童ホーム」開設
 南棟トイレ改修工事（6月～10月）
- 平成29年 なかはら2級（知的障害）開設
 北棟校舎内トイレ改修工事（4月～11月）
- 平成30年 平成30・31年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日）

座間中学校

- 昭和22年 学制改革に伴い、相模原町立座間中学校として、座間小学校の校舎の一部を仮校舎として開校

- 生徒数424名、学級数9（5月5日）
 初代校長榎本西之輔氏就任（4月30日）
 校歌制定（9月23日）
- 昭和23年 座間が相模原町より分町独立したため、座間町立座間中学校と改称（9月1日）
 相模原町上鶴間旧陸軍東部第88部隊跡に移転（10月12日）
 県知事内山岩太郎氏教育視察のため来校（10月27日）
- 昭和25年 本校舎米軍ハウス建設指定地となったため、座間第一小学校へ一部借用移転
- 昭和26年 現在地に新校舎竣工移転
- 昭和30年 体育館竣工（12月10日）
- 昭和33年 2代校長羽田賢司氏就任（7月1日）
- 昭和35年 3代校長青木寅蔵氏就任（7月1日）
 校旗作成（10月13日）
- 昭和37年 県指定社会福祉研究会開催（2月21日）
 第1棟鉄筋3階建校舎竣工（4月14日）
- 昭和39年 理科特別研究校の委託を受ける（4月1日）
 県実験指定校として保健体育科研究発表会を開催（11月1日）
- 昭和40年 第2棟鉄筋3階建て校舎竣工（12月17日）
- 昭和41年 4代校長佐藤忠夫氏就任（9月1日）
- 昭和42年 座間町立西中学校創立に伴い、学区変更（4月1日）
- 昭和43年 5代校長小池知治氏就任（4月1日）
- 昭和44年 第3棟鉄筋3階建校舎竣工
 用務員室新築完成（4月2日）
 6代校長中山茂氏就任（9月1日）
- 昭和45年 第3棟鉄筋3階建増築落成
 屋外便所新設（4月1日）
 特殊学級開設（4月1日）
- 昭和46年 市制施行に伴い、座間市立座間中学校と改称（11月1日）
- 昭和47年 7代校長和田泰比古氏就任（4月1日）
 座間市立東中学校創立に伴い、学区変更（4月1日）
- 昭和50年 8代校長宮治裕氏就任（9月1日）
- 昭和52年 座間市立栗原中学校創立に伴い、学区変更（4月1日）
 県指定技術科研究発表会開催（11月25日）
- 昭和54年 座間市立相模中学校創立に伴い、学区変更（4月1日）
- 昭和55年 9代校長増田寛氏就任（9月1日）
- 昭和59年 市教育課程研究推進校（数学科）の委託を受ける（4月1日）
- 昭和61年 10代校長菊田哲夫氏就任（4月1日）
- 昭和62年 技術科教室（木工、金工）1棟完成（12月9日）
- 昭和63年 パソコン教室設置（9月1日）
- 平成2年 11代校長中村政行氏就任（4月1日）

- 平成 4年 市国際交流教育研究推進校の委託を受ける（4月1日より2年間）
ソフトボール用バックネット，防球用ネットの新設、北門の新設（7月21日）
- 平成 5年 12代校長高橋衛氏就任（4月1日）
- 平成 7年 県教育委員会進路指導研究校（進路指導地区推進会議）の委託を受ける（4月1日）
相談指導学級（みのり学級）開設（4月1日）
第2グラウンド整地（8月24日）
- 平成 8年 13代校長尾山真幸氏就任（4月1日）
耐震性貯水槽（飲料水兼用）設置（8月15日）
創立50周年記念碑「座間中学校校歌碑」を建立、記念式典を挙（10月19日）
- 平成10年 屋外便所改修工事（2月25日）
文部省研究委託「豊かな心を育む教育推進事業」実践研究協力校及び市教育委員会教育課程等研究推進校の委託を受ける（4月1日）
座間中学校地域交流協議会設立（5月23日）
パソコン教室改修工事（8月31日）
3号棟1階内部改修工事（9月6日）
PTAが日本PTA全国協議会会長表彰される（11月16日）
- 平成11年 屋内運動場竣工（3月9日）
14代校長西野達雄氏就任（4月1日）
2号棟耐震工事完了（8月31日）
文部省及び市教育委員会委託研究発表会（11月2日）
- 平成12年 市道17号線歩道設置に伴い正門移設及び歩道のバリアフリー化（1月17日）
3号棟耐震工事完了（8月31日）
- 平成13年 15代校長金子楨之輔氏就任（4月1日）
- 平成14年 2号棟屋上防水改修工事
- 平成16年 市教育課程等研究推進委託を受ける（～17年度）
- 平成17年 16代校長高木孝氏就任（4月1日）
市教育課程等研究推進委託研究発表会（11月2日）
- 平成18年 創立60周年記念 航空写真撮影（10月16日）
- 平成19年 「座間中学校地域交流協議会」設立10周年記念式典（12月1日）
- 平成20年 1号棟解体工事開始（6～11月）
- 平成21年 相談指導学級「みのり級」閉級
- 平成21年 特別支援学級 情緒級「あおば」開設（4月1日）
- 平成21年 1号棟改築工事開始（7月17日）
- 平成22年 1号棟改築工事終了（3月29日）
- 平成22年 17代校長赤羽孝秀氏就任（4月1日）
- 平成22年 1号棟落成記念式典（4月23日）
- 平成23年 座間市教育課程等推進委託校（～24年度）
- 平成24年 南側フェンス整備工事
- 平成25年 第18代校長吉川俊彦氏就任（4月1日）

- 平成26年 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
 平成27年 「座間中学校地域交流協議会」文部科学大臣表彰受章（12月3日）
 平成28年 第19代校長小西秀人氏就任（4月1日）
 創立70周年記念 航空写真撮影（4月15日）
 平成29年 2号棟外壁塗装工事（7月～8月）
 平成30年 第20代校長田附裕治氏就任（4月1日）

西中学校

- 昭和42年 座間町立西中学校校舎竣工(第一期工事)（3月8日）
 座間中学校の学区の一部が独立し、座間町立西中学校として開校
 初代校長石井三郎氏就任
 生徒数168名、学級数4
 校旗作成（10月8日）。
- 昭和43年 増築工事竣工（職員室、普通教室4、便所6）
 第二期工事竣工（調理室、生物室、視聴覚教室）（3月26日）
 学園緑化推進指定校（7月1日）
- 昭和44年 社会福祉研究指定校（4月1日）
 体育館、技術科室竣工（7月12日）
- 昭和45年 校歌制定（2月21日）。県Pより優良PTAとして表彰（9月6日）
 県より環境美化優良校として表彰（11月28日）
- 昭和46年 文部省道徳教育指定校（5月11日）
 2代校長曾我晃也氏就任（9月1日）
 市制施行に伴い、座間市立西中学校と改称（11月1日）
- 昭和47年 文部省指定道徳教育研究中間報告発表会（5月10日）
 文部省指定道徳教育研究発表会開催（11月22日）
- 昭和50年 県教育委員会の自然保護教育実験校として委託（9月）
- 昭和52年 図書室、技術（木工）室、昇降口竣工（2月28日）
 3代校長池田穰氏就任（9月1日）
 県Pより優良PTAとして表彰（9月21日）
- 昭和53年 全国中学生卓球大会に出場（8月17日）
- 昭和56年 増築工事竣工（普通教室7、音楽室、被服室、美術室、特別活動室）（3月16日）
- 昭和57年 市教育委員会より「学校教育目標の具現化」の研究推進校として委託される（4月）
 4代校長中山達雄氏就任（9月1日）
- 昭和58年 文部省指定研究校（心身障害児理解推進）（4月）
 市教育委員会委託研究校（学校教育目標の具現化）（4月）
- 昭和59年 文部省・市教育委員会指定研究校（心身障害児理解推進校）
- 昭和60年 文部省指定心身障害児理解の研究発表大会（2月6日）
 県中学校体育大会バレーボールの部優勝（7月30日）
 女子バレーボール部関東大会出場（8月7日）

- 昭和61年 5代校長澤田安夫氏就任（4月1日）
 県中学校体育大会女子バレーボールの部優勝（2年連続）（7月30日）
 女子バレーボール部関東大会出場（8月8日）
- 昭和62年 本館教室内・廊下改修工事、及び本館全館塗装工事（7月）
- 昭和63年 6代校長安藤芳夫氏就任（4月1日）
 新館全館内装工事（7月）
- 平成元年 平成元・2年度文部省「中学校生徒指導総合推進校」指定、平成元・2年度市教育委員会「教育課程等研究推進校」指定（5月12日）
 豊川市小中公立学校校務担当者視察（12月1日）
- 平成2年 平成元・2年度文部省「中学校生徒指導総合推進校」、平成元・2年度市教育委員会「教育課程等研究推進校」研究発表会開催（10月3日）
- 平成3年 7代校長内藤正徳氏就任（4月1日）
 県社会福祉協議会のボランティア活動普及事業協力校となる（4月）
- 平成5年 8代校長柴田豊氏就任（4月1日）
 本館給水管更生工事（7月）
- 平成6年 市教育委員会委託研究「個を生かす学習指導」（平成6・7年度）
- 平成7年 市教委委託研究発表「個を生かす学習指導」（11月7日）
 調理室改修（8月）
- 平成8年 9代校長青木雅博氏就任（4月1日）
 市教委委託研究「国際交流教育実践研究校」（平成8・9年度）
 公共下水道工事（8月）
 耐震性水槽埋設工事（10月）
- 平成9年 市教育委員会「環境浄化推進校」指定 新館屋上防水工事、PC教室改修工事、保健室・事務室移設改修工事、焼却炉新設工事（8月）
- 平成10年 10代校長中島七海雄氏就任（4月1日）
 校庭南側歩道拡幅工事
 女子バレー部関東大会出場（8月6日）
- 平成11年 市教育委員会委託研究「2002年に向けた教育課程の研究」（平成11・12年度）
 本館耐震工事、保健室・心の教室相談室に空調設置（8月）
 女子バレー部関東大会出場（8月7日）
 陸上部女子駅伝関東大会出場（12月5日）
- 平成13年 新館耐震補強工事（7～8月）
- 平成15年 11代校長富田忠雄氏就任（4月1日）
 座間市情報教育推進委託研究（平成15・16年度）
 関東少年軟式野球大会（第6回）関東大会出場（11月15日）
- 平成16年 スクールカウンセラー配置
- 平成17年 座間市教育課程等推進受託校（～18年度）
- 平成18年 体育館耐震補強工事（7月～8月）
 市教育委員会委託研究発表「学ぶ意欲・学ぶ力を育む教科指導」（11月2日）

- 特別支援教育補助員設置
- 平成19年 問題を抱える子ども等の自立支援事業（国）受託（～20年度）
心のフレンド員設置
ひまわり環境ISO認定（5月16日）
- 平成20年 12代校長廣瀬豊氏就任（4月1日）
- 平成22年 女子バレーボール部関東大会出場（8月）
水泳個人（1名）・メドレーリレー（1チーム）全国大会出場（8月）
- 平成23年 正門改修工事完了（3月）
13代校長木島弘氏就任（4月1日）
女子バレーボール部全国大会出場（8月18日）
水泳個人（2名）・男子400mメドレーリレー（1チーム）全国大会出場（8月）
吹奏楽部東関東大会出場（9月17日）
金工室・木工室耐震補強工事
ひまわり実行委員会善行章授章
- 平成24年 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業受託（県）
学習指導実践研究協力事業協力校（国）（～25年度）
- 平成25年 第14代校長川崎高一氏就任（4月1日）
座間市教育課程等推進受託
水泳個人（1名）関東大会出場（8月）
水泳個人（1名）全国大会出場（8月）
普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成26年 PC教室パソコンリース替え（8月）
体育館AED設置（8月）
かながわ子どもスマイルウェブ地域フォーラム参加（11月）
- 平成27年 第15代校長直井恵子氏就任（4月1日）
スマーナ（テネシー州）からの交流事業（7月15日・16日）
初任者研修 他校種訪問事業（2名受け入れ）（12月）
- 平成28年 創立50周年記念式典開催（ハーモニーホール）（10月）
体育館改修工事（7月～1月）、体育館ステージ幕工事終了（2月）
- 平成29年 第16代校長鈴木直人氏就任（4月1日）
創立50周年記念「憩いの広場」完成（体育館北側）（4月）
- 平成30年 市教育委員会から教育課程等研究推進校の委託（防災教育）

東中学校

- 昭和47年 座間中学校の学区の一部が独立し、座間市立東中学校として開校
初代校長中山茂氏就任
校長以下職員24名着任（4月1日）
生徒数526名、学級数13
開校式、第1回入学式、始業式举行

- 昭和48年 校旗作成、校歌制定(2月1日)
 体育館竣工(2月8日)
 県教育委員会から社会福祉普及校に指定(4月1日)
- 昭和49年 校舎増築工事着工(8月1日)
- 昭和50年 校舎増築工事完成(3月10日)
- 昭和53年 2代校長佐野淳一氏就任(9月1日)
- 昭和55年 校舎増築工事着工(4月24日)
- 昭和56年 校舎増築工事完成(3月10日)
 10周年記念式典挙行、「校歌」の歌碑建立
- 昭和57年 3代校長和田重雄氏就任(9月1日)
- 昭和59年 4代校長田中恒行氏就任(4月1日)
- 昭和61年 座間市立南中学校創立に伴い、学区変更
 特殊学級開設
 5代校長草薙司郎氏就任(4月1日)
 県教育委員会から学校保健領域の研究推進校に指定(2年間)
- 平成2年 市教育委員会から教育課程等研究推進校の委託(生徒指導)
 グランドに夜間照明設置(10月)
- 平成3年 6代校長高橋衛氏就任
 20周年記念式典挙行(11月16日)
- 平成4年 校舎旧館外装塗装工事(8月)
 県教育委員会から学校安全に関する研究校に指定(2年間)
 県中学校体育大会総合開会式会場になる(7月27日)
- 平成5年 7代校長中村政行氏就任(4月1日)
 校舎新館外装塗装工事
 ソフトボール部関東大会出場(8月)
 学校安全発表大会(11月11日)
- 平成6年 卒業記念植樹(桜20本、3月10日)
 市教育課程等研究推進校の委託(2年間)
- 平成8年 8代校長西野達雄氏就任(2月1日)
 県・市教育委員会教育課程等研究推進校の委託(道徳)
 体育館外装改修工事
 ソフトボール部関東大会出場(8月)
- 平成9年 卓球部及び陸上競技部(個人)関東大会出場
- 平成10年 文部省「東中学校区道徳的実践活動推進事業」の指定を東中学校区として受ける
 (平成10～12年度)
- 平成11年 9代校長久保田武雄氏就任(4月1日)
 道徳教育資料「きらめき」に関する研究の指定を受ける(平成11年度)
- 平成12年 卓球部関東大会出場
 文部省委嘱「東中学校区道徳的実践活動推進事業」の研究発表会開催

- 平成13年 校舎西棟耐震工事
卓球部関東大会出場
- 平成14年 校舎東棟耐震工事
- 平成15年 10代校長永島悟氏就任(4月1日)
市教育委員会教育課程等研究推進校の委託(2年間)
- 平成17年 市教育委員会教育課程等推進校研究発表会開催(2月10日)
サッカー部県大会準優勝・関東大会出場(8月)
- 平成19年 11代校長島田壽美氏就任(4月1日)
平成19・20年度「かながわイキイキスクール実践研究」受託
女子バレーボール部「県中学校バレーボール選手権大会」準優勝(6月)
女子バレーボール部「県総合体育大会バレーボール選手権大会」3位(7月)
女子バレーボール部「関東中学校バレーボール大会」出場(8月)
吹奏楽部 神奈川県吹奏楽コンクール(県大会)金賞(8月)
吹奏楽部 東関東吹奏楽コンクール大会出場(9月)
【個人】関東中学校陸上競技大会男子砲丸投げ出場(8月)
関東中学校水泳競技大会女子50m 出場(8月)
- 平成20年 平成19年・20年「かながわイキイキスクール実践研究」受託(2年目)
【個人】関東中学校水泳競技大会女子50m 自由形 優勝(8月)
関東中学校水泳競技大会女子100m 自由形 3位(8月)
- 平成21年 【個人】関東中学校陸上競技大会男子800m 出場 8位(8月)
全日本中学校陸上競技選手権大会男子800m 出場 (8月)
全日本中学校水泳競技選手権大会女子50m 自由形 出場(8月)
- 平成22年 県最優秀健康推進校として表彰される。
市教育課程等研究推進校の受託(2年間)
- 平成23年 12代校長曾根伸二氏就任(4月1日)
【個人】関東中学校水泳競技大会男子1500m 自由形 2位(8月)
関東中学校水泳競技大会男子400m 自由形 3位(8月)
関東中学校水泳競技大会男子100m 背泳ぎ 2位(8月)
【団体】関東中学校水泳競技大会男子団体総合 3位(8月)
- 平成24年 市教育課程等研究推進校研究発表会開催(11月14日)
- 平成26年 国際級開設(5月)
普通教室等空調整備工事(6月～8月)
- 平成27年 13代校長日極忠氏就任
屋内運動場改修工事(8月～28年1月)
- 平成28年 体育館改修工事完了
市教育委員会教育課程等推進校の指定を受ける(平成28,29年)
- 平成29年 金工室・木工室外壁工事、防水工事実施(7月～9月)
市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表会を実施(11月14日)
「豊かな心を育む教育活動の展開～一人ひとりに確かな学力を育む

栗原中学校

- 昭和52年 座間中学校と東中学校の学区の一部が独立し、座間市立栗原中学校として開校
生徒数490名、学級数13（4月1日）
初代校長中山達雄氏就任（4月1日）
- 昭和53年 校旗作成 校歌制定(2月7日)
- 昭和54年 体育館竣工(2月7日)
国際児童年記念カプセル埋設(10月31日)
- 昭和56年 女子バレー部関東大会出場(8月)
卓球部全国大会ベスト8(8月)
- 昭和57年 開校5周年記念植樹“桜”（2月20日）
2代校長佐野淳一氏就任（9月1日）
- 昭和58年 校舎増築（2月28日）
- 昭和61年 3代校長増田寛氏就任（4月1日）
県大会・関東大会で男子ソフト部優勝 全国大会へ出場(8月)
開校10周年記念式典（10月12日）
- 昭和62年 県大会・関東大会で男子ソフト部優勝 全国大会へ出場(8月)
女子ソフト部全国大会で準優勝(8月)
- 昭和63年 体育館内装工事、非常用給水槽設置(7月～8月)
PC設置(7月)。外国人英語講師の授業開始(10月)
- 平成 元年 校庭に夜間照明灯設置(8月～9月)11月使用開始
- 平成 2年 校庭開放利用に伴う防球ネット一部張替(5月)
4代校長諸節秀夫氏就任(4月1日)
- 平成 4年 市教育委員会教育課程等研究推進校（4年～5年）
変電器取替（4年・5年8月）
- 平成 5年 5代校長内藤正徳氏就任(4月1日)
B棟校舎一部防水工事（8月～9月）
関東大会1年男子1,500m走新記録達成
- 平成 6年 県教育委員会教育課程研究推進校・市教育委員会教育課程等研究推進校指定
(6・7年度)
アラーム機器取替工事 教室、廊下天井張替工事(7月)
全国中学校水泳競技大会出場（8月）
国民体育大会水泳競技出場（9月）
県・市教育委員会教育課程研究推進校の中間発表会(11月11日)
- 平成 7年 ふれあい教育事業「愛の豚汁」（第1回）実施(1月)
全国中学校水泳競技大会出場（8月）
県・市教育委員会教育課程推進校として研究発表会（11月15日）

- 屋上防水改修工事（11月～2月）
- 平成 8年 6代校長中島七海雄氏就任（4月1日）
 県教育委員会いじめ問題研究推進校の指定（4月）
 特殊学級（精神薄弱）新設（4月）
 関東中学校水泳競技大会出場、全国中学校水泳競技大会出場、ジュニアオリンピック大会出場(8月)
 教室・廊下天井張替工事（8月）
 テニスコート防球ネット支柱補強工事（9月～10月）
- 平成10年 7代校長川村忠氏就任
 市教育委員会委託研究「国際交流実践研究推進校」指定
 屋内運動場屋根改修(1月～3月)
- 平成11年 屋内運動場床改修（7月～8月）
- 平成12年 神奈川県教育委員会「進路指導地区研究推進校」指定
- 平成13年 関東中学校卓球大会出場
- 平成14年 8代校長尾山眞幸氏就任
 関東中学校卓球大会出場
 市教育委員会教育課程研究推進校
 渡り廊下耐震補強工事
- 平成15年 市教育委員会教育課程研究推進校として研究発表会（11月13日）
 南棟耐震補強工事
- 平成16年 北棟耐震補強工事
- 平成17年 9代校長金子楨之輔氏就任（4月1日）
- 平成18年 吹奏楽部東関東大会出場（9月16日）
 創立30周年記念式典祝賀会举行（10月21日）
 10代校長木島弘氏就任（12月23日）
- 平成19年 A棟トイレ改修（8月～9月）
- 平成20年 平成20年問題行動等未然防止推進事業「絆（きずな）」づくり推進事業実践校
 屋内運動場耐震補強工事
 図書検索システム整備
- 平成21年 屋外トイレ改築及び公共下水道接続工事（7～12月）
 野球部：関東近県中学校選抜野球大会 準優勝（8月22, 23日）
- 平成22年 神奈川県教育委員会委託事業「神奈川県公立学校人権教育研究」指定（平成22,23年）
 B棟トイレ改修（7月～8月）
- 平成23年 11代校長廣瀬豊氏就任（4月）
- 平成25年 12代校長 赤羽孝秀氏就任（4月）
 A・B棟外壁塗装工事（6月～9月）
- 平成26年 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成27年 市教育委員会教育課程研究推進校（平成27・28年度）
 給食配膳室設置工事（8月）

- 学校給食試行開始（デリバリー方式選択式）（9月1日）
- 平成28年 13代校長中木原利一氏就任（4月1日）
- A棟女子トイレ洋風便器設置工事（7月～8月）
- 金工・木工室外壁及び屋上改修工事（6月～8月）
- 平成29年 北棟・昇降口棟屋上防水改修工事（9月～12月）
- 平成30年 14代校長梶弘之氏就任（4月1日）

相模中学校

- 昭和54年 座間中学校から独立し、座間市立相模中学校として開校
初代校長菊田哲夫氏就任
生徒数821名、学級数20 PTA設立（4月2日）
- 昭和55年 国際児童年記念カプセル埋設（1月21日）
校旗作成・校歌制定（2月12日）
開校記念日を2月12日と制定（2月13日）
- 昭和56年 校歌碑建立（1月27日）
体育館竣工（2月2日）
- 昭和57年 国際児童年記念碑設置（3月13日）
- 昭和59年 相模学級開設（4月1日）
プレハブ2教室設置（4月5日）
市教育委員会研究推進校受託「生徒指導研究」（昭和59・60年度）
- 昭和61年 2代校長安藤芳夫氏就任（4月1日）
- 昭和62年 市教育委員会研究推進校受託「生徒指導研究」（昭和62・63年度）
プレハブ2教室撤去
- 昭和63年 防災備蓄倉庫設置(市)（1月21日）
3代校長田中恒行氏就任（4月1日）
創立10周年記念式典挙行（5月8日）
外国人英語講師による巡回指導開始
- 平成 元年 県教育委員会研究推進校受託「情報機器活用研究」（平成元年・元年度）
PC教育機器の導入並びに研修開始
- 平成 3年 4代校長澤田安夫氏就任（4月1日）
県教育委員会研究推進校受託「学校運営のあり方研究」（3年・4年・5年・6年度）
- 平成 4年 校庭に夜間照明等設置（市）
- 平成 5年 下水道本管を公共下水道に接続、浄化槽撤去
- 平成 6年 5代校長青木雅博氏就任（4月1日）
県社会福祉協議会協力校受託「ボランティア活動」（6年・7年・8年度）
- 平成 7年 市教育委員会研究推進校受託「国際交流教育実践研究」（7年・8年度）
- 平成 8年 6代校長久保田武雄氏就任（4月1日）
- 平成 9年 県教育委員会研究推進校受託「生徒指導の研究」（1年間）
市教育委員会研究推進校受託「生徒指導の研究」（2年間）

- 平成10年 文部省調査研究委託校受託「スクールカウンセラー活用調査研究」(～11年度の2年間)
 県教育委員会研究推進校受託「生徒指導の研究」(1年間)
- 平成11年 7代校長尾山真幸氏就任(4月1日)
- 平成12年 市教育委員会研究推進校「国際交流教育実践研究」(～13年度の2年間)
- 平成14年 8代校長栗城信雄氏就任(4月1日)
- 平成15年 県教育委員会研究推進校受託(2年間)「中学校区小中学校相互交流研究」(4月1日)
 東側道路拡張に伴うテニスコート整備(8月)
- 平成16年 県教育委員会研究推進校「中学校区小中学校相互交流研究」(4月)
 スクールライフ・アドバイザー配置事業開始(4月)
 外国人子女日本語指導等協力者派遣事業開始(5月)
- 平成17年 スクールカウンセラー事業開始(4月21日)
 校舎耐震工事開始(7月21日)
- 平成18年 9代校長平本岳男氏就任(4月1日)
- 平成20年 市教育委員会研究推進校受託「教育課程の研究」(20・21年度)
 相模フェスティバル30「ファイナルステージ」開催(11月1日)
- 平成21年 市教育委員会研究推進校受託「教育課程の研究」(20・21年度)
- 平成22年 市教育委員会研究推進校研究発表「教育課程の研究」(2月5日)
 10代校長石原朗宏氏就任(4月1日)
 体育館耐震工事開始(7月)
- 平成25年 普通教室等空調整備工事(6月～8月)
- 平成26年 11代校長小西秀人氏就任(4月1日)
 市教育課程等研究推進委託校(26・27年度)
 校舎外壁工事(7月～9月)
- 平成27年 トイレ改修工事(7月～9月)
- 平成28年 市教育課程等研究発表会(1月26日)
 12代校長大沢奈緒美氏就任(4月1日)
- 平成29年 学校給食開始(9月3日)
- 平成30年 全日本少年軟式野球大会出場

南中学校

- 昭和61年 初代校長田中恒行氏就任(4月1日)
 栗原中学校・東中学校の学区の一部が独立し、1・2年学年で開校(1学年5学級、2学年5学級)
 男子218名、女子203名、生徒数421名、教職員20名
 校旗作成、開校記念日制定(10月1日)
 校歌制定(12月15日)
 南中学校教育目標の決定：心身共に健康で、実践力のある生徒の育成・他を尊重し、礼儀正しい明るい生徒・丈夫で、粘り強い生徒

- 昭和62年 男子卓球部団体の部で関東大会に出場（8月）
- 昭和63年 2代校長澤田安夫氏就任。市教育委員会教育課程等研究推進校「パソコン教育」受託
（2年間、昭和63・平成元年度）
PC導入(6月)
- 平成 元年 みなみ学級開設(4月)
県学校教育放送「教師の時間」番組「生徒の手による体育祭」制作(9月23日)
県視聴覚・放送教育研究会で公開授業（11月17日）
- 平成 2年 市教育委員会教育課程等推進校「教育機器活用」受託(2年間)
学校教育番組モニター校受託(1年間)
スマーナ市視察団来校（11月19日）
- 平成 3年 3代校長安藤芳夫氏就任(4月1日)
教育機器活用研究発表会（11月19日）
- 平成 4年 県教育放送研究推進校受託(2年間)
市教育委員会教育課程等研究推進校「教育機器活用」受託(2年間)
- 平成 5年 4代校長久保田武雄氏就任（4月1日）
ロシア教育研修生来校(5月13日)
県学校教育放送番組「中学生の生活」の「職業しらべ」番組制作（10月）
教育機器活用研究発表会（2月3日）
- 平成 6年 日本新聞協会NIEパイロット計画推進校（社会科）受託（2年間）
県教育研究所連盟PC研究会の会場、公開授業(10月13日)
- 平成 7年 学校教育目標（夢目標）「夢と希望を持ち、生き方を考える生徒」を追加
スクラップコンクール学校賞受賞。創立10周年記念祝賀会（10月21日）
県学校教育放送番組「一人ひとり意見から」－私達の校則改正－制作
- 平成 8年 5代校長川村忠氏就任（4月1日）
- 平成 9年 市国際交流教育実践研究受託（2年間）
- 平成10年 6代校長青木雅博氏就任（4月1日）
スマーナ市長ほか中高校生教育視察訪問（7月15日）
心の教育相談室開設（10月）
- 平成11年 教育課程研究（校内研究）「生きる力を育てる教育課程の編成に向けて」総合学習の実
践をめざし研究開始
- 平成12年 市教育課程研究推進校「生きる力を育てる新教育課程」の受託（2年間）
文部省「スクールカウンセラー活用調査研究」の受託（1年間）
- 平成13年 市教育課程研究推進校「生きる力を育てる新教育課程」の受託（2年目）
県スクールカウンセラー活用事業開始
市情報教育推進校受託（～14年の2年間）
- 平成14年 市情報教育推進校受託（2年目）
- 平成15年 7代校長河合寛行氏就任（4月1日）
- 平成16年 文科省道徳教育推進校「児童・生徒の心に響く道徳教育推進」の受託（～17年の2
年間）

- 平成17年 文科省道徳教育推進校「児童・生徒の心に響く道徳教育推進」の受託による道徳教育推進研究発表会（11月18日）
- 平成18年 市教育課程研究推進校「豊かな心を育てる道徳教育の推進」の受託（2年間）
- 平成19年 8代校長進士隆行氏就任（4月1日）
市教育課程研究推進校「豊かな心を育てる道徳教育の推進～道徳教育と総合的な学習の時間の連携～」の受託による研究発表会（11月6日）
- 平成20年 しらかし学級開設（4月）
- 平成21年 スクールニューディール構想（ICT化）により、50インチテレビ・電子黒板等導入
- 平成22年 9代校長川崎高一氏就任（4月1日）
少人数学級研究の実施（第2学年）
- 平成23年 少人数学級研究の実施（第3学年）
- 平成24年 少人数学級研究の実施（第3学年）
屋上防水改修工事
- 平成25年 10代校長廣瀬豊氏就任（4月1日）
市教育課程等研究推進校受託（2年間）
少人数学級研究の実施（第1学年）
普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成26年 市教育課程等研究推進校受託(2年目)
少人数学級研究の実施（第2学年）
- 平成27年 座間市教育課程等研究推進校「学び・つながり・わくわく感のある分かる授業をめざして～校内研究の活性化により授業力の向上を図る～」の受託による研究発表会（1月21日）
11代校長赤井諭氏就任（4月1日）
少人数学級研究の実施（第3学年）
タイムカプセル掘り出し（8月29日）
開校30周年記念式典（10月24日）
- 平成28年 グラウンド土質改良工事完了（5月14日）
屋内運動場屋上防水改修工事完了（10月3日）
- 平成29年 12代校長押田典明氏就任（4月1日）
学校給食開始（9月3日）
校舎内トイレ改修工事完了（9月10日）
- 平成30年 市教育課程等研究推進校受託（30、31年度）
屋内運動場等トイレ改修工事（7月～8月）

第10 中学校卒業者の進路状況

(1) 中学校別進学・就職の状況

平成27年度（平成28年3月卒業）

中学校名	卒業生数（人）			進学者数（人）			進学率 %			就職・その他（人）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
座間中学校	78	77	155	77	76	153	98.7	98.7	98.7	1	1	2
西中学校	96	92	188	95	92	187	98.7	100	99.4	1	0	1
東中学校	126	107	233	125	104	229	98.7	97.1	98.2	1	3	4
栗原中学校	80	87	167	80	87	167	100	100	100	0	0	0
相模中学校	114	101	215	109	98	207	95.6	97.0	96.2	5	3	8
南中学校	50	62	112	50	61	111	100	98.3	99.1	0	1	1

平成28年度（平成29年3月卒業）

中学校名	卒業生数（人）			進学者数（人）			進学率 %			就職・その他（人）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
座間中学校	79	75	154	79	74	153	100	98.7	99.5	0	1	1
西中学校	93	71	164	91	70	161	97.8	98.6	98.2	2	1	3
東中学校	121	107	228	120	105	225	99.2	98.1	98.7	1	2	3
栗原中学校	71	73	144	71	73	144	100	100	100	0	0	0
相模中学校	89	93	182	86	93	179	96.6	100	98.4	3	0	3
南中学校	66	68	134	64	68	132	97.0	100	98.5	2	0	2

平成29年度（平成30年3月卒業）

中学校名	卒業生数（人）			進学者数（人）			進学率 %			就職・その他（人）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
座間中学校	81	69	150	81	68	149	100	98.6	99.3	0	1	1
西中学校	110	76	186	109	76	185	99.1	100	99.5	1	0	1
東中学校	99	107	206	99	106	205	100	99.1	99.5	0	1	1
栗原中学校	79	77	156	78	77	155	98.7	100	99.4	1	0	1
相模中学校	123	88	211	118	88	206	95.9	100	97.6	5	0	5
南中学校	59	63	122	57	63	120	96.6	100	98.4	2	0	2

(2) 進路状況内容

平成27年度（平成28年3月卒業）

卒業生総数	進学者合計	進学者						その他	就職者	その他
		全日制高等学校					その他			
		県内公立			県内私立	県外公私立				
		普通科	専門学科等	計						
男	544	536	251	78	329	119	25	63	2	6
女	526	518	291	68	359	94	20	45	1	7
計	1,070	1,054	542	146	688	213	45	108	3	13

平成28年度（平成29年3月卒業）

卒業生総数	進学者合計	進学者						その他	就職者	その他
		全日制高等学校					その他			
		県内公立			県内私立	県外公私立				
		普通科	専門学科等	計						
男	519	511	265	86	351	104	26	30	3	5
女	487	483	321	56	377	84	14	8	0	4
計	1,006	994	586	142	728	188	40	38	3	9

平成29年度（平成30年3月卒業）

卒業生総数	進学者合計	進学者						その他	就職者	その他
		全日制高等学校					その他			
		県内公立			県内私立	県外公私立				
		普通科	専門学科等	計						
男	551	542	279	53	332	12	16	59	4	5
女	480	478	254	65	319	91	13	50	2	0
計	1,031	1,020	533	118	651	103	29	109	6	5

第 1 1 特別支援教育

本市の特別支援学級は昭和 4 2 年 4 月に座間小学校に開設されて以来 5 1 年の歴史をもつに至った。

平成 8 年 4 月には市内全校への特別支援学級設置が実現し、平成 2 3 年度は入谷小学校に肢体不自由級も開設され、平成 2 5 年度には座間小学校に肢体不自由級、相武台東小学校に弱視級、立野台小学校に病弱身体虚弱級、2 7 年度には中原小学校に肢体不自由級、座間小学校に病弱級、栗原中学校に弱視級、2 8 年度には相武台東小学校に肢体不自由級、2 9 年度には相模野小学校、旭小学校、西中学校に肢体不自由級、座間中学校弱視級、3 0 年度には旭小学校に身体虚弱・病弱級、栗原小学校に肢体不自由級が開設され、現在、小学校 3 6 学級、中学校 1 7 学級設置されている。学級種別は、知的障がい学級 2 4、自閉症・情緒障がい学級 1 7、肢体不自由級 8、病弱身体虚弱級 3、弱視級 1 と児童生徒の障がいの多様化傾向を反映している。

言語教室は、相模野小学校に昭和 5 1 年に特別支援学級として開設され、平成 5 年度より言語通級指導教室に制度化され現在に至っている。さらに、平成 1 6 年 4 月には入谷小学校に開設されている。

また、平成 2 1 年度から情緒通級指導教室も立野台小学校に開設され、LD・ADHD・高機能自閉症等の児童生徒の指導・支援の取組を行っている。さらに平成 2 3 年度からは旭小学校に、平成 2 5 年度からは座間小学校にも開設され、きめ細やかな支援を行っている。

特別支援教育がめざすものは、児童生徒一人ひとりのもつ可能性を最大限に伸ばし、積極的に社会に参加できるような人間を育てることにある。交流教育を重視し、市内特別支援学級移動教室や近隣校とのブロック交流などが行われている。平成 4 年 4 月からは、障がいのある児童生徒の教育の充実を図るために、小中学校に障がい児介助員が配置されている。

また、通常級において特別な配慮を要する児童・生徒に対し、一人ひとりの教育的ニーズに合った、きめ細かな支援を行うために平成 1 7 年 4 月から特別支援教育補助員が配置されている。

(1) 特別支援学級在籍児童生徒数

(平成 3 0 年 5 月 1 日現在)

学 校 名	学 級 名	開 設 年 月	種 別	学 年 別 児 童 数						合 計
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
座 間 小 学 校	こぼと 1	昭和 4 2. 4	知的	0	0	0	3	2	0	5
	こぼと 2	平成 2 4. 4	知的	0	2	3	0	0	0	5
	たけのこ	平成 3. 4	自情	0	2	1	2	2	0	7
	つばめ	平成 2 5. 4	肢体	0	0	0	0	0	1	1
	ふたば	平成 2 7. 9	病弱	0	0	0	2	0	0	2
栗 原 小 学 校	さくら	昭和 4 8. 4	知的	1	1	0	1	3	0	6
	わかば	平成 1 9. 4	自情	0	1	1	1	0	0	3
	どんぐり	平成 3 0. 4	肢体	1	0	0	0	0	0	1
相 模 野 小 学 校	ひろの	平成 1 1. 4	知的	2	0	0	1	0	0	3
	さがみの	平成 6. 4	自情	0	2	0	1	0	0	3
	のぞみ	平成 2 9. 4.	肢体	0	1	0	0	0	0	1
相 武 台 東 小 学 校	たんぼぼ	昭和 4 8. 4	知的	0	0	0	1	2	1	4
	つくし	平成 2 0. 4	自情	2	0	0	3	0	0	5
	れんげ	平成 2 8. 9	肢体	0	0	1	0	0	0	1
ひばりが丘小学校	ひばり 1	昭和 5 3. 4	知的	0	1	0	0	0	2	3
	ひばり 2	平成 1 9. 4	自情	0	1	2	0	0	0	3
東 原 小 学 校	あさかぜ	昭和 6 3. 4	知的	1	0	1	1	0	0	3
	こだま	平成 9. 4	自情	0	1	1	0	0	1	3
相 模 が 丘 小 学 校	なかよし	昭和 5 1. 4	知的	0	0	2	0	2	1	5
	ともだち	平成 1 9. 4	自情	0	2	1	2	0	0	5
立 野 台 小 学 校	たつのこ 1	平成 2 4. 4	知的	2	1	0	1	0	0	4
	たつのこ 2	平成 3 0. 4	知的	0	0	0	0	5	0	5
	ひまわり	平成 5. 4	自情	0	3	1	1	1	1	7

	みどり	平成25.4	病弱	0	0	0	1	0	1	2
入谷小学校	あおぞら	昭和60.4	知的	3	0	0	1	1	0	5
	そよかぜ	平成21.4	自情	0	1	0	1	0	2	4
	たいよう	平成23.4	肢体	0	0	0	0	1	0	1
旭小学校	あさひ1	平成11.4	知的	1	1	0	0	3	1	6
	あさひ3	平成26.4	知的	1	1	1	0	2	1	6
	あさひ2	昭和59.4	自情	0	0	0	1	1	1	3
	あさひ4	平成29.4	肢体	0	1	0	0	0	0	1
	あさひ5	平成30.4	病弱	1	0	0	0	0	0	1
中原小学校	なかはら1	昭和59.4	知的	1	2	1	0	0	1	5
	なかはら2	平成29.4	知的	0	3	1	0	1	0	5
	すこやか	平成27.4	肢体	0	0	0	1	0	0	1
	おおぞら	平成9.4	自情	1	0	1	0	0	0	2
合計				18	26	18	25	26	14	127

学校名	学級名	開設年月	種別	学年別生徒数			合計
				1年	2年	3年	
座間中学校	いずみ1	昭和45.4	知的	1	0	4	5
	いずみ2	平成30.4	知的	3	1	1	5
	あおば	平成7.4	自情	1	1	1	3
	みのり	平成29.4	弱視	0	1	0	1
西中学校	西1A	昭和56.4	知的	2	2	0	4
	西1B	平成29.4	知的	0	2	3	5
	西2	平成9.4	自情	3	3	0	6
	西3	平成29.4	肢体	0	1	0	1
東中学校	東1	昭和62.4	自情	3	0	2	5
	東2	昭和61.4	知的	1	2	1	4
	東3	平成30.4	知的	4	0	1	5
栗原中学校	栗原	平成8.4	知的	2	3	1	6
	芹沢	平成24.4	自情	1	0	1	2
相模中学校	相模1	昭和59.4	知的	1	1	1	3
	相模2	平成11.4	自情	1	2	0	3
南中学校	みなみ	平成元.4	知的	0	0	2	2
	しらかし	平成20.4	自情	1	2	1	4
合計				24	21	19	64

(2) 通級指導教室（言語・情緒）児童生徒数

(平成30年5月1日現在)

学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	合計
相模野小学校	人数	1	5	7	6	1	2	0	0	0	22
入谷小学校	人数	2	6	2	1	0	0	0	0	0	11
立野台小学校	人数	0	3	5	8	3	3	0	0	0	22
旭小学校	人数	0	0	3	6	12	12	0	0	0	33
座間小学校	人数	0	2	7	5	10	10	0	0	0	34
	合計	3	16	24	26	26	27	0	0	0	122

(3) 特別支援諸学校在籍児童・生徒数

(平成30年5月1日現在)

学 校 名	小 学 部						中 学 部			合 計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
座間養護学校	0	1	0	0	1	1	0	3	2	8
相模原中央支援学校	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
えびな支援学校	0	0	6	2	4	1	3	8	3	27
平塚聾学校	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
秦野養護学校	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
伊勢原養護学校	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
横浜南養護学校	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
東京都武蔵台学園	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	0	2	8	4	5	2	5	11	6	43

(4) 特別支援学級在籍児童・生徒数の推移

(平成6年度以降は学校基本調査による)

年 度	小 学 校							中 学 校				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	合計	合計
4	5	5	7	5	3	4	29	3	2	8	13	42
5	6	7	6	6	5	5	35	5	6	2	13	48
6	3	6	7	6	6	5	33	5	6	6	17	50
7	4	3	7	5	6	6	31	8	4	7	19	50
8	8	6	3	6	5	5	33	5	5	4	14	47
9	5	10	7	3	6	6	37	6	6	5	17	54
10	2	5	11	8	4	6	36	6	7	7	20	56
11	3	4	7	12	8	4	38	4	6	9	19	57
12	4	4	6	9	12	8	43	4	4	7	15	58
13	11	7	5	7	10	12	52	8	5	4	17	69
14	12	12	13	7	5	10	59	9	8	9	26	85
15	12	13	12	13	7	5	62	6	8	9	23	85
16	8	9	13	12	11	8	61	6	9	9	24	85
17	13	9	9	13	12	11	67	8	8	10	26	93
18	10	14	12	12	13	14	75	14	10	8	32	107
19	8	12	14	14	15	15	78	9	14	10	33	111
20	9	12	16	14	13	17	81	13	10	14	37	118
21	14	14	9	19	14	13	83	16	16	11	43	126
22	5	14	17	10	19	15	80	16	16	15	47	127
23	18	5	15	18	11	19	86	16	18	17	51	137
24	23	18	9	17	18	10	95	17	17	18	52	147
25	11	26	22	13	20	18	110	10	17	17	44	154
26	13	12	26	21	17	21	110	18	11	19	48	158
27	16	18	13	29	23	17	116	20	16	12	48	164
28	13	24	21	13	29	25	125	17	25	18	60	185
29	21	17	26	22	13	29	128	19	18	25	62	190
30	18	26	18	25	26	14	127	24	21	19	64	191

(5) 小・中学校障がい児介助員数の推移

	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	20年	21年
小学校	7	9	9	10	12	13	14	13	13	13
中学校	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1
	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	
小学校	12	13	13	15	16	16	18	21	20	
中学校	2	3	4	3	3	6	6	6	7	

(6) 小・中学校特別支援教育補助員数の推移

(H26 から表記変更)

	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
	3	5	8	8	8	9	9	13	14	16	17	17

第12 国際教室

(1) 国際教室の役割

近年の中南米、東南アジア諸国からの移住者の増加に伴い、外国籍の児童も増えてきたため、外国籍児童の新たな学習支援として平成19年度から栗原小学校、平成20年度から東京小学校、平成24年度からひばりが丘小学校、旭小学校、平成25年度から相模野小学校、相模が丘小学校、平成26年度から中原小学校、東中学校、平成28年度には座間小学校、相武台東小学校に国際教室を開級し、外国籍児童にきめ細かな日本語指導を行うものである。

(2) 目標

- ・日本の言葉の理解を深め、学習の援助を図る。
- ・日本の文化、習慣についての理解を深め、学校生活や社会生活への適応を図る。
- ・母国と日本の互いの文化を理解し合い、豊かな国際感覚を養う。
- ・日本語がほとんど分からない児童に日常会話や学校生活の仕方などを教える。
- ・日常会話はできるが、日本語の「読み」「書き」が不十分な児童の指導や補習などを行う。
- ・通級にあたっては、各担任と相談して決め、児童の実態に応じて取り出し学習を行う。

(3) 国際教室

母語別児童数状況

計：122人

(平成30年4月5日現在)

座間小学校	ベトナム語	1年生(1人) 4年生(1人) 6年生(1人)
	カンボジア語	1年生(1人) 4年生(1人)
	タガログ語	1年生(1人) 3年生(1人)
	中国語	2年生(1人) 4年生(1人)
	タイ語	3年生(1人)
栗原小学校	スペイン語	2年生(1人)
	英語	2年生(1人)
	タガログ語	2年生(1人)
	ウルドゥー語	3年生(1人) 4年生(1人) 6年生(1人)
	タミール語	6年生(1人)
相模野小学校	ポルトガル語	4年生(1人)
	スペイン語	1年生(1人)
	韓国語	4年生(1人) 6年生(1人)
	中国語	1年生(1人) 3年生(1人) 5年生(1人)

	シンハラ語	2年生 (2人)
	ベンガル語	1年生 (1人) 6年生 (1人)
相武台東小学校	ベトナム語	3年生 (1人) 5年生 (1人)
	英語	5年生 (1人) 6年生 (1人)
	タガログ語	2年生 (2人) 3年生 (1人) 5年生 (2人) 6年生 (1人)
	中国語	1年生 (1人)
	モンゴル語	3年生 (1人)
ひばりが丘小学校	スペイン語	1年生 (1人) 4年生 (1人)
	カンボジア語	3年生 (1人) 5年生 (1人)
	タガログ語	1年生 (1人) 4年生 (1人)
	中国語	5年生 (1人)
	ウルドゥー語	5年生 (1人)
東原小学校	スペイン語	3年生 (1人)
	ベトナム語	6年生 (1人)
	英語	1年生 (1人)
	中国語	1年生 (1人) 2年生 (1人)
	タイ語	3年生 (1人)
	ロシア語	6年生 (1人)
	シンハラ語	1年生 (1人)
相模が丘小学校	ベトナム語	1年生 (1人)
	英語	6年生 (1人)
	タガログ語	1年生 (1人) 3年生 (2人) 6年生 (1人)
	中国語	1年生 (1人) 3年生 (3人) 4年生 (1人)
立野台小学校	タガログ語	2年生 (1人) 5年生 (2人) 6年生 (1人)
	中国語	6年生 (2人)
	タイ語	3年生 (1人) 6年生 (1人)
旭小学校	ポルトガル語	6年生 (1人)
	スペイン語	2年生 (1人) 5年生 (1人)
	ベトナム語	4年生 (1人) 5年生 (1人)
	タガログ語	1年生 (1人) 2年生 (1人) 3年生 (1人) 4年生 (1人) 5年生 (5人)
	ベンガル語	1年生 (1人)
中原小学校	ポルトガル語	2年生 (1人) 5年生 (1人)
	スペイン語	5年生 (1人)
	ベトナム語	2年生 (1人) 5年生 (2人)

	カンボジア語	1年生（1人）2年生（1人）
	中国語	1年生（1人）2年生（1人）6年生（1人）
	シンハラ語	1年生（1人）
東 中 学 校	ポルトガル語	1年生（2人）3年生（1人）
	スペイン語	1年生（2人）3年生（1人）
	ベトナム語	3年生（1人）
	タガログ語	1年生（1人）2年生（1人）
	ウルドゥー語	1年生（1人）2年生（1人）
	タミル語	1年生（1人）
相 模 中 学 校	ポルトガル語	3年生（1人）
	タガログ語	3年生（1人）
	中国語	1年生（2人）2年生（3人）3年生（1人）

第13 学校保健

座間市の児童生徒の発育状況

(1) 平成10年度以降平成28年度に至る3年ごとの体位計測結果平均値の推移

年 区 分		学年別	身長 (c m)	体重 (k g)	胸囲 (c m)	座高 (c m)
男	10	小 1	116.8	21.5	—	65.3
		小 6	145.0	38.5	—	77.6
		中 3	165.5	55.1	—	87.1
	13	小 1	116.3	21.4	—	64.8
		小 6	145.0	39.4	—	77.5
		中 3	165.7	54.6	—	87.0
	16	小 1	116.5	21.0	—	64.7
		小 6	145.1	38.2	—	77.5
		中 3	165.1	55.0	—	87.0
	19	小 1	116.9	21.3	—	65.0
		小 6	144.4	38.1	—	77.3
		中 3	165.3	53.7	—	87.3
	22	小 1	116.7	21.1	—	64.9
		小 6	144.2	36.7	—	77.4
		中 3	165.1	53.9	—	87.4
	25	小 1	116.0	20.6	—	64.6
		小 6	145.3	37.9	—	77.6
		中 3	163.0	52.1	—	86.6
28	小 1	116.2	21.0	—	—	
	小 6	144.8	38.0	—	—	
	中 3	165.7	54.2	—	—	
女	10	小 1	115.8	21.2	—	64.7
		小 6	146.5	39.6	—	79.4
		中 3	157.1	50.6	—	84.3
	13	小 1	115.7	21.0	—	64.3
		小 6	146.9	39.6	—	79.0
		中 3	156.5	50.3	—	83.7
	16	小 1	115.9	20.8	—	64.4
		小 6	147.3	39.5	—	79.3
		中 3	156.5	50.1	—	83.6
	19	小 1	115.9	20.6	—	64.3
		小 6	146.6	38.4	—	78.9
		中 3	157.1	50.5	—	84.7
	22	小 1	116.1	21.0	—	64.5
		小 6	146.7	38.8	—	79.0
		中 3	157.0	49.7	—	84.0
	25	小 1	115.7	20.5	—	64.2
		小 6	146.9	38.2	—	79.1
		中 3	156.7	50.2	—	84.6
28	小 1	115.8	20.9	—	—	
	小 6	146.0	38.2	—	—	
	中 3	156.7	50.0	—	—	

座高については、平成28年4月1日付けで学校保健安全法施行規則の一部改正が行われ、必須項目から除外とされたため実施していません。

(2) 平成29年度小・中学校身体計測平均一覽

※県及び全国平均は平成28年度

学年	男 子		小 学 校 区 分	女 子		学年
	身長cm	体重kg		身長cm	体重kg	
1年	116.4	21.1	市平均	116.0	20.9	1年
	116.9	21.3	県平均	115.6	20.8	
	116.5	21.4	全国平均	115.6	20.9	
2年	122.0	23.8	市平均	121.5	23.9	2年
	122.8	24.1	県平均	121.4	23.3	
	122.5	24.0	全国平均	121.5	23.5	
3年	128.5	27.3	市平均	127.5	26.4	3年
	128.8	27.2	県平均	126.6	25.9	
	128.1	27.2	全国平均	127.2	26.4	
4年	133.4	30.1	市平均	133.6	29.6	4年
	134.2	31.0	県平均	133.4	29.6	
	133.6	30.6	全国平均	133.4	29.8	
5年	138.2	32.9	市平均	140.2	33.7	5年
	139.1	34.0	県平均	140.2	33.5	
	138.8	34.0	全国平均	140.2	34.0	
6年	145.0	37.9	市平均	146.7	38.8	6年
	145.1	37.8	県平均	147.3	38.9	
	145.2	38.4	全国平均	146.8	39.0	

※県及び全国平均は平成28年度

学年	男 子		中 学 校 区 分	女 子		学年
	身長cm	体重kg		身長cm	体重kg	
1年	152.2	43.5	市平均	151.2	43.3	1年
	152.7	43.6	県平均	152.2	43.0	
	152.6	43.9	全国平均	151.8	43.6	
2年	159.6	48.0	市平均	155.1	47.6	2年
	160.3	49.0	県平均	155.8	46.9	
	159.8	48.8	全国平均	154.9	47.3	
3年	165.5	54.1	市平均	156.5	50.1	3年
	165.2	53.0	県平均	157.1	49.6	
	165.1	53.9	全国平均	156.5	49.9	

第14 学校給食

当市における学校給食は、学校給食法第一条に示すとおり児童の心身の健全な発達と食生活の改善を目標にして数年にわたる調査・研究の経過を経て開始されたものである。現在小学校においては単独調理方式による学校給食を、中学校においては平成29年度から中学校給食（選択式）を全校本格実施した。

(1) 沿革

年月

- 昭和 35. 2 座間第一小学校給食A型開始、給食費1人当たり 1か月400円
35. 5 給食研究会設立
38. 2 座間第二小学校、座間第三小学校給食開始、給食費一人当たり 1か月550円
38. 9 昭和38年度学校給食会全国大会において座間第一小学校文部大臣賞を受ける
38.10 昭和38年度学校給食県大会において座間第一小学校県教育委員会の表彰を受ける
41. 1 給食費増額 1か月650円
43. 4 給食費増額 1か月800円
45. 4 相武台東小学校開校により給食開始
45. 6 給食費増額 1か月1,000円
46. 4 ひばりが丘小学校開校により給食開始
47. 3 給食費増額 1か月1,200円
47. 5 座間市学校給食研究会設立総会開く
48. 1 パン食の併用として、実験的に月1回程度自校炊飯による米飯給食を実施
48. 4 東原小学校開校により給食開始
49. 1 給食費増額 1か月1,500円
49. 6 給食費増額 1か月2,000円
51. 4 相模が丘小学校開校により給食開始
52. 4 立野台小学校開校により給食開始
53. 4 入谷小学校開校により給食開始
53.10 委託炊飯給食開始（はし持参）月2回（自校炊飯と合せ4回）
54. 1 県教育委員会より東原小学校昭和53年度県学校給食優良校として表彰を受ける
54. 4 小学校牛乳がビン装から紙装になる
55. 1 県教育委員会より相模が丘小学校県学校給食優良校として表彰を受ける
55. 4 旭小学校開校により給食開始 給食費増額 1か月2,600円
55.10 相模が丘小学校学校給食優良校として文部大臣賞表彰を受ける
59. 9 中学校2学期より牛乳がビン装から紙装になる
57. 4 給食費増額 1か月2,900円
58. 9～59. 1 栗原小学校給食室改善により相模野小学校、旭小学校より給食運搬

59. 2 栗原小学校新給食室竣工により自校給食開始
- 昭和 59. 4 中原小学校開校により給食開始
- 平成 元. 10 給食費増額 1 か月 3,000 円
2. 5 米飯週 2 回になる（自校炊飯月 2 回、委託炊飯月 4 回）
2. 5 ランチルームに強化磁器食器の導入
3. 4 給食費増額 1 か月 3,500 円
12. 4 給食費増額 1 か月 3,800 円
15. 4 スプーン導入開始
16. 4 フォーク導入開始
16. 9 スチームコンベクション導入開始
21. 4 給食費増額 1 か月 4,200 円
21. 9 給食用食器に樹脂製食器の導入（3 年間で全校更新）
22. 4 栄養教諭 1 名配置
23. 4 米飯週 3 回になる（自校炊飯月 2～3 回、委託炊飯月 3～9 回）
23. 9 樹脂製食器導入完了
24. 4 栄養教諭 2 名配置
27. 9 東中学校及び栗原中学校に中学校給食（選択式）の試行導入
29. 8 市内中学校 6 校に中学校給食（選択式）を導入
30. 4 給食費増額 1 か月 4,500 円

（2）食に関する指導目標

生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、児童一人一人が望ましい食生活の基礎・基本と食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにする。また、楽しい食事や給食活動を通じて、豊かな心を育成し社会性を養う。

- ・食事の重要性、食事の楽しさの理解を深める
- ・望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を育てる
- ・食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を育てる
- ・食物を大事にし、食物の生産等に関わる人々に感謝する心を培う
- ・食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を育てる
- ・地域の産物、食文化を理解し尊重する心を培う

（3）運 営

学校給食の運営は、教育委員会の指導助言により当該学校の校長が計画し、管理し、職員を指導監督して行っている。

○学校給食研究会

学校給食研究会は、会長に小学校長、副会長に教頭をあて、給食主任及び栄養士をもって組織し、必要な研究会を開き学校給食の充実発展に努めている。

(ア)給食主任部会

小学校給食主任部会は、児童に対して食事についての正しい理解と望ましい習慣を身につけさせるための研究と合わせて、食生活の合理化、栄養の改善、健康の増進を図っている。

(イ)栄養士部会

小学校栄養士部会は、献立作成など栄養管理の研究に努めている。

栄養管理・・・学校給食の目標にてらし健康なからだ作りのため栄養価での十分な配慮。

献立作成・・・学校給食摂取基準の確保。

季節の食品と他の食品との組み合わせ。

食品衛生に留意。

(4) 給食費

小学校 月額 4,500円 年額 49,500円 (4,500円×11ヶ月)

年間 181食 一食平均 273円

中学校 学校行事により各校学年に多少の差があり、ミルク給食の年間総額は、6,000円程度である。

中学校給食(選択式)は一食あたり270円

(5) 食事内容

基準献立作成にあたり特に次の点に注意しています。

- (1) 集団給食であるため限度はあるが、できるだけ手作りにする
- (2) 学校給食摂取基準、標準食品構成表を確保するよう努めている
- (3) できるだけ無添加の食品を使用する
- (4) 食品本来の味を引き出すため化学調味料は使用しない
- (5) できるだけ旬の食品を使用し季節感を出す

1 児童1人1回当たりの学校給食摂取基準 (H27.4.1改訂)

エネルギー (kcal)	640
たんぱく質 (g)	24
脂質 (%)	摂取エネルギーの25~30%
ナトリウム (食塩相当量g)	2.5未満
カルシウム (mg)	350
鉄 (mg)	3
ビタミンA (μgRE)	170
ビタミンB1 (mg)	0.4
ビタミンB2 (mg)	0.4
ビタミンC (mg)	20
食物繊維 (g)	5
マグネシウム (mg)	80
亜鉛 (mg)	2

2 学校給食の標準食品構成表(児童1人1回当たり) (単位:g)

主食	パン・ごはん	62.0
牛乳	牛乳	206.0
おかず	小麦粉及びその製品	5.0
	芋及びでんぷん	30.0
	砂糖類	3.0
	豆類	5.0
	豆製品類	16.0
	種実類	3.0
	緑黄色野菜	23.0
	その他の野菜	70.0
	果物類	32.0
	きのこ類	4.0
	藻類	2.0
	魚介類	16.0
	小魚類	3.0
	肉類	15.0
	卵類	6.0
	乳類	4.0
油脂類	3.0	

(6) 食に関する指導

ア 学校での取り組み

- (ア) 各教科での指導
- (イ) 給食時の指導
- (ウ) 学校保健委員会での取り組み

イ 家庭・地域との連携

- (ア) 献立表、給食だよりの配布
- (イ) 給食試食会
- (ウ) 夏休み親子料理教室

ウ その他

- (ア) 地産地消事業の推進（地元野菜の導入）
- (イ) できるだけ国産の食品を使用する
- (ウ) 神奈川県学校給食を活用した地産地消推進事業への参加

平成17・18・19年（3年間）入谷小学校、旭小学校が協力校に。

V 教育研究所事業概要

1 教育研究所の設置目的

変転する時代の要請や教育の動向を踏まえ、座間市教育の改善と向上を図ることを目的として、教育に関する専門的及び技術的事項の調査研究並びに教育関係職員の研修等の事業を行う。

2 運営方針

- (1) 本市の教育に関する調査研究を行い、本市の教育に役立てる資料を作成する。
- (2) 教職員の資質向上並びに市民の教育に対する理解を図るための専門的・技術的研修を行う。
- (3) 地域に根ざした教育活動を展開するための出版広報事業を推進する。
- (4) 教育研究に対応するための図書や資料を収集・整理する。
- (5) 教育の個性化・多様化に応ずる教材の開発・蓄積・提供を行い、交流を促進する。
- (6) 本市の教育の歴史を後世に伝えるため、教育史の編さんをすすめる。
- (7) 児童生徒の教育相談及び学校の教育相談を援助する。
- (8) 心理的な要因による不登校児童生徒が学校に復帰できるよう教育支援教室事業を推進する。

3 機 構

所長	(1) 研 修	・・・	①教職員研修事業
	(2) 研 究		①教育研究事業 ②教育情報提供事業 ③教育史編さん事業
	(3) 教育相談		①教育相談事業 ②教育支援教室事業
	(4) 管 理		①人事・サービス ②一般管理 ③経理・財務
	(5) そ の 他	・・・	学校図書館司書配置事業
	(6) 渉 外	・・・	関係機関

職員構成

所 長・・・・・・・・・・総括・研修・渉外
指導主事（3名）・・・・・・・・研究・研修・教育相談・教育情報提供・管理
専任教員・・・・・・・・・・不登校児童生徒教育支援・教育相談
事務補佐員・・・・・・・・・・財務庶務
情報教育アドバイザー・・・・研究・教育情報提供
教育史編集員・・・・・・・・教育史編さん
教育史調査員・・・・・・・・教育史編さん
教育史調査補助員（2名）・・教育史編さん
教育相談員・・・・・・・・教育相談
教育心理相談員（2名）・・・・教育相談
学校教育心理相談員（5名）・・教育相談（学校配置）
心理判定支援員・・・・・・・・教育相談
S S W・・・・・・・・・・教育相談 ※S S W：スクールソーシャルワーカーの略
家庭訪問相談員・・・・・・・・不登校児童生徒教育支援
教育支援員・・・・・・・・不登校児童生徒教育支援
専任支援員・・・・・・・・不登校児童生徒教育支援
専任助手（2名）・・・・・・・・不登校児童生徒教育支援

4 事業内容

(1) 研修

① 教職員研修事業

- (ア) 社会科教育研修講座(1回)
地域学習の充実を図るための講義及び野外研修〔初任者研修〕
- (イ) 理科教育研修講座(1回)
理科資料集を有効に活用するための研修
- (ウ) 環境教育研修講座(1回)
環境教育に関わる研修(磯の生き物)
- (エ) 情報教育研修講座(8回)
情報教育を効果的に推進するための講義及び実技研修
- (オ) 教育相談研修講座(2回)
学校における教育相談のあり方など講義や演習を通して学校教育相談の充実を図る研修
- (カ) 外国語教育研修講座(1回)
小学校外国語活動と中学校英語教育に関わる研修
- (キ) 授業づくり研修講座(2回)
教科教育の充実を図るための研修
- (ク) 豊かな心を育む研修講座(1回)
豊かな心を育むための研修
- (ケ) 教育教養研修講座(2回)
教育のあり方を広い視野で考え、教育実践の充実を図る研修

講座名等 (回)	内 容	対 象	期 日	講 師
社会科教育 研修講座(1)	地域学習～市内めぐり～ *マイクロバス利用	初任者教職員	8/21(火) 13:00～16:50	教育研究所所員
理科教育 研修講座(1)	理科資料集「自然はおもしろい」の活用について	小3学年担任・小理科 担当者等1名以上	5/23(水) 15:00～16:50	座間の自然研究員
環境教育 研修講座(1)	大地の生い立ち *マイクロバス利用	各校希望者	8/6(月) 8:30～16:50	都立大学名誉教授 町田 洋 氏
情報教育 研修講座(8)	第1回「新学習指導要領と情報活用能力」	各校教員2名以上	7/24(火) 14:00～16:30	金沢星稜大学教授 佐藤 幸江 氏
	第2回-A「ライズeライブラリを活用しよう！」 会場:栗原中学校	定員40名 (各校希望教員2～3 名)	7/31(火) 9:30～12:00	情報教育アドバイザー PCインストラクター
	第2回-B「コラボノートを活用しよう！」 会場:栗原中学校	定員40名 (各校希望教員2～3 名)	7/31(火) 13:30～16:00	情報教育アドバイザー PCインストラクター
	第2回-C「ジャストスマイル・ジャストジャンプを 活用しよう！」 会場:相武台東小学校	定員40名 (各校希望教員2～3 名)	8/23(木) 9:30～12:00	情報教育アドバイザー PCインストラクター
	第2回-D「プログラミングしよう!(スクラッチ・ Etoys イートイズ)」 会場:相武台東小学校	定員40名 (各校希望教員2～3 名)	8/23(木) 13:30～16:00	情報教育アドバイザー PCインストラクター
	ICT道場A(2回連続) 演習「スクールタクトを活用しよう！」	定員5名 (各校希望者)	6/11(月) 6/18(月) 15:00～16:50	情報教育アドバイザー
	ICT道場B(2回連続) 演習「ライズeライブラリを活用しよう！」	定員5名 (各校希望者)	11/5(月) 11/12(月)	情報教育アドバイザー

			15:00～16:50	
	ICT道場C(2回連続) 演習 「ワード・エクセルを活用しよう！」	定員5名 (各校希望者)	1/28(月) 2/4(月) 15:00～16:50	情報教育アドバイザー
教育相談 研修講座(2)	育てるカウンセリング演習	各校1名以上	7/25(水) 13:30～16:00	明治大学教授 諸富 祥彦 氏
	教育相談基礎研修	1年経験者(昨年度の 初任者) および各校希望者	7/30(月) 9:30～12:00	県立総合教育センター 心理相談員 教育支援教室専任教 員・教育相談員等
外国語教育 研修講座(1)	小中連携の推進(仮)	各校教員2名以上	7/24(火) 9:30～12:00	東京学芸大学教授 粕谷 恭子 氏
豊かな心を育 む研修講座 (1)	「今日からできること～LGBTを含めたすべての 子どもたちのために～」	各校教員1名以上	7/26(木) 14:00～16:00	NPO法人 ReBit(リビット)
授業づくり 研修講座(2)	「論理的な文章を書く力を高める指導」	小学校教員2名以上 中学校国語科教員 2名以上	7/23(月) 12/25(火) 9:00～12:00	東京学芸大学准教授 中村 和弘 氏
教育教養 研修講座(2)	第1回 教育相談 「問題行動の背景を深くみる～落ち着きのない 行動と愛着について～」	各校教員2名以上、 市民	7/25(水) 9:30～12:00	福島学院大学教授 茨城大学名誉教授 岸 良範 氏
	第2回 座間の教育史 「大矢助次郎 栗原の歴史を語る・小池川につ いて」(予定)	各校1名以上、市民	7/30(月) 14:00～16:10	教育史研究所所員

(2) 研究

① 教育研究事業

- (ア) 社会科学習資料に関する調査研究
副読本の見直しに関する調査研究を行い、教育資料を作成する。
- (イ) 座間の自然に関する調査研究
理科資料集「自然はおもしろい」に関する調査研究を行い、教育資料を作成する。
- (ウ) 教育課題に関する調査研究
教育の今日的課題に関する調査研究を行い、教育資料を作成する。
- (エ) 情報教育に関する調査研究
情報教育に関する調査研究を行い、情報教育推進への支援活動を行う。
- (オ) 教育史に関する調査研究
本市の教育の歴史について調査研究を行う。
- (カ) 外国語教育に関する調査研究
小学校外国語活動から中学校英語へのスムーズな連携に関する調査研究を行う。
- (キ) 道徳教育に関する調査研究
特別な教科「道徳」の授業および評価等に関する調査研究を行い、教育資料を作成する。
- (ク) 指導法等に関する個別課題の調査研究
教育課程の実施に伴う指導上の諸問題に関して、教育実践を踏まえた個別の課題研究を行う。
- (ケ) 情報教育アドバイザーが、コンピュータ等を活用した教育活動に支援を行う。

② 教育情報提供事業

- (ア) 地域学習や郷土理解に関する副読本・学習資料の刊行を行う。
 - ・ 小学校社会科副読本「わたしたちの座間」
 - ・ 理科資料集「自然はおもしろい」
 - ・ 環境学習ガイドブック「わたしたちと環境」
 - ・ 中学校社会科副読本「郷土読本座間」
 - ・ 学習資料「白地図」
 - ・ 「郷土の先人に学ぶ」
- (イ) 調査研究の成果をホームページに掲載する。
 - ・ 研究紀要「第38集」（教育研究第36号）の掲載
- (ウ) 教育研究所の紹介等の広報活動を行う。
 - ・ 研究所報（104号・105号・106号）の発行
 - ・ 教育研究所要覧の発行
 - ・ 教育相談の案内の発行
 - ・ 教育研究所ホームページにて沿革・研修講座・ビデオライブラリー等を紹介する。
- (エ) 研究文献や研究実践記録などの情報資料を蓄積・整理し、教育研究や指導への活用を図る。
- (オ) 視聴覚教材の開発研究と蓄積・提供・流通を図る。
- (カ) 教育活動に有効と思われるWebコンテンツの紹介及び配信を行う。

③ 教育史編さん事業

- (ア) 座間市域における教育史資料を収集・整理する。
- (イ) 「座間市教育史 通史編」発刊に向けて、教育史編さんを行う。

(3) 教育相談

① 教育相談事業

- (ア) 電話・来所による教育相談により、児童生徒の教育相談及び学校の教育相談を援助する。
- (イ) 小・中学校を巡回し、教職員や保護者から、児童生徒の問題や指導に関わる教育相談を受け、問題の解決や回復のための助言や援助を行う。
- (ウ) 教育相談のあり方について専門家（スーパーバイザー）の指導や助言を受ける。
- (エ) 教育相談コーディネーター会議を行い、情報交換や教育相談のあり方について各校との連携を深める。
- (オ) 教育心理相談員を配置し、教育相談員と連携を図りながら課題の解決を図る。
- (カ) 心理判定支援員を配置し、特別な配慮を要する児童生徒の発達検査や行動観察を行い、教職員や保護者が児童生徒に適切な支援ができるよう助言を行う。
- (キ) 市内全小学校に学校教育心理相談員を配置し、教育相談および支援の充実を図る。
- (ク) 市内全中学校にスクールカウンセラーを配置し、活用事業を行う。（県事業）
- (ケ) 市のスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置し、県のスクールソーシャルワーカーと連携を図りながら諸問題に対応する。
- (コ) 心のフレンド員を中学校6校に派遣し、不登校対策を図る。

② 教育支援教室事業

- (ア) 主に心理的要因により学校生活に適應できない不登校児童生徒を対象に教育支援等を行う。
- (イ) 学校訪問要請相談等により相談ケースについての解決・回復のための助言や援助を行う。
- (ウ) 教育支援教室のあり方について、専門家（スーパーバイザー）の指導や助言を受ける。
- (エ) 教育支援教室に「教育支援員」「専任支援員」「専任助手」を配置し、きめ細かな支援および指導の充実に努める。
- (オ) 家庭訪問相談員を配置し、家に引きこもり、家族との関わりしかもてない児童生徒に対して定期的・継続的な支援を行う。

(4) その他

- ① 学校図書館司書配置事業
- ② 神奈川県教育研究所連盟および関係機関の大会、研究会、研修会等への参加

VI 生涯學習

施 設 ・ 設 備

1. 市立公民館

公民館名	座間市公民館			北地区文化センター			東地区文化センター		
所在地	入谷 1 丁目 3097 番地			相模が丘 5 丁目 30 番 4 号			東原 3 丁目 1 番 1 号		
敷地面積	1,518.59 m ²			1,727.78 m ²			3003.94 m ²		
延べ床面積	1,654.80 m ²			1,167.93 m ²			1,520.73 m ²		
構造	鉄骨ラーメン構造 3 階建			鉄筋コンクリート 2 階建			鉄筋コンクリート 2 階建		
開館日	平成 8 年 11 月 21 日			昭和 52 年 4 月 1 日			昭和 56 年 4 月 1 日		
施設の概要	室名	(m ²)	(人)	室名	(m ²)	(人)	室名	(m ²)	(人)
	講座室	70	40	第 1 会議室	21	12	第 1 集会室 (ホール)	252	250
	会議室	70	40	第 2 会議室	31	15	第 2 集会室	50	25
	小会議室	45	20	講座室	78	60	第 3 集会室	72	40
	実習室	65	30	実習室	48	30	学習室	77	60
	休養室 (和室)	60	60	和室	81	60	実習室	60	30
	歴史民俗資料室	42	—	ホール	217	250	休養室 (和室)	61	30
	集会室	258	200	図書室	48	—	図書室	165	—
	日本間	80	60	児童室	48	—	保育室	44	—
図書室	100	—							

2. 市民文化会館

名 称	座間市立市民文化会館 (ハーモニーホール座間)		
所 在 地	緑ヶ丘 1 丁目 1 番 2 号		
建築面積等	敷地面積 10,556.57 m ² 建築面積 5,946.08 m ² 延べ床面積 17,385.00 m ²		
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、地下 2 階地上 2 階		
駐 車 場	屋内 196 台 (市庁舎共用) 駐輪場 200 台		
竣 工	平成 7 年 8 月 26 日	開 館 日	平成 7 年 9 月 5 日
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホール …………… 客席数 1,310 席(車椅子席 6 席対応) 1 階席 946 席(オーケストラピット使用時 810 席) 2 階席 364 席 楽屋 6 室(定員 56 人) ・小ホール …………… 客席数 410 席 可変式ステージ 楽屋 2 室(定員 28 人) ・リハーサル室 ……… 148 m²(分割利用可) ・練習室 …………… 2 室各 94 m² ・ギャラリー ……… 169 m²(分割利用可) 壁面総延長 100m ・常設展示室 ……… 58 m² ・大会議室 …………… 124 m² 定員 64 人 ・中会議室 …………… 85 m² 定員 45 人 ・小会議室 …………… 68 m² 定員 16 人 ・大和室 …………… 32 畳 ・小和室 …………… 16 畳(炉、水屋付き) ・喫茶コーナー ……… 20 席 		

3. 市立図書館

所在地	座間市入谷 3 丁目 5873 番地	
建築面積等	敷地面積 5,577.55 m ² 延面積 3,524.00 m ²	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下 1 階・地上 2 階	
蔵書数	414,306 冊	
移動図書館箇所数	11 箇所	
工期	着工昭和 56 年 10 月、竣工昭和 58 年 3 月	
開館日	昭和 58 年 4 月 5 日	
最大収納冊数	<ul style="list-style-type: none"> ・一般開架スペース …………… 80,000 冊 ・児童開架スペース …………… 20,000 冊 ・郷土資料開架スペース ……… 8,000 冊 ・参考図書室 …………… 15,000 冊 ・移動図書館用書庫 …………… 20,000 冊 ・保存書庫 …………… 350,000 冊 	

4. 視聴覚ライブラリー

所在地	16 ミリ映写機	16 ミリ教材フィルム
入谷 3 丁目 5873 番地 (市立図書館内)	6 台	299 本

5. 社会体育プール

プール名	所在地	構造	規模 (m)	敷地面積 (m ²)	開設年月日
立野台プール	立野台 1-1-2	SUS	25×15	1,474	昭和 37. 8. 15
座間公園 "	座間 3671	FRP	"	1,471	39. 7. 15
広野 "	広野台 1-37-1	コンクリート	"	1,710	42. 7. 22
東原 "	東原 3-3-14	鋼板	"	1,530	44. 8. 4
鳩川 "	座間 2-1184	"	"	2,131	50. 8. 4
ひばりが丘 "	ひばりが丘 4-4-3	"	"	1,838	51. 7. 29
相武台 "	相武台 4-2-13	アルミ製	"	1,607	51. 8. 3
栗原 "	栗原中央 6-5-25	"	"	2,004	54. 7. 28
相模が丘 "	相模が丘 2-1-9	FRP	"	1,465	57. 4. 1
入谷 "	入谷 2-79	アルミ製	"	1,982	58. 4. 1
旭 "	ひばりが丘 5-28-5	"	"	2,498	60. 4. 14
中原 "	西栗原 2-14-1	"	"	1,917	62. 4. 1

6. 野球場等

名称	所在地	面積 (m ²)	開設年月日	備考
新田宿グラウンド	新田宿 2178	19,406	昭和 55. 5. 1	軟式野球
座間市民球場	相模が丘 6-36-24	16,269	" 55. 11. 1	軟式野球
相模川グラウンド	座間入谷 4468	80,452	" 60. 5. 1	サッカー、ソフトボール、その他

栗原遊水地スポーツ広場	栗原 1702-3	14,746	平成 10. 8. 1	少年野球、ソフトボール
ニュースポーツ多目的広場	四ツ谷 1044-1	3,222	〃 16. 6. 1	ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、その他

7. テニスコート

名称	所在地	構造	コート数(面)	面積(m ²)	開設年月日
ひまわり公園テニスコート	入谷 3-6000	クレーコート	4	2,538	昭和 52. 5. 15
		オムニコート	2	1,292	〃 54. 11. 1
栗原遊水地テニスコート	栗原 1702-3	ハードコート	2	1,296	平成 9. 8. 22
座架依橋壁打ちテニス練習場	座架依橋下	—	1	360	〃 17. 7. 1

8. 市民体育館

名称	座間市立市民体育館 (スカイアリーナ座間)		
所在地	相武台1丁目47番1号		
建築面積等	敷地面積 7,631 m ² 建築面積 5,048 m ² 延床面積 19,377 m ²		
構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨構造 地下1階 地上5階		
駐車場	普通車 71 台 (屋内地下) バス 4 台 (屋外) 駐輪場 48 台 (屋内)		
開館日	平成 6 年 11 月 1 日		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大体育室…………… バレーボール 4 面 バスケットボール 3 面 バトミントン 12 面 卓球 30 台 体操 9 種目対応 観客席 2,136 席 (移動席含む) ・中体育室…………… バレーボール 2 面 バスケットボール 1 面 バトミントン 6 面 卓球 18 台 体操 7 種目対応 ・武道室…………… 柔道 2 面 剣道 2 面 ・弓道室…………… 近的競技 28m 対応 5 人立 ・トレーニング室…… トレーニング機器 55 種 体力測定器具等 ・ミーティングルーム… 1 階 1 室 (2 分割可) ・ジョギングコース…… 4 階 1 周 220m ・その他…………… 放送室 更衣室 保健室 幼児体育室 喫茶コーナー 		

9. 青少年センター

名称	座間市立青少年センター		
所在地	立野台1丁目1番4号		
建築面積等	敷地面積 3,069.53 m ² 建築面積 766.4 m ² 延べ床面積 1,586.20 m ²		
構造	鉄筋コンクリート造 3階建 ・ 鉄骨造 平屋建		
駐車場	17 台 (うち身障者用 2 台) 駐輪場有り		
開館日	平成 9 年 4 月 6 日 (県より移管)		

施設概要	・多目的ホール	194.4 m ²	定員 58 人
	・2 階学習室	34.4 m ²	18 人
	和室	16 畳	15 人
	美術工芸室	50.4 m ²	25 人
	フリースペース	49.28 m ²	青少年に自由開放
	・3 階会議室 (3-1)	100.8 m ²	60 人
	会議室 (3-2)	50.4 m ²	(24) 人
	会議室 (3-3)	34.4 m ²	(18) 人
	音楽室	50.4 m ²	30 人
	中庭	355.7 m ²	

10. 清川自然の村

平成3年8月6日に開村し、平成23年度末に廃止。

11. その他生涯学習関連公共施設

名称	所在地	構造	延床面積 (m ²)	開設日	所管
立野台 コミュニティセンター	立野台 3-14-12	鉄筋コンクリート2階建	924.8	平成 2. 4	市民部
新田宿・四ツ谷 コミュニティセンター	四ツ谷 1026	〃	863.9	〃 3. 4	〃
小松原 コミュニティセンター	小松原 1-45-14	〃	885.4	〃 4. 4	〃
東原 コミュニティセンター	東原 4-13-13	〃	911.3	〃 5. 9	〃
相模が丘 コミュニティセンター	相模が丘 3-38-1	〃	949.3	〃 8.11	〃
相武台 コミュニティセンター	相武台 3-20-18	〃	903.4	〃 9.10	〃
ひばりが丘 コミュニティセンター	ひばりが丘 1-49-1	〃	950.7	〃 15.11	〃
栗原 コミュニティセンター	栗原中央 3-29-17	〃	883.6	〃 21.12	〃
市民健康センター	緑ヶ丘 1-1-3	〃	2,094.3	〃 8. 9	健康部
総合福祉センター (サニープレイス座間)	緑ヶ丘 1-2-1	鉄筋コンクリート3階建 一部鉄骨造	3,668.26	〃 13. 4	福祉部

12. 市内中学校屋外運動場照明設備

学校名	照明塔数 (基)	設置年月日	照度(ルクス)	運動場面積 (m ²)	主な利用種目
栗原中学校	7	平成元. 10. 13	300~500	10,438	サッカー、ラグビー、軟式野球
東中学校	8	〃 2. 11. 2	300~500	16,502	サッカー、ラグビー、軟式野球
相模中学校	7	〃 4. 10. 8	300~500	12,177	サッカー、ラグビー、軟式野球

13. 小学校学習施設開放教室

学校名	所在地	教室数	開設年度
ひばりが丘小学校	ひばりが丘 4-4-1	1	平成 5年
東原小学校	東原 2-6-1	1	〃 7年

Ⅶ 平成30年度事業計画

平成30年度 生涯学習関係主要施策

1 生涯学習の振興

自由時間の増大、高齢化の進行などにより多種多様にわたる学習ニーズに対応して、「座間市生涯学習プラン」に基づき、学習活動の拠点となる施設の整備・充実や学校施設の開放をすすめるとともに、必要とする学習ができるよう各種学級・講座の開設など、学習機会の一層の充実や支援に努めます。

(1)学習機会と拠点施設の充実

- 市民にさまざまな学習情報を提供するために、ざま生涯学習宅配便の充実や子育て情報誌「ざまっぷ」などの発行に努めます。
- 市民の多様な学習要求に応え、大学の機能を開放し学習機会を提供する市民大学を相模原市と協力して開設します。
- P T Aや地域婦人団体などの団体活動の支援に努めます。
- 時代の変化を捉えた市民ニーズ、地域・施設の特色を生かした各種学級・講座を開催し、公民館事業の充実に努めます。
- 快適な学習環境を確保するため、座間市公民館防音工事等設計委託を執行します。
- 市民の学習・研究活動を支援するため、図書館資料の整備・充実を図るとともに、図書館のサービス体制の整備に努めます。
- おはなし会や各種講習会などを開催して、さらなる読書普及に努めます。
- 映像文化の発展のため、視聴覚事業の整備・充実に努めます。
- 公民館等への配本並びに県内公立図書館や近隣の大学図書館等との相互貸借等の推進により読書機会の拡大に努めます。
- 配本車の運用により今後も、安心・安定した配本に努めます。
- 公民館3館とのオンライン及びインターネットによる情報収集サービスを推進します。
- 第三次子ども読書活動推進計画の策定を検討していきます。
- 市内全域に図書館サービスを図るため、移動図書館車を巡回させてまいります。
- 「図書館のサービス計画」に基づき図書館の利用を推進します。
- 市史文化財担当と連携し、文化財資料等をデジタルアーカイブすることにより利用者の利便性の向上に努めます。

(2)学習環境の整備

- 家庭教育の充実を図るため、こころの育児講座、子育て家庭教育講座、子

育てフェスティバルを行なうなど、家庭教育の振興に努めます。

- 家庭教育の向上を図るため、市P連との共催により家庭教育研究集会を開催し、家庭の教育力の向上に努めます。
- 人権の正しい理解と認識を深めるため、啓発活動に努めます。

(3)市民自主企画講座の支援

- 生涯学習活動を行なっている各種サークルや市民団体の活動を推進するため、市民自主企画講座の推進に努めます。

(4)生涯学習活動指導者の養成

- 生涯学習のための自主的な団体やグループの学習を支援するとともに、指導者や専門的知識を持った人材の育成に努めます。また、日ごろの学習成果の発表を通じ生涯学習の振興に努めます。

(5)生涯学習施設運営への市民参加推進

- 保育ボランティアやパソコンボランティアなど市民と協働して施設運営ができるよう市民参加の推進に努めます。

2 市民文化

(1)文化施設の整備・維持管理及び運営

- 市民文化会館の維持管理を計画的に行い、効率的な運営に努めます。
- 市民文化の振興に資するため、市民芸術祭、市民音楽祭、児童文化展などの開催に公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団や文化団体等と協力して努めます。
- 市民の芸術文化への理解を深め、活動の活性化を図るため、各種美術展や音楽会等の開催に努めます。
- 市民文化会館を文化活動の拠点として、多彩な芸術文化の振興に努めます。

(2)市民の文化活動支援

- 市民の自主的な創作発表、鑑賞活動の機会を提供するとともに、芸術文化活動団体の育成に努めます。

(3)歴史・伝統文化の保存と継承

- 市指定文化財の保護管理を行うとともに、無形文化財の活動及び継承を支援するとともに古民具等の保存を図ります。
- 市の文化や歴史等を紹介する文化財めぐりの講座開催や展示を行い、文化

財保護と文化振興に努めます。

- 市史編さん事業をとおして、本市の歴史に関する調査・研究に努めます。
- 「(仮称)座間の郷の道」道標設置事業では、「座間の文化財めぐり ふるさとマップ」を活用し、魅力ある郷土・座間をより多くの人に現在設置されている文化財案内板、道坂標柱、未紹介の文化遺産などを活用したルートを紹介す道標を設置します。

3 青少年の育成

青少年の健全な育成と積極的な社会参加をすすめるため、各種団体や指導者に対し情報提供や連絡会などを通して育成を図り、青少年活動を効果的に推進するため家庭・地域・学校が協力し、多様な生活体験を積むなど市立青少年センターと連携を密にして、短期教室・講座・スポーツ活動や青少年相談などの充実に努めます。

(1) 青少年施設の充実

- 平成28年度に青少年センターの多目的ホールの耐震補強補修工事を行い安全な施設の充実に図りました。引き続き、利用者の利便性等を図るため、老朽化した施設の管理に努めます。
- 放課後子ども教室は、放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子供達の安全・安心な居場所を設け、地域の様々な方々の参画を得て、子供達と共に行う学習やスポーツ、文化活動等の取組を実施するものです。

(2) ボランティアの育成等の支援

- 県青少年センターとの連携を通し、青少年指導者、各団体の指導・育成を図るとともに、活動の支援に努めます。
- 実践的な体験学習や幅広い交流活動を通じて、自然に親しみ、守り育てること、社会の決まりや生きることの大切さを認識させる事業の取組みに努めます。

(3) 青少年健全育成諸団体との連携

- 「青少年の手で郷土に新しい芸術文化の波を」をテーマに、青少年に文化芸術の発表の機会を設け、異年齢間の相互親睦が図れるよう努めます。

(4) 青少年相談業務の充実

- 青少年が直面する多種多様な悩み・問題についての相談を行うとともに、適切に対応するため各関係機関との連携強化を図り、迅速な対応に努めます。

(5) 青少年の健全化活動

- 青少年の不良行為等を未然に防ぐため青少年補導員や青少年健全育成組織等による青少年とのコミュニケーションを目的としての「声かけ」を重点とした適切な注意、助言に努めます。

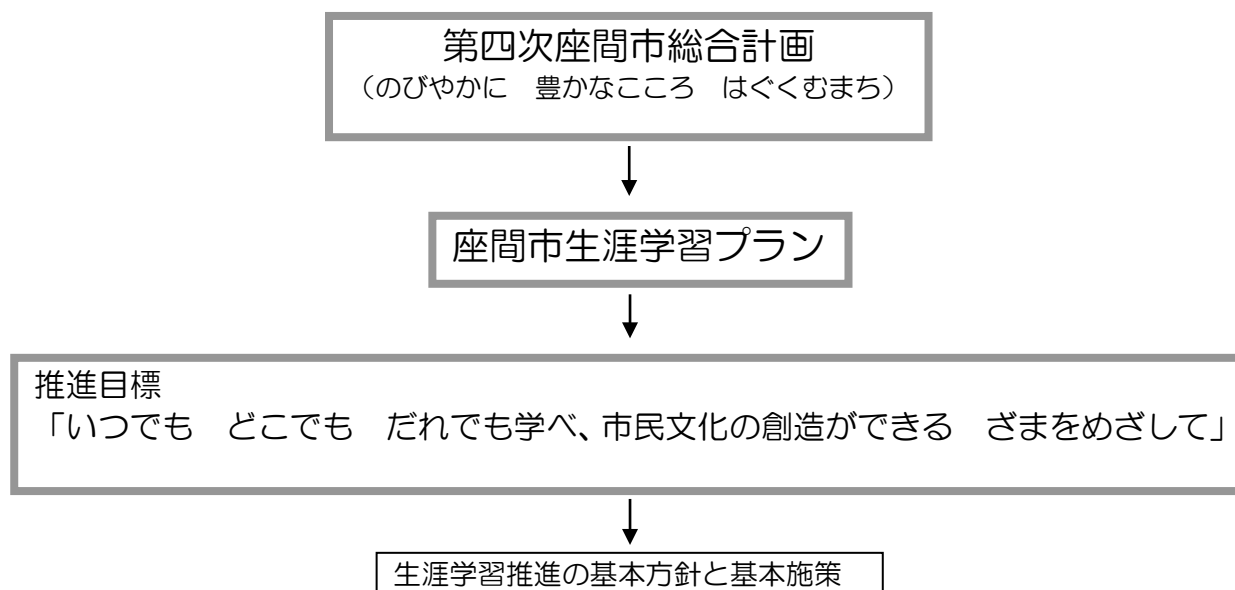
生涯学習プランと各課事業計画

座間市では第四次総合計画のもと、今後10年を新たな推進期間とする「生涯学習プラン」を平成23年3月に策定しました。市民一人ひとりの生涯学習活動を支援するため、次の視点に立って生涯学習を推進します。

以下は「生涯学習プラン」基本体系・基本施策、各課事業計画との対応を示したものです。

(事業計画の基本施策の項目の例：1-1 → (1)市民が主役となる生涯学習の推進 ①多様な学習機会の提供)

座間市生涯学習推進基本体系



生涯学習プラン基本施策（10項目）

(1) 市民が主役となる生涯学習の推進

- ①多様な学習機会の提供
- ②図書館等を使った「調べ学習」の推進
- ③市民のスポーツに親しみ、健康づくりに取り組めるような機会の充実

(2) 地域に根ざした生涯学習の推進

- ①地域課題の解決や市民生活向上のための学習機会の提供
- ②市民の自主企画による学習機会の提供
- ③市民文化推進への支援、郷土の自然・文化遺産の保存・継承とその活用による個性豊かな文化・芸術の創造

(3) 現代的課題に対応した生涯学習の推進

- ①現代的課題に対応する学習機会の充実
- ②市民大学等の充実
- ③男女平等教育の推進

- (4) 豊かな心を育む家庭教育の推進
 - ①家庭教育関連事業の充実
 - ②乳幼児をもつ親・保護者への学習支援の推進

- (5) 未来を築く児童・生徒、若者に対する居場所の確保や学習支援の推進
 - ①児童・生徒、若者に対する支援の充実
 - ②青少年の芸術・文化活動への支援の充実

- (6) 高齢者の生きがいや障がい者に対する生涯学習の推進
 - ①高齢社会に対応した学習方法の開発と実践
 - ②障がい者に対する支援の充実

- (7) 学習関連機関およびコミュニティ関連機関の連携による生涯学習の推進
 - ①地域課題の解決や市民生活向上のための学習機会の提供(再掲)
 - ②市民大学等の充実(再掲)
 - ③児童・生徒、若者に対する支援の充実(再掲)
 - ④障がい者に対する支援の充実(再掲)
 - ⑤関連機関との連携による生涯学習の推進

- (8) 学習活動の支援体制の確立
 - ①学習情報提供・相談体制の充実
 - ②人材の確保・育成
 - ③生涯学習に関わる機関の職員体制の充実
 - ④生涯学習施設の整備
 - ⑤学校施設の開放
 - ⑥新たな学習施設の整備

- (9) 学習成果の評価システムの確立
 - ①社会教育委員会議、公民館運営審議会による事業評価の実施
 - ②市民の意見、要望などの施策への反映

- (10) 庁内推進体制の確立
 - ①生涯学習推進会議の設置
 - ②進行管理

生涯学習事業計画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額	
企画	社会教育委員会議	年間	社会教育基本方針、事業計画、生涯学習の推進方策、社会教育関係団体補助金の審議。(9名委嘱)	—	665	
指導者養成	社会教育指導員設置	年間	社会教育の特定分野について直接指導し、学習相談を行い、また、社会教育団体の指導育成にあたるため4人を委嘱。	—	7,989	
	P T A指導者研修会開催事業	5・6月	P T Aの本部役員及び各常設委員会委員を対象に、P T Aが実施する諸活動が計画的かつ円滑に運営できるよう、役員としての心構えや活動のあり方を研修する。	2-2 3-1 4-1	129	
人権	人権問題啓発事業	年間	人権問題の正しい理解と認識を深め差別のない明るい社会を目指すための研修講座を開催する。	3-1, 3	50	
成人教育	家庭教育推進事業	こころの育児講座開設事業	年間	乳幼児を持つ親を対象に、心の解放が育児を進める上で重要であることをふまえ、ワークショップなど先進的な手法をとおして親自身の家庭教育に対する意識の変革をめざす。	4-1, 2	1,145
		家庭教育推進講座開設事業	年間	これから親となる方(妊娠中)とそのパートナー等を対象とした、子育て支援講座を開催し、母親一人が育児を背負い込まず、パートナーと共に協力し子育てしていく環境をめざす。	4-1	
		家庭教育研究集会開催事業	12月	子どもたちの現状を捉え、親のあり方や地域とのかかわりについて考えることにより、家庭や地域の教育機能の充実と参加者自身の教育力の向上を図る。	4-1	
		子育て家庭教育講座開設事業	年間	子どもの発達段階に応じて、家庭教育の意義と役割を、体系的総合的に学習するため、市内小・中学校P T A、幼児サークルに対し、子育て家庭教育についての講座の開設を委託する。	2-2 4-1, 2	
		子育てフェスティバル開催事業	3月	育児サークルや子育て支援ボランティアが情報交換や研修をとおして自らの力量をアップさせるとともに、その集大成として子育てフェスティバルを開催する。	2-2 4-2	
	市民大学開設事業	6～1月	相模原市と共催し、相模原・町田大学地域コンソーシアムに委託し、市民の多様な学習要求に応え、社会が抱える諸課題の解決に寄与するため、大学の機能を開放し学習機会の提供をする。 ・相模女子大学・相模女子大学短期大学部コース ・麻布大学コース・和泉短期大学コース ・女子美術大学コース・北里大学コース ・医療ビジネス観光情報専門学校コース ・桜美林大学コース ・青山学院大学コース・多摩美術大学コース ・東京家政学院大学コース ・法政大学コース ・サレジオ工業高等専門学校コース ・玉川大学コース・和光大学コース ・行政(相模原市・座間市)コース	3-2	2,500	

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
成人教育	生涯学習フェスティバル開催事業	2・3月	市民一人ひとりが生涯学習への意欲を高め、一層の振興を図るための講演会等の開催や公民館の利用促進を啓発する。	2-2	97
	市民自主企画講座開設事業	年間	自主的な団体、グループの生涯学習活動を支援するために、現代的な課題をテーマに据える自主企画に対しその講座を委託する。	2-2 3-1	206
学校開放	小学校学習施設開放事業	年間	市民の身近な学習活動の場として開放している小学校の学習施設の管理運営を委託する。(ひばりが丘、東原2小学校)	8-5	18
団体育成	市PTA連絡協議会	年間	社会教育関係団体の育成のため団体の求めに応じ指導助言を行うほか、補助金を交付し団体振興を図る。	4-1	500
	市地域婦人団体連絡協議会			2-1	80
情報提供	ざま生涯学習宅配便(出前講座)事業	年間	市民のニーズに応じて、行政各部の職員が地域に出向き、市政の説明や、各分野の専門知識を伝える講義、講習等を行う。	1-1	14
	ざまっぷ(子育て情報誌)等刊行事業	年間	市民の様々な学習機会の充実を図るため、生涯学習情報誌、子育て情報誌への情報の充実に努める。	2-1 2-2 8-1	843

文 化 事 業 計 画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
文化振興	市民芸術祭	9～ 11月	市民の自主的な創作発表、鑑賞活動の機会を提供し市民文化の振興に資するため、市民芸術祭、児童文化展の開催のほか、市民音楽祭やロビーコンサートを開催する。	2-3	1,157
	児童文化展	10月		2-3 5-2	
	芸術文化啓発事業	年間	市民の芸術文化への理解を深め、芸術文化活動の活性化を図るため、芸術文化セミナーとして各種美術展・音楽会及び文化講座を開催する。	2-3	3,609
団体育成	文化団体援助事業 (文化協会)	年間	芸術文化活動団体の育成のため、団体の求めに応じ指導助言を行うほか、補助金を交付し団体振興の一助とする。また、ロビーイベントや体験講座を実施し、市民の各団体への加入促進の機会を創出する。	2-3	700
スポーツ・文化振興財団	スポーツ・文化振興財団運営補助	年間	市民文化会館、市民体育館の指定管理者として公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団を指定するとともに、財団自身に補助金を交付し、団体運営の一助とする。また、市民の芸術文化活動の振興のため、文化会館の管理運営に対しその経費を負担することにより地域文化の向上に資する。	2-3	40,128
	市民文化会館管理運営経費			2-3	309,869
	市民文化会館大規模修繕事業費	年間	経年劣化の見られる市民文化会館施設や各種設備、機器について計画的に修繕を実施し、市民に快適、安全に使っていただけるようにする。	—	36,486

市史・文化財事業計画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
歴史・伝統文化の保存・継承の推進	市史編さん事業	年間	これまでの市史に係わる資料等の整理を進めるとともに市史叢書(仮称)「大矢家文書Ⅱ」の発行などを行う。	2-3	5363
	郷土資料館整備事業	年間	郷土にふさわしい郷土資料館の設置をさらに進めるために郷土の歴史や資料を活用するための方策を検討する。あわせて、これまで発行した文化財資料などで絶版したものや、収蔵している民俗資料などを順次ホームページ上で紹介する。	8-6	160
	座間の大凧映像記録作成事業	年間	座間の大凧について、伝統を後世に継承するためその作成風景や大凧まつりの様子、後継者育成指導の様子を収めた映像記録を作成する。	2-3	1000
	(仮称)「高座海軍工廠と芹沢の地下壕」紹介案内板設置事業	4～10月	芹沢公園内の高座海軍工廠にかかわる地下壕について、説明文と写真や地図を記した案内板を設置する。	2-3	1146
文化財保護・活用の推進	「座間むかしむかし」刊行事業	年間	文化財調査、研究の成果をまとめ、「座間むかしむかし第41集」を刊行し郷土理解の一助とする。	2-3	133
	文化財保護・活用事業	年間	市内の文化財についての重要性を認識し、市民の宝として多方面にわたり、その活用を図るために、文化財めぐりや文化財講座などを開催する。	2-3	187
	文化財調査・管理事業	年間	文化財の重要施策の審議研究のために文化財保護委員会(年3回)、文化財の調査研究のために文化財調査員会議(年間)を開催する。	2-3	1029
	文化財等保存・継承事業費	年間	市指定重要文化財(36件)に関わる整備経費及び補助金等の交付を行なう。合わせて、中間点案内板基礎撤去、樹木健康診断などを実施する。	2-3	1410
	資料室	年間	歴史民俗資料等の収集及び資料室の維持管理	2-3	96

座間市公民館事業計画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
成人学級	親と子が共に育つ教室	9～12月	子育て中の親を対象とした、家庭・子育て・社会参加等の基礎学習。	4-1 4-2	453
	パパと遊ぼう in 公民館	7月・10月	父親の育児を促すためにこどもの発達と月齢に応じた、父親ならではのこどもの遊び方を学ぶ。	3-3 4-1	30
	まちづくり・ひとづくり講座	11月	歴史・文化・芸能等について学び、市民参画のまちづくりを考える。	2-3	50
成人一般	暮らしと健康講座	9～10月	心身ともに健康に暮らすための学習。	1-1	25
	暮らしの実用講座	1～3月	日常の生活が豊かになるための学習。	1-1 6-1	15
	パソコン講座	10・2月	ワード入門、エクセルの基礎2講座を開催。	3-1	315
	婚活講座	7月	地域課題でもある晩婚化・少子化対策として未婚の男女に出会いの場を作り公民館を知ってもらう。	3-1 3-3	86
	保育ボランティア養成講座	2～3月	課と3館共催で保育ボランティアの養成を図る。	1-1 4-1	20
	しめ飾り教室	12月	しめ飾り作りを通して伝統文化を学ぶ。	2-3	15
	子育てサロン	年間	乳幼児をもつ親が自由に参加して、交流・情報交換する場所を提供する。	4-1 4-2	40
少年少女	ふれあい自然科学クラブ	年間	自然や科学に親しみながら共同学習の場を得る。	5-1	139
	夏休みクラフトスクール	7月	夏休み期間中に児童を対象とした工作教室を開催する。	5-2	25
	おはなし会	年間	おはなしを通して子どもの豊かな心を育てる。	5-1	45
	本はともだち	年間 4回	絵本・児童書の紹介と普及。	5-1	25
	親子で郷土料理教室	12月	料理を通し座間の食文化(伝統料理)を学び、異年齢間の仲間づくり。	2-3	14
催しもの等	コミュニティー祭(公民館まつり)	5月	利用者の一年間の成果の発表と地域住民とのふれあいを図る。	2-3	200
	春の子どもフェア	3月	映画や催しを提供し、情操教育に努めるとともに、世代交流と仲間づくりの場とする。	5-1	60
	こども夏まつり	8月	地域の子どもと企画・立案をし、夏休みの一日を楽しく過ごすことで、世代交流と仲間づくりの場とする。	5-1	50

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
	公民館コンサート	11月	地域の人と楽しむコンサートを開催し、癒しの場を提供する。	2-1	40
	おもちゃ病院	年6回	おもちゃの修理を通じて物を大切にすること、(もったいない)の心を育てる。	—	10
	地域学校との交流会	随時	養護学校と地域交流を図る。	6-2 7-5	—
会議他	市立公民館運営審議会	随時	公民館の活動、運営について調査審議する。	9-1	1199
	利用者代表者会議	随時	公民館の利用等について協議する。	9-2	-
	図書室その他の活動	年間	貸し館、図書室活動、その他	—	2833
刊行物	「親と子が共に育つ教室」等まとめ誌発行	年1回	事業の紹介及び受講生の感想等刊行物を発行する。	—	23
施設	設備整備事業費	年間	会議室用の机	—	312
	大規模修繕事業費	9月～12月	建設から35年経過し、経年劣化による外壁等改修工事を行う。	—	22,929
	維持管理経費	年間	館内管理委託、修繕、光熱水費等	—	12,738

北地区文化センター事業計画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
成人学級	いきいき学級	11～12月	高齢者への学習活動と交流の場を提供する。	6-1	60
	子育てわくわく学級	5～7月	子育てについての学びと共に親の自立をめざす。(0～幼児)	4-2	294
成人一般	すくすく講座	未定	子育ての方法を具体的に学ぶ。	4-2	—
	市民セミナー	未定	毎日の暮らしを快適にするための講座を開催する。		60
	しめ飾り教室	12月	しめ飾り作りを通して、伝統文化を学ぶ。	2-3	10
	パソコン入門講座	未定	ボランティアクラブの協力を得て、パソコン入門講座を開設する。	3-1	60
	にほんご教室	年間	外国籍市民が日本での日常生活に必要な日本語を学習する機会を提供する。	3-1	20
	大人のための朗読会	年3回	大人に文学作品等の朗読を通じて理解を深める。	1-1	70
	音楽サロン	未定	音楽の種類や歴史をサロン形式で楽しむ。		40
	地域健康講座	未定	地域の医療機関と協力し、健康や予防に関する知識を深める。	7-1	—
	サークル体験講座	未定	サークルと共催し新しい体験の機会を提供する。	7-5	—
	親子で「米作り隊」	6～12月	農村として長く発展してきた座間の風土を、稲作を通して体験し、自然、家族とのふれあいをする。	2-3	—
少年少女	キッズよさこい	2・3・4月	よさこい鳴子おどりを学び、地域の祭りに参加することにより子どもの仲間づくりをする。	5-1	34
	フリースペース	年間	不登校を語る会の協力を得て、不登校の生徒・親の相談の場として、毎週火曜日の5時から7時、図書室を開放する	5-1	30
	夏休み宿題応援	夏季	夏休み期間中の児童、生徒の自由研究、学習支援を行う。	5-1	10
	はじめての手話講座	7月	聴覚障がい者の方を指導者に迎え、手話を学びながら聴覚障がい者と交流をする。	5-1	30

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
その他	多文化交流サロン	4月～3月	日本と外国の異なる文化や習慣についておしゃべりするサロン。		—
	食生活教室	未定	食生活改善推進団体などから料理を学ぶ。	1-1	41
催し物等	クリスマス会	12月	おはなし会や人形劇で楽しいクリスマスの日を過ごす。	5-1	10
	子どもおはなし会	年間	こども達に、絵本やおはなしの楽しさを知ってもらう。	5-1	40
	うたって♪あそぼ	年間	親子で朗読や歌を楽しみ情緒を育む。	5-1	20
	子育てサロン	年間	子育て中のお母さんの居場所を地域の方の力を借りてサロンとして開設。	4-1, 2	20
	いきいき会	毎月第3木曜	絵手紙や簡単な体操、おしゃべりなど地域に仲間が少ない方も予約不要で気軽に参加できる交流会。	6-1	—
	おもちゃ病院	年6回	おもちゃの修理を通じて物を大切にすることを学ぶ。	1-1	10
	スプリングコンサート	3月	乳幼児から大人まで誰もが気軽に音楽を楽しむ機会とする。		100
	いちにち子どもランド	7月	地域のこども達と館利用サークルの交流をはかり、子ども達のセンターへの理解と親しみを深める。	5-1	50
	北地区文化祭	10月	館利用サークル等の一年間の成果発表と交流の場。	2-3	200
会議等	利用団体等代表者会議	4・9月	センターの利用等について協議する。	9-2	—
	市立公民館運営審議会	随時	公民館の活動、運営について調査審議する。	9-1	—
	その他の活動	年間	貸し館、図書室活動、その他	8-1	—
施設	設備整備事業費	年間	会議室用備品	—	434
	維持管理経費	年間	館内管理委託、修繕、光熱水費等	—	14,980

東地区文化センター事業計画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
講座教室など	あすなろ大学	年間	高齢者の自立した学習の場。	6-1	247
	料理教室(食育教育)	未定	料理をつくることを通して、調理の楽しさや食生活の工夫などを見直す。	2-3	31
	女性のチャレンジライフ講座	未定	女性特有の課題をテーマに学び、相互の交流の場とする	3-3	158
	ワーキングママへの準備サロン	7～12月	再就労を考える母親が関心のあるテーマを取り上げ、サロン形式で情報交換をする。	3-3	140
	地域福祉講座	7～9月	家庭・地域での福祉の課題を、相互扶助の力で解決する「場所」づくりを考える。	2-1	64
	幼児をもつファミリー学級	5～7月	子育て中の母親・父親たちの仲間作りと子育てについて学ぶ。	4-2	278
	社会保障・税講座	5～7月	社会保障・税について学ぶ。	3-1	34
	木版画教室	11月	年賀状の作成をとおして木版画の楽しさを知る。	1-1	26
	パソコン講座	9月、11月、3月	パワーポイント講座(Ⅰ)(Ⅱ)	3-1	72
			ワード入門講座(1～2月)		
	しめ飾り教室	12月	わらを使ってしめ飾りづくり。	2-3	16
	親子自然体験教室	年間	親子でアウトドアライフを楽しむ。	5-1	44
	日曜科学教室	毎月第3日曜日	小学校低学年の子どもが、実験や工作をとおして科学の楽しさを知る。	5-1	40
	放課後学びと居場所	未定	公民館で活動する日本語ボランティアを養成する	5-1	50
	わくわく科学教室	7月	科学実験を楽しみながら学習する。	5-1	10
	ひがしフリースペース・教育講演会	毎週水曜日	不登校の子どもたちの居場所づくりと学習支援	5-1	52
	だんだんリビング	年間	乳幼児を持つ保護者の仲間づくりと情報交流をすすめる。	4-2	16
	エキスチェンジ	毎月第3水曜日	不用品の交換をとおして、リサイクルへの関心を高め、併せて地域の交流の機会とする。	3-1	16
	手工芸(折り紙サロン)	年間	折り紙のたのしさを伝承	1-1	20
	保育ボランティア養成講座	2～3月	講座の保育を担うボランティア養成講座(3館)	4-1	20
サークル企画講座	通年	利用サークルと協力して市民向け講座を実施		36	
おもちゃ病院	隔月第4土曜日	壊れたおもちゃの修理をとおして、物を大切に育てる。	3-1	10	

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
催しもの	子どもおはなし会	毎週水曜日	幼児におはなし、手あそび、紙芝居などを楽しんでもらう。	2-2	20
	サマーアイランド	7月15日	夏休みの一日を地域の仲間と楽しむ。	2-2	50
	みんなでつくる文化祭	10月19～21日	利用者と地域の人たちの一年間の学習成果の発表と交流	2-3	200
	ひがしクリスマス会	12月	クリスマス会で人形劇やおはなしを楽しむ。	2-3	23
	春のお楽しみ会	3月	春休みにいろいろな体験をする。	2-3	28
会議他	利用団体等代表者会議	4・9月	センターの利用等について協議する。	9-2	—
	市立公民館運営審議会	随時	公民館の活動、運営について調査審議する。	9-1	—
	その他の活動	年間	貸し館 図書室活動、その他	—	82 2,564
事業経費	学級・講座等事業維持費	年間	印刷機、パソコンリース等維持管理用	—	586
施設	整備事業費	年間	会議室用備品		780
	維持管理経費	年間	館内管理委託、修繕、高熱水費等		15,624

青少年健全育成事業計画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額	
企画・総合調整	青少年問題協議会	年間	青少年問題に関する総合的施策を調査審議し、関係行政機関相互の連絡調整を図る。(14名委嘱)	9-2	101	
	青少年相談室連絡協議会	年間	青少年関係機関及び関係団体から選出された委員10名により、青少年相談室の活動に必要な業務計画等について協議する。	9-2	42	
青少年育成	地域活動	青少年指導員活動事業	年間	青少年団体活動の推進と青少年団体間の連絡調整を図る。(50名委嘱)	—	2,934
		地域活動推進組織補助事業	年間	地域青少年健全育成組織の活動の促進を図る。(10組織) 「子ども110番の家」ステッカー配布のほか、小学1年生全員に「子ども110番名札」を配布する。	2-1	300
青少年団体育成	子ども会育成事業	年間	地域における子ども達の仲間遊びの体験や、子どもらしい健全な心身を育成する。(12単位会)	2-1	500	
	青少年活動育成事業	年間 (長期休暇期間を除く)	「ざま遊友クラブ」の開設。小学校6校で実施する。	2-1	2,104	
	放課後子ども教室推進事業	年間 (長期休暇期間を除く)	放課後等に小学校等の余裕教室を活用して、子供達の安全・安心な居場所を設ける。	—	13,046	
青少年指導者養成	ジュニアリーダー、リーダー野外研修等事業	夏季	野外活動等を通して、リーダーとしての自覚を高める。	5-1	1,086	
	ジュニアリーダー交流事業	年間	中・高校生リーダーの養成研修並びに他市のジュニアリーダー等との交流。	5-1	1,211	
青少年施設	青少年センター管理運営事業	年間	青少年及び育成者に交流と活動の場を提供するため、施設の維持管理を図る。	5-1	22,522	
	青少年センター活動事業	年間	青少年に対し、各種の事業を展開することにより、青少年健全育成を図る。	5-1	829	

(単位：千円)

区分		事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
非行・保護	防止育成	青少年相談事業	年間	青少年相談員及び青少年心理相談員による相談及び継続相談。	5-1	3,717
		社会環境健全化事業	年間	青少年専門補導員及び青少年補導員による街頭補導及び社会環境浄化。	5-1	5,059
青少年育成		青少年健全育成大会開催事業	11月	青少年健全育成啓発事業 ・中学生の主張作文 ・青少年善行ほう賞	5-1	458
	スポーツ活動交流事業	6～12月	小学校ブロック子ども会スポーツ大会開催 市子連の活動の一環として、地域ぐるみで青少年健全育成を図る。	5-1	450	
		10～12月	青少年フェスティバル開催 青少年の自立と連帯をめざし、文化・スポーツ活動を通してふれあい交流を深める。	5-2	450	
	文化活動交流事業	12～3月	芸術文化活動の発表を通して、地域活動への参加と連帯の輪を広げる青少年芸術祭を開催。(美術展、人形劇部門、音楽部門、舞踊部門)	5-2	560	
	成人式関係経費	1月	新成人を祝う式典	—	157	
その他		青少年対策管理事業	年間	青少年活動や各種団体育成を支援するための経費等。	—	307

スポーツ・レクリエーション事業計画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額	
企画	スポーツ推進審議会	年間2回程度	関係施策の企画調整（委嘱10名以内）	9-2	118	
社会体育指導	スポーツ推進委員の指導普及事業	年間	スポーツ推進委員30名を任命し、会議等の他に指導及び普及事業として、カローリング教室、ソフトバレーボール大会、ニューフィールドゲーム等を開催する。	1-3	2,786	
		会議及び事業12回				
団体育成	スポーツ指導者協議会	年間	各種スポーツ活動に対する講師派遣事業への助成	1-3	30	
	体育協会（加盟19種目団体）	年間	社会体育関係団体の育成と充実発展のため、随時会議や研修会に出席し、団体の要請に応じ、指導助言を行う。		2,480	
	レクリエーション協会					
	スポーツ少年団					
社会体育の振興	市総合体育大会	4～10月	野球、陸上、剣道、バレーボール、柔道、ソフトボール、卓球、サッカー、バスケットボール、水泳、バドミントン、クレール射撃、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、空手、弓道、ボーリングの18種目	1-3	720	
	チャレンジデー	5月	市民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」を開催し、運動習慣の意識を高める。	1-3	200	
	市民健康マラソン	11月	未就学児・小・中学生及び保護者を中心に行う大会	1-3	460	
	健康ウォーキング	6・10月	健康づくりを目的として行う。	1-3	150	
	体力年齢ウォッチング	7・11月	健康運動指導士により測定結果に基づいた運動相談を行うことにより今後の健康に役立てる。	1-3	656	
	座間市駅伝競走大会	3月	市内中学生の部、一般の部、市内エキスパートの部、市外エキスパートの部	1-3	550	
	スポーツ教室の開催		7月	親子キャッチボール教室	1-3	385
			7月	健康水中ウォーキング教室		
			11月	親子サッカー教室		
	スポーツ大会選手派遣	年間	市町村対抗かながわ駅伝競走大会 全国500歳野球大会	1-3	930	

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
体育施設	プール管理運営事業	年間	1 2 施設の維持管理経費	1-3	75,548
	グラウンド管理運営事業	年間	市民球場、新田宿グラウンド、相模川グラウンド、ニュースポーツ多目的広場等の維持管理経費	1-3	27,680
	テニスコート管理運営事業	年間	1 施設 6 面の維持管理経費	1-3	7,666
	栗原遊水地スポーツ施設管理運営事業	年間	3 施設の維持管理経費	1-3	4,612
	学校体育施設開放事業	年間	小中学校 1 7 校の学校体育施設の開放や夜間照明付き屋外運動場 3 施設の維持管理経費	1-3	4,426
	相模川河川環境整備用地取得事業	年間	土地賃借料	1-3	3,364
	市民体育館管理運営事業	年間	市民体育館の維持等管理経費	1-3	219,900
	体育施設一般管理事業	年間	需用費、賃借料等の一般的な管理経費	1-3	6,715
	市民体育館大規模修繕事業	年間	老朽化した施設の修繕経費	1-3	27,561

図書館事業計画

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
読書普及事業 成人向	福祉サービス事業	年間	在宅障がい者等への図書宅配サービス等。	2-1 6-1, 2	—
	ブックスタート事業	年間	赤ちゃんと保護者に絵本を渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる。	1-1	1,556
	大人のための楽しい図書館活用講座	6・7月	としょかん情報発信局、東地区文化センターのあすなる大学学生らを中心に、図書資料やインターネット等を利用して大人のための調べ物の講座を開催し、発表する機会を設ける。夏休み自由研究応援講座にも対応する。	1-2	10
	おはなし講習会	7・2月	素話や絵本の読み聞かせ等、おはなしの技術向上のための講座。	1-1 4-1, 2	40
	大人のためのおはなし会	10月	大人のために、素話によるおはなし会を開催する。	1-1	—
	教養講座	11月	様々なジャンルについて、連続講座で学ぶ。	1-1	30
	手作り絵本講習会	1・2月	絵本の作り方を学び、参加者が自分の絵本を作る。	1-1	20
	文学講演会	2月	文学者の講演を通して、読書の普及をする。	1-1	60
読書普及事業 児童向	子どもおはなし会	毎週	絵本等の読み聞かせをする。	1-1	—
	世界一周おはなしの旅	毎月	小学生以上を対象とした素話によるおはなし会。	1-1	—
	子ども読書の日	4月	「子ども読書の日」にちなんだ行事を行う。	1-1	60
	森のおはなし会	7月	谷戸山公園を利用して自然の中でおはなし会を楽しむ。	1-1	—
	夏休み自由研究応援講座	8月	小・中・高生を対象に図書館の資料を使って調査研究の基礎を学ぶ。	1-2 5-1	100
	こわいおはなし会	8月	図書館の閉館後に、親子参加で「こわいおはなし」を聞く。	1-1	—
	ひまわりおはなし会 おひさまおはなし会	9・3月	座間市内のおはなし会サークルによる、おはなし会。	1-1	—
	ぬいぐるみのお泊り会	9月	子どもたちにぬいぐるみを通して、図書館の様々な役割を知ってもらい、図書館をより身近に感じてもらおう。	1-1	—
	としょかんクリスマス会	12月	季節の行事を通じて読書意欲を高める。	1-1	—
	春休み特別おはなし会	3月	人形劇などを含めおはなし会を通して読書意欲を高める。	1-1	40

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額
読書普及事業	第9回座間市図書館を使った調べる学習コンクール	9・10月	「図書館の学校」でおこなっている同賞の座間予選をおこなう。児童から大人、親子で参加の事業。	1-2 5-1	30
	中学校POPコンクール2018	10月	市内3～4校参加で行う。各校50作品まで応募可能。優秀作品を選び表彰状とイオンモール座間内紀伊國屋書店内で、読書週間に展示。	1-1	—
展示等	mini・ミニ展	年間	市民が趣味で集めた物等を展示し市民参加の場とする。	1-1 1-2	—
図書購入事業	館内用図書購入	年間	館内（一般、児童）図書の購入	—	13,760
	館外用図書購入	年間	館外（一般、児童）図書の購入（BM、公民館、北地区、東地区）学校図書館等団体貸出用	—	3,240
	定期刊行物等購入	年間	新聞、雑誌等の定期刊行物及び官報等の購入	—	3,805
	郷土資料製本	年間	郷土資料、新聞等を製本し市民の利用と保存を図る。	—	194
議会 館協 図書	図書館協議会	年3回	図書館の運営について意見を聞く。	—	202
連携	子どもと本をつなぐ会	年2回	図書館と、市内各学校での読み聞かせ関係者による情報交換をおこなう。	1-1	—
	公民館三館との打ち合わせ会議	随時	公民館・北地区・東地区文化センター等と打ち合わせ会議をおこない、連携を図る。	—	—
刊行物	図書館年報	年1回	事業の報告や統計等を記載した「ぎまの図書館」の発行	—	—
施設等	需用費（修繕料）	年間	施設等修理（昇降機修繕・給排気ファン・ウォータークーラー修繕、女子トイレ便器修繕・車両修繕等）	—	2,866
	委託料	年間	施設等管理運営委託料、施設事業委託料、建物・敷地清掃委託料、施設維持委託料、OA関連保守委託料等	—	14,502
	使用料及び賃借料	年間	OA機器等賃借料、自動車賃借料等	—	11,004
	その他施設維持管理費	年間	光熱水費、通信料等	—	13,402
車両購入	移動図書館車更新事業	年間	移動図書館車を新規購入し、全域サービスをおこなう。	—	9,987

(単位：千円)

区分	事業名	実施期間	事業内容	基本施策	予算額	
映写	こどもシアター	年間	隔月でこどもを対象に16ミリの映写会を行なう。	5-1	—	
視聴覚	資料	DVD購入	年間	(一般、児童)DVDの購入	1-1	1,198
	点検	機材フィルムの点検	年間	座間市視聴覚研究協議会による点検	—	—

Ⅷ 平成 29 年度事業実績

社会教育委員の活動状況

社会教育委員は、社会教育法第15条、第17条および第18条の規定に基づき、教育委員会が現在9人の方に委嘱している。職務として、社会教育に関する諸計画の立案や調査研究を次のとおり実施した。

【会議、研修会内容】

年月日	内 容	場 所
4月21日 (金)	県社会教育委員連絡協議会（第1回理事会） ・平成28年度実施事業について ア 事業実施報告 イ 会計報告 ・平成29年度事業計画（案）について ア 事業実施計画（案） イ 収支予算（案） ・平成29年度全国社会教育委員連合表彰候補者について ・平成29年度役員等について ア 理事について イ 会長、副会長について ウ 監事について	かながわ県民センター
5月17日 (水)	定例会（第1回） ・経過報告と今後の事業について ・平成29年度生涯学習関連事業について ・県社会教育委員連絡協議会第1回理事会について（報告） ・県社会教育委員連絡協議会総会の開催について ・研究テーマ「子どもの教育と家庭・学校」についての学習	座間市役所
6月16日 (金)	県社会教育委員連絡協議会総会 ・平成28年度事業報告並びに会計報告について ・平成29年度事業計画並びに予算案について ・平成29年度役員について ・講演 「これからの社会教育委員のあり方について」 講師 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 社会教育調査官 二宮 伸司さん	かながわ県民センター
7月5日 (水)	定例会（第2回） ・経過報告と今後の事業について ・座間市スポーツ・文化振興財団の経営状況について（報告） ・県社会教育委員連絡協議会総会について（報告） ・研究テーマ「子どもの教育と家庭・学校」についての学習	座間市役所
8月25日 (金)	県社会教育委員連絡協議会研修会 ・基調講演「家庭教育支援をめぐる現状と今後の方向性」 NPO法人ピアサポートネットしぶや理事長 相川良子さん ・パネルディスカッション 「いま求められている家庭教育支援とは」 パネリスト 寒川町社会教育委員 三澤米子さん NPO法人ピアサポートネットしぶや理事長 相川良子さん	かながわ県民センター

	<p>横須賀市教育委員会生涯学習課 谷合伸介さん コーディネーター 県社会教育委員連絡協議会事務局長 豊田政治さん ・まとめ 神奈川県社会教育委員連絡協議会長 鈴木真理さん</p>	
9月6日 (水)	<p>定例会（第3回） ・経過報告と今後の事業について ・県社会教育委員連絡協議会研修会について（報告） ・研究テーマ「子どもの教育と家庭・学校」についての報告をまとめるための提案</p>	座間市役所
10月5日 (木)	<p>社会教育委員連絡会議 ・平成29年度各市町村活動報告及び情報交換 ・講演 「地域学校協働活動の実践」 講師 地域学校協働活動実践者 青木信二さん ・グループ協議 「各市町村の地域学校協働活動について」</p>	厚木合同庁舎
10月13日 (金)	<p>県社会教育委員連絡協議会（第2回理事会） ・平成29年度実施事業について ・平成30年度事業計画（案）について ・情報交換</p>	かながわ県民センター
11月13日 (月)	<p>県社会教育委員連絡協議会地区研究会（清川村会場） ・講演 「住民を主体とした地域福祉の推進に向けて」 ～地域の課題を住民とともにささえる実践～ 講師 清川村社会福祉協議会事務局長 小島祐行さん ・アトラクション 「清川音頭」 煤ヶ谷婦人会 ・事例発表 「自然と地域&世代間をつなぐ」 清川村社会教育委員 山田一夫さん 「地域コミュニティの基盤&男女均等世代間をつなぐ」 清川村社会教育委員 細野 百合子さん 「子どもと大人をつなぐ」 清川村社会教育委員会議副議長 山口志ず子さん</p>	清川村生涯学習センター せせらぎ館2階 みどりホール
11月15日 (水)	<p>定例会（第4回） ・経過報告と今後の事業について ・県社会教育委員連絡会議について（報告） ・研究テーマ「子どもの教育と家庭・学校」についての報告をまとめるための提案（大串） ・「公共施設の使用料設定に当たっての基本方針」の改定に伴う使用料の見直しについて</p>	座間市役所
11月28日 (火)	<p>平成29年度 知ることからはじめる人権啓発研修講座 講義・自己尊重トレーニング 「子どもの人権を守るために～大人自身の自己尊重感を高めることをとおして～」 講師 自己尊重トレーニングトレーナー ノンフィクションライター 一般社団法人ホームレス問題の授業づくり 全国ネット代表理事 北村年子さん</p>	海老名文化会館 小ホール

12月6日 (水)	・座間市立図書館視察	座間市立図書館
1月31日 (水)	定例会(第5回) ・経過報告と今後の事業について ・研究テーマ「子どもの教育と家庭・学校」についての報告をまとめるための提案(大串) ・「公共施設の使用料設定に当たっての基本方針」の改定に伴う使用料の見直しについて ・こどものまち「ミニあやせ」(綾瀬市)視察 ・ドリームプレイウッズ(綾瀬市)視察	座間市役所 綾瀬市役所
2月9日 (金)	県社会教育委員連絡協議会地区研究会(松田町会場) ・人権講話 「遊育」 日本冒険遊び場づくり協会 事務局長・理事 天野 秀昭さん ・アトラクション 寄ソーラン(演舞:寄中学校生徒) 松田町社会教育委員 阿部哲也・原田政司さん ・事例発表① 「小学生の放課後や休日の過ごし方アンケートについて」 松田町社会教育委員 星野一恵、安藤篤子さん ・事例発表2 「放課後子ども教室の開設に向けた実証実験について」 松田町社会教育委員会副議長 木口まり子さん 松田町社会教育委員 足立晃美、山岸明子さん ・まとめ 「松田町社会教育委員会議の活動」 松田町社会教育委員会議 議長 吉田恵美子さん ・閉会 閉会の言葉 松田町社会教育委員 植松さとみさん	松田町民文化センター 大ホール
3月7日 (水)	定例会(第6回) ・経過報告と今後の事業について ・平成30年度社会教育関係団体補助金交付について(意見聴取) ・平成29年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会について(資料配布) ・研究テーマ「子どもの教育と家庭・学校」についての報告をまとめるための提案(大串) ・「公共施設の使用料設定に当たっての基本方針」の改定に伴う使用料の見直しについて	座間市役所
3月16日 (金)	県社会教育委員連絡協議会(第3回理事会) ・平成29年度実施事業について ア 実施事業報告 イ 決算見込み ・平成30年度事業計画(案)について ア 事業実施計画(案) イ 収支予算(案) ・平成29年度県・市町村社会教育委員に関する調査の集計結果について	かながわ県民センター